令和2年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
A	音楽	オーケストラ等	東京フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	オーケストラ公演＜東京フィルがやってきた！＞ ～カラダで音楽！～	(小学校) ♪ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』より"スイス軍の行進"　♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番　他 (中学校) ♪ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』より"スイス軍の行進" ♪ロジャース&ハマースタイン：「サウンド・オブ・ミュージック」よりドレミの歌 他	R1 (継続)
A	音楽	オーケストラ等	新日本フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	新日本フィルハーモニー交響楽団 ―オーケストラ大発見コンサート―	①J.ウィリアムズ：映画『スター・ウォーズ』より「メイン・タイトル」 ②楽器紹介　③マスネ：タイスの瞑想曲 (省略) ⑧外山雄三：管弦楽のためのラプソディ　⑨アンコール) オッフェンバック：喜歌劇『天国と地獄』序曲より「カンカン」 他	
A	音楽	音楽劇	藤原歌劇団	○	○	○	－	オペラ「助けて、助けて　宇宙人がやってきた！」 全1幕　日本語上演	オペラ「助けて、助けて　宇宙人がやってきた！」 全1幕　日本語上演 作曲／台本：ジャン・カルロ・メノッティ 演出：岩田達宗　美術：島次郎　衣裳：増田恵美　照明：稲葉直人 振付：鷲田実土里　音響：寺部和貴	
A	演劇	児童劇	有限会社　劇団あとむ	○	○	○	○	あとむの素劇ミュージカル	『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』 原作　H. C. アンデルセン　脚本　秋山英昭・関矢幸雄 構成・演出　関矢幸雄　音楽　クニ河内 美術　有賀二郎	
A	演劇	児童劇	有限会社 劇団角笛	○	○	○	－	角笛シルエット劇場「花さき山」	「花さき山」 原作／斎藤隆介 脚色／山上路夫 音楽／渡辺岳夫 演出／角笛文芸部 「影とあそぼう」演出・構成／角笛文芸部 「つのぶえのうた」演出・構成／角笛文芸部	
A	演劇	演劇	一般社団法人演劇集団ワンダーランド	○	○	○	○	現代演劇に参加する喜び	からくり儀右衛門―日本のエジソン・技術で明治維新を創った人々― 脚本・演出／竹内一郎 作曲／西村勝行 振付／福島桂子	
A	演劇	ミュージカル	ミュージカルカンパニーイッツフォーリーズ	○	○	○	－	ミュージカル「小さい"つ"が消えた日」	ミュージカル「小さい"つ"が消えた日」 原作：ステファノ・フォン・ロー(三修社刊)　脚本・作詞・演出：前嶋のの　音楽：大竹創作　美術：根来美咲(青年座) 人形美術・製作：鹿島佳子、高槙士門(木ぐつの木)　振付：三枝宏次　歌唱指導：坂口阿紀　衣裳：天野桃子 照明：千田実(千田オフィス)　音響：返町吉保(キャンビット)　舞台監督：岩戸堅一(アートシーン)	
A	舞踊	現代舞踊	平富恵スペイン舞踊団	○	○	○	○	わくわく体験！スペイン舞踊・フラメンコの情熱世界	スペイン舞踊「夢、フラメンコの粋と情熱」 演出/構成/振付　平富恵	
A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	万作の会	－	－	○	○	日本の伝統芸能「狂言」を楽しもう ～体験と鑑賞～	【解説】　「狂言を楽しもう」(約20分) 【鑑賞】　狂言「盆山」(約15分)・狂言「附子」 【共演体験】 狂言「鋤牛」より…囃子言葉の掛け合いの場面 ※古典狂言の作品のため、いずれも作者未詳	
A	伝統芸能	邦楽	邦楽囃子方集団　若獅子会	○	○	○	○	打てや、囃(はや)せや、邦楽囃子(ほうがくばやし)! ～ようこそ！お囃子(はやし)の世界へ～	『一番太鼓』『着(ちゃく)到(とう)』『若獅子三番叟(わかじしさんばそう)』 『勧進帳(かんじんちょう)』『鏡獅子(かがみじし)』等 監修：茂手木潔子(上越教育大学名誉教授／日本音楽研究者)	
A	伝統芸能	演芸	めばえ寄席 「○○亭」	○	○	○	○	めばえ寄席 「○○亭」＊○○は生徒さんの公募により決定	めばえ寄席 1. 落語　春風亭 柏枝　など　2. 色物　林家 二楽 〈紙切り〉 など 3. 上方落語　桂 文三　など　4. 大喜利　～こばなしグランプリ(or しぐさ体験コーナー)　児童・生徒参加体験 5. 色物　三増 紋之助〈曲ごま〉 など　6. 落語　春風亭 柳橋 「転失気」「牛ほめ」など	

【C区分団体】

A・B・E	音楽	オーケストラ等	[C区分]東京フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	－	オーケストラ公演＜東京フィルがやってきた！＞	・オープニング　：　♪アンダーソン：舞踏会の美女 ・楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介) ♪アンダーソン楽曲より　(省略) ・鑑賞：♪学校が選曲した楽曲の演奏(以下の中から選曲)　♪ロジャース：サウンド・オブ・ミュージックより ♪ムソルグスキー：展覧会の絵　♪ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」から第4楽章 ・アンコール　：　♪J.シュトラウス：ラデッキー行進曲　他	

※複数年度実施欄に「H30」の記載がある団体は平成30年度から，「R1」の記載がある団体は令和元年度から，「R2」の記載がある団体は令和2年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.htmlから、団体のホームページや現在実施されている令和元年度の情報を閲覧することができます。

		A・B区分団体											C区分団体
		A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	K119
		東京フィルハーモニー交響楽団	新日本フィルハーモニー交響楽団	藤原歌劇団	有限会社劇団あとむ	有限会社劇団角笛	一般社団法人演劇集団ワンダーランド	ミュージカルカンパニーイッツフォーリーズ	平富恵スペイン舞踊団	万作の会	邦楽囃子方集団若獅子会	めばえ寄席「〇〇亭」	東京フィルハーモニー交響楽団
巡回ブロック		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A・B・E
項目		オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	現代舞踊	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	オーケストラ等
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
6月1日	月										○	○	
6月2日	火										○	○	
6月3日	水											○	
6月4日	木											○	
6月5日	金											○	
6月6日	土										●	○	
6月7日	日										●	○	
6月8日	月											○	
6月9日	火											○	
6月10日	水										●	○	
6月11日	木										●	○	
6月12日	金											○	
6月13日	土										●	○	
6月14日	日											○	
6月15日	月										○	○	
6月16日	火										○	○	
6月17日	水										○	○	
6月18日	木										○	○	
6月19日	金										○	○	
6月20日	土											○	
6月21日	日	移									●	○	移
6月22日	月	○										○	○
6月23日	火	○									●	○	○
6月24日	水	○									●	○	○
6月25日	木											○	
6月26日	金											○	
6月27日	土											○	
6月28日	日	移										○	移
6月29日	月	○								移	○	○	○
6月30日	火	○								○	○	○	○
7月1日	水	○								○	○	○	○
7月2日	木									○	○	○	
7月3日	金									○	○	○	
7月4日	土											○	
7月5日	日									移		○	
7月6日	月					○				●	○	○	
7月7日	火					○				○	○	○	
7月8日	水					○				○	○	○	
7月9日	木					○				○	○	○	
7月10日	金					○					○	○	
7月11日	土										●	○	
7月12日	日									移		○	
7月13日	月									●		○	
7月14日	火									○		○	
7月15日	水					●				○		○	
7月16日	木					○				○		○	
7月17日	金					○				○		○	
7月18日	土												
7月19日	日												
7月20日	月												
7月21日	火												
7月22日	水												
7月23日	木												
7月24日	金												
7月25日	土												
7月26日	日												
7月27日	月												
7月28日	火												
7月29日	水												
7月30日	木												
7月31日	金												
8月1日	土												
8月2日	日												
8月3日	月												
8月4日	火												
8月5日	水												
8月6日	木												
8月7日	金												
8月8日	土												
8月9日	日												
8月10日	月												
8月11日	火												
8月12日	水												
8月13日	木												
8月14日	金												
8月15日	土												
8月16日	日		移										
8月17日	月		●										
8月18日	火		○										
8月19日	水		○										
8月20日	木		○										
8月21日	金		●										
8月22日	土		移										
8月23日	日	移											移
8月24日	月	○										○	○
8月25日	火	○									●	○	○
8月26日	水	○									●	○	○
8月27日	木					●					●	○	
8月28日	金					●					●	○	
8月29日	土											○	
8月30日	日	移										○	移
8月31日	月	○				○						○	○

		A・B区分団体											C区分団体
		A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	K119
		東京フィルハーモニー交響楽団	新日本フィルハーモニー交響楽団	藤原歌劇団	有限会社劇団あとむ	有限会社劇団角笛	一般社団法人演劇集団ワンダーランド	ミュージカルカンパニーイッツフォーリーズ	平富恵スペイン舞踊団	万作の会	邦楽囃子方集団若獅子会	めばえ寄席「〇〇亭」	東京フィルハーモニー交響楽団
巡回ブロック		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A・B・E
項目		オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	現代舞踊	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	オーケストラ等
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
9月1日	火	○				○						○	○
9月2日	水	○				○						○	○
9月3日	木	○				○					●	○	○
9月4日	金					○					●	○	
9月5日	土											○	
9月6日	日	移										○	移
9月7日	月	○										○	○
9月8日	火	○										○	○
9月9日	水	○										○	○
9月10日	木	○										○	○
9月11日	金	○										○	○
9月12日	土	○									●	○	○
9月13日	日										●	○	
9月14日	月					○						○	
9月15日	火					○					●	○	
9月16日	水					○						○	
9月17日	木					○					●	○	
9月18日	金					○						○	
9月19日	土										●	○	
9月20日	日											○	
9月21日	月											○	
9月22日	火	移									●	○	移
9月23日	水	○										○	○
9月24日	木	○										○	○
9月25日	金	○										○	○
9月26日	土	○										○	○
9月27日	日						移	移			●	○	
9月28日	月						○	○			○	○	
9月29日	火						○	○			○	○	
9月30日	水						○	○			○	○	
10月1日	木						○	○			○	○	
10月2日	金						○	○			○	○	
10月3日	土										●	○	
10月4日	日							移			●	○	
10月5日	月					○	○	○				○	
10月6日	火					○	○	○				○	
10月7日	水					○	○	○				○	
10月8日	木					○	○	○			●	○	
10月9日	金					○	○	○			●	○	
10月10日	土											○	
10月11日	日							移				○	
10月12日	月						○	○			○	○	
10月13日	火						○	○			○	○	
10月14日	水						○	○			○	○	
10月15日	木						○	○			○	○	
10月16日	金						○	○			○	○	
10月17日	土			移								○	
10月18日	日		移	移				移			●	○	
10月19日	月		●	○		○	○	○				○	
10月20日	火		●	○		○	○	○				○	
10月21日	水		移	○		○	○	○			●	○	
10月22日	木			○		○	○	○				○	
10月23日	金			○		○	○	○				○	
10月24日	土			移								○	
10月25日	日			移	移			移	移			○	
10月26日	月			○	○		○	○	○		○	○	
10月27日	火			○	○		○	○	●		○	○	
10月28日	水			○	○		○	○	●		○	○	
10月29日	木			○	○		○	○	●		○	○	
10月30日	金			○	○		○	○	○		○	○	
10月31日	土			移	移							○	
11月1日	日			移	●			移	移			○	
11月2日	月			○	●		○	○	○			○	
11月3日	火			○	移				移			○	
11月4日	水			○	○		○	○	○			○	
11月5日	木			○	○		○	○	○		●	○	
11月6日	金			○	○		○	○	○			○	
11月7日	土			移	○						●	○	
11月8日	日			移				移	移			○	
11月9日	月			○	○		○	○	○		○	○	
11月10日	火			○	○		○	○	●		○	○	
11月11日	水			○	○		○	○	●		○	○	
11月12日	木			○	○		○	○	●		○	○	
11月13日	金			○	○		●	○	○		○	○	
11月14日	土			移	○		移				●	○	
11月15日	日								移		●	○	
11月16日	月				○				○		○	○	
11月17日	火				○				●		○	○	
11月18日	水				○				●		○	○	
11月19日	木				○				●		○	○	
11月20日	金				○				○		○	○	
11月21日	土				○							○	
11月22日	日											○	
11月23日	月	移							移			○	移
11月24日	火	○			○				○		●	○	○
11月25日	水	○			○				●			○	○
11月26日	木	○			○				●			○	○
11月27日	金				○				○		●	○	
11月28日	土				○						●	○	
11月29日	日		移						移			○	
11月30日	月	移	●		○				○		○	○	移

		A・B区分団体											C区分団体
		A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	K119
		東京フィルハーモニー交響楽団	新日本フィルハーモニー交響楽団	藤原歌劇団	有限会社劇団あとむ	有限会社劇団角笛	一般社団法人演劇集団ワンダーランド	ミュージカルカンパニーイッツフォーリーズ	平富恵スペイン舞踊団	万作の会	邦楽囃子方集団若獅子会	めばえ寄席「○○亭」	東京フィルハーモニー交響楽団
巡回ブロック		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A・B・E
項目		オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	現代舞踊	歌舞伎・能楽	邦楽	演芸	オーケストラ等
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
12月1日	火	○	○		○				●		○	○	○
12月2日	水	○	●		○				●		○	○	○
12月3日	木	○	移		○				●		○	○	○
12月4日	金	○			○				○		○	○	○
12月5日	土	○			○							○	○
12月6日	日	移							移			○	移
12月7日	月	○			○				○		○	○	○
12月8日	火	○			○				●		○	○	○
12月9日	水	○			○				●		○	○	○
12月10日	木	○			○				●		○	○	○
12月11日	金				○				○		○	○	
12月12日	土				○							○	
12月13日	日				○				移			○	
12月14日	月				○	○			○			○	
12月15日	火				○	○			●			○	
12月16日	水				○	○			●			○	
12月17日	木				○	○			●			○	
12月18日	金				○	○			○		●	○	
12月19日	土										●	○	
12月20日	日											○	
12月21日	月					○						○	
12月22日	火					○						○	
12月23日	水					○						○	
12月24日	木					○						○	
12月25日	金					○						○	
12月26日	土										●		
12月27日	日										●		
12月28日	月												
12月29日	火												
12月30日	水												
12月31日	木												
1月1日	金												
1月2日	土												
1月3日	日												
1月4日	月										●		
1月5日	火												
1月6日	水												
1月7日	木												
1月8日	金												
1月9日	土												
1月10日	日												
1月11日	月	移											移
1月12日	火	○			移	○						○	○
1月13日	水	○			○	○						○	○
1月14日	木	○			○	○						○	○
1月15日	金				○	○						○	
1月16日	土											○	
1月17日	日											○	
1月18日	月				○						○	○	
1月19日	火				○						○	○	
1月20日	水				○						○	○	
1月21日	木				○						○	○	
1月22日	金				○						○	○	
1月23日	土											○	
1月24日	日	移										○	移
1月25日	月	○			○						○	○	○
1月26日	火	○			○						○	○	○
1月27日	水	○			○						○	○	○
1月28日	木				○						○	○	
1月29日	金				○						○	○	
1月30日	土											○	
1月31日	日											○	

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(実演芸術)

種　目(いずれかに○をつけて下さい。)　　B区分(令和元年度採択　延長)

【 音　　楽 】	合唱,(オーケストラ等), 音楽劇
【 演　　劇 】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【 舞　　踊 】	バレエ, 現代舞踊
【 伝統芸能 】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　　A区分のみ ・ (A区分とB区分の両方) ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　(あり) ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん　とうきょうふぃるはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人　東京フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長　三木谷　浩史		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒163-1408　東京都新宿区西新宿3−20−2　東京オペラシティタワー8F (京王新線　初台駅)		
電話番号	03−5353−9521	ＦＡＸ番号	03−5353−9523
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじん　とうきょうふぃるはーもにーこうきょうがくだん 東京フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長　三木谷　浩史		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒163-1408　東京都新宿区西新宿3−20−2　東京オペラシティタワー8F (京王新線　初台駅)		
制作団体 設立年月	明治44年3月		
制作団体 組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	[理事長] 三木谷浩史 [副理事長] 黒柳徹子 [専務理事] 石丸恭一 [常務理事] 工藤真実 [理事] 浮舟邦彦　大賀昭雄 大塚雄二郎　岸暁　篠澤恭助　田沼千秋 寺田琢　遠山敦子　野本弘文　韓昌祐 平井康文　宮内義彦 [監事] 岩崎守康　山野政彦 [評議員] 11名 [事務局] 22名	1) 団体構成員 [役員数] 29名 [団員] 136名 [団友] 50名 [事務局員] 22名 2) 主な構成員 [名誉音楽監督] チョン・ミョンフン [首席指揮者] アンドレア・バッティストーニ [特別客演指揮者] ミハエル・プレトニョフ [桂冠指揮者] 尾高忠明　大野和士　ダン・エッティンガー [レジデント コンダクター] 渡邊一正 [アソシエイト コンダクター] チョン・ミン [永久楽友・名誉指揮者] 大賀典雄	
事務体制の担当	専任 ・ (他の業務と兼任)	本事業担当者名	事業部　大谷絵梨奈
経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	鈴木美絵

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">明治43年に名古屋に発足した音楽隊を母体として、昭和13年12月に「中央交響楽団」を結成。昭和23年4月に「東京フィルハーモニー交響楽団」となり、昭和27年12月1日に財団法人として認可を受ける。平成24年4月1日に公益財団法人へ移行。日本で最も長い100余年の歴史をもち、約130名のメンバーでシンフォニーオーケストラとオペラ等の劇場オーケストラの両機能を併せもつ日本を代表するオーケストラ。「定期演奏会」や「午後のコンサート」「第九特別演奏会」などの主催公演の他、新国立劇場のレギュラーオーケストラとしてのオペラ・バレエ演奏、NHK や民放における放送演奏などによりホールに来場できない国内外の聴衆に音楽を提供しています。年間約400公演程の高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開し、クラシック音楽の普及に努めています。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">◆音楽鑑賞教室
教育委員会の委託による「音楽鑑賞教室」を毎年20公演程度開催。
◆提携事業
東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢市、新潟県長岡市との提携事業の一環として、青少年向けのワークショップ・公演を開催。
◆子ども向け自主公演
2002年～2013年、自主事業「こども音・楽・館」を実施。新宿区、渋谷区等近隣区域の小学校において(養護学校含む)アウトリーチも行いました。
◆文化庁巡回公演事業
・平成25年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」において16校で公演を実施。
・本事業の B 区分採択となった平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」以降5年間に渡り北海道・北東北地域を担当。東日本大震災の被災地域を含め、のべ99校で公演を実施。B 区分採択の業務である、事業の広報活動も積極的に展開し、各地域の教育委員会と連携し応募団体増加へ貢献しました。また、一般の方々へ事業の告知として、地域新聞社やTV局へのアプローチに力を入れ広報宣伝活動へ従事し大きな成果を挙げました。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">◆平成26年度 「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」にて、2 校実施。
実施校:北海道白糠養護学校(釧路市)、岩手県立宮古恵風支援学校(宮古市)
◆平成27年度 長岡市との提携事業の一環として実施。対象:新潟県立長岡聾学校
東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」
実施校:東京都立光明特別支援学校
◆平成28年度
東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」
実施校:東京都立清瀬特別支援学校
◆平成29年度 「Music Program TOKYO「特別支援学校におけるオーケストラ公演」
実施校:東京都立王子特別支援学校
長岡市との提携事業の一環として実施。
対象:長岡市立総合支援学校、長岡市立高等総合支援学校
◆平成30年度 「Music Program TOKYO「特別支援学校におけるオーケストラ公演」
実施校:東京都立白鷺特別支援学校</td></tr>
<tr><td rowspan="6">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>(有) ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>(有) ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://youtu.be/OSzhwXidJxI</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:特に無し
PW:特に無し</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名:東京フィルハーモニー交響楽団】

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	**オーケストラ公演 ＜東京フィルがやってきた！＞ ～カラダで音楽！～**
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	・オープニング ♪ロッシーニ:歌劇『ウィリアム・テル』より“スイス軍の行進” ・楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介) ♪アンダーソン楽曲より ・指揮体験 ♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番 ・ワークショップ①:オーケストラと身体を動かしてみよう！(体感する音楽体験=ボディパーカッション) ♪シャーマン兄弟:It's a small world ♪ベートーヴェン:交響曲第五番「運命」より 第1楽章抜粋(2020年ベートーヴェン生誕250年) ・ワークショップ②:歌詞を作ってみよう！(歌詞作成と内容把握) ♪シベリウス:交響詩「フィンランディア」(学校ごとのオリジナル合唱付) ♪各校校歌 ・アンコール : ♪外山雄三:管弦楽のためのラプソディより“八木節”　　公演時間(90 分)

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無

演 目 概 要	**70名のフルオーケストラが体育館で演奏することで、オーケストラの迫力を間近に感じることができ、多角的なアプローチとコラボレーションによって音楽の楽しさや魅力を身近に感じることができます。クラシック音楽を聴くだけでない「体感」できるプログラムです。** ・オープニング 児童の心を惹きつける華やかなファンファーレから始まる作品で、演奏会の幕開けを演出します。 ・楽器紹介 各楽器の音の出る仕組みや特徴をわかりやすく説明した後、弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器がフィーチャーされた曲をそれぞれ演奏します。 ・指揮体験 耳馴染みのある演目で、約70名からなるオーケストラの指揮者の役割に挑戦、体験してもらいます。 ・ワークショップ①:オーケストラと身体を動かしてみよう！(体感する音楽体験=ボディパーカッション) クラシックの名曲である「運命」に合せたボディパーカッションをオーケストラの演奏に合わせて共演し、「聴く」だけではなく、身体表現と関連付けて「体感」する事により、相互の関係から理解を深めることができます。 ・ワークショップ②:歌詞を作ってみよう！(歌詞作成と内容把握) 参加児童全員で作詞した「フィンランディア」のオリジナル合唱の歌詞を司会者が朗読。(本公演ではその歌詞を用いてオーケストラの演奏にのせて児童による大合唱で共演します) ・児童にとって最も身近な歌である「校歌」を豪華なオーケストラアレンジと共に歌います。 ・校歌や児童が作詞した「フィンランディア」の歌詞でオーケストラと共演する体験を通して、言葉を大切にし、感情を込めて歌う心を養い、本物のオーケストラサウンドを体感し、感性豊かな心を育成します。 ・アンコール 日本人作曲家による「管弦楽のためのラプソディ」で、日本の伝統音楽が持つ魅力を再認識し、オーケストラの演奏に手拍子で参加して頂き、会場が一体となり締めくくります。
演目選択理由	日本の西洋音楽教育の原点ともいえるクラシック音楽作品を中心に選曲しました。 これらの作品を通し、楽器紹介・指揮体験コーナーを含め、オーケストラと音楽をより身近に体感し、興味関心を持っていただけるように工夫しております。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	・指揮体験コーナー 各校2～3名の児童に「ハンガリー舞曲」の冒頭部分を指揮し、オーケストラをとり仕切るマエストロ(指揮者)の役割を体験してもらいます。 ・ボディパーカッション 音楽の原点である打楽器を身体で表現していただくことで、音楽への新たな興味を促します。 ・歌詞作成 みんなで作ったオリジナルの歌詞でオーケストラと共演し、豊かな感性を育てます。
出　　演　　者	指揮者:円光寺雅彦 他 司 会 :山本愛香 他 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団(2管12型) ※楽団員は別紙「東京フィルハーモニー交響楽団楽団員名簿」を参照下さい。

公演出演予定者数(1公演あたり)	出 演 者: 68名 ス タ ッ フ: 6名 合　　計: 74名	機 材 等 運搬方法	積載量 4t 車 長 8m40cm 台 数 1台

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名:東京フィルハーモニー交響楽団】

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年)　・　中 学 生
企画名	**オーケストラ公演　＜東京フィルがやってきた！＞ ～ カラダで音楽！～**
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	・オープニング　♪ロッシーニ:歌劇『ウィリアム・テル』より"スイス軍の行進" ・楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介) ♪ロジャース&ハマースタイン:「サウンド・オブ・ミュージック」よりドレミの歌 ・指揮体験　♪ベートーヴェン:交響曲第５番「運命」より第１楽章 (2020年ベートーヴェン生誕250年) ・ワークショップ①:オーケストラと身体を動かしてみよう！(体感する音楽体験) ♪ボディパーカッション ♪服部正:ラジオ体操第一 ・ワークショップ②:第九を歌ってみよう！(言語と歌詞の内容把握) ♪ベートーヴェン:交響曲第九番「合唱付き」より抜粋 (2018年は日本で初演されてから100年) ♪各校校歌 ・鑑賞　♪ヴェルディ:歌劇「アイーダ」より凱旋行進曲(吹奏楽部など共演可能) ・アンコール ： ♪外山雄三:管弦楽のためのラプソディより"八木節"　公演時間(90 分)
著作権	○ 制作団体が所有　　制作団体以外が所有する事項が含まれる　　(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演 目 概 要	**70名のフルオーケストラが体育館で演奏することで、オーケストラの迫力を間近に感じることができ、多角的なアプローチとコラボレーションによって音楽の楽しさや魅力を身近に感じることができます。クラシック音楽を聴くだけでない「体感」できるプログラムです。** ・オープニング:生徒を惹きつける華やかなファンファーレから始まる作品で、演奏会の幕開けを演出します。 ・楽器紹介:各楽器の音の出る仕組みや特徴をわかりやすく説明した後、弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器がフィーチャーされた曲を演奏します。 ・指揮体験:耳馴染みのある曲目を用い、約70名からなるオーケストラの指揮者の役割に挑戦、体験してもらいます。 ・ワークショップ①:オーケストラと身体を動かしてみよう！(音楽を体感する。体育と音楽を相互の関係で捉える) 日常生活において親しみのある「ラジオ体操」をオーケストラの演奏に合わせて共演します。スポーツと音楽の祭典であるオリンピック・パラリンピックを2020年に迎えるのを機に、馴染みある音楽を「聴く」だけではなく、スポーツと関連付けて「体感」する事により、相互の関係から理解を深めることができます。 ・ワークショップ②:第九を歌ってみよう！(言語と歌詞から作品を理解する) ベートーヴェン作曲「第九」は、2018年に日本初演100年を迎え、日本の12月の風物詩と言えるほど定着しました。「第九」の歌詞を紐解き、その意を理解した上で、生徒による大合唱とオーケストラが共演します。 また、生徒にとって最も身近な歌である「校歌」を、歌詞の内容を理解して歌う重要性を認識しながら、豪華なオーケストラアレンジと共に歌います。これらの体験を通して、言葉を大切に感情込めて歌う心を養い、本物のオーケストラサウンドを体感し、感性豊かな心を育成します。 ・アンコール 日本人作曲家による「管弦楽のためのラプソディ」で、日本の伝統音楽が持つ魅力を再認識し、オーケストラの演奏に手拍子で参加して頂き、会場が一体となり締めくくります。
演目選択理由	日本の西洋音楽教育の原点ともいえるクラシック作品を中心に選曲しました。 これらの作品を通し、楽器紹介・指揮体験コーナーを含め、オーケストラと音楽をより身近に 体感し、興味関心を持っていただけるように工夫しております。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	・指揮体験コーナー 各校2～3名の生徒に、「運命」の冒頭部分を指揮体験していただき、オーケストラをとり仕切るマエストロ(指揮者)の役割を体験してもらいます。 ・オーケストラと身体を動かしてみよう！ 日常生活において身近な音楽である「ラジオ体操」を取り上げ、体育分野と関連付けて「体験」することにより相互の関係から音楽の理解を深めることができます。 ・第九を歌ってみよう！ ベートーヴェン:「第九」の言語及び歌詞の理解とオーケストラと共演によって豊かな感性を育てます。
出　　演　　者	指揮者:円光寺雅彦　他 司 会 :塚本江里子　他 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団(2管12型) ※楽団員は別紙「東京フィルハーモニー交響楽団楽団員名簿」を参照下さい。
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者:　68名 スタッフ:　6名 合　　計:　74名
機 材 等 運搬方法	積載量　　4t 車 長　8m40cm 台 数　　1台

【公演団体名：東京フィルハーモニー交響楽団】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み（ 有 ・ (無) ） 会場設営の所要時間（ 1.5～2時間程度 ）
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み/リハーサル</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>9時</td><td>9時～10時/12時～13時</td><td>14時～15時半</td><td>0分</td><td>15時半～16時半</td><td>17時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。
本公演前にリハーサルがある場合の仕込み時間を想定。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>
<table>
<tr><td>ワークショップ</td><td>20～700名程度まで対応可能です。（全学年対応）</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>20～700名程度まで対応可能です。（全学年対応）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>1）ミニ・コンサート
オーケストラや楽器の話を交えながら、本物の楽器の音色や歌唱を聴いていただきます。
2）自己表現：カラダで音楽
音楽を通して表現すること＝音楽と身体表現を体感します。
3）オリジナルの歌を作ろう：（小学校）
交響詩「フィンランディア」の一部分に学校オリジナルの歌詞を作ります。
そのための発想のヒントや歌唱法についてアドヴァイスします。
4）第九を歌おう（中学校）
ベートーヴェンの第九を言語で歌うことにより、歌詞の理解を深めます。
また、楽曲の理解を深めた後、感情を込めて歌うための歌唱法についてアドヴァイスします。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>小さな編成で音楽を鑑賞することで、解体された個別の音から、音楽への理解を深めるだけでなく、ハーモニー（協調性）の大切さを知る機会となります。また、第九の歌唱やオリジナルの歌詞作成の体験等が、「創造力、発想力、コミュニケーション能力」の育成と「連携・協働・共有」の体験の場となることを目指します。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>演奏時間や共演内容を学校ごとに綿密に打ち合わせさせていただき、学校の特色に合わせ、児童生徒への負担が大きくならないように留意しながら、最大の効果を生む公演を行えるよう、様々な点で調整します。また、児童生徒の皆様と積極的に交流を図ってまいります。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

東京フィルハーモニー交響楽団　出演表

コンサートマスター　三浦 章宏、近藤 薫、依田 真宣

第1ヴァイオリン
小川 響子
小島 愛子
栃本 三津子
平塚 佳子
浅見 善之
浦田 絵里
加藤 光
坂口 正明
佐藤 実江子
鈴木 左久
高田 あきの
田中 秀子
津田 好美
中澤 美紀
中丸 洋子
二宮 純
廣澤 育美
弘田 聡子
松田 朋子

第2ヴァイオリン
戸上 眞里
藤村 政芳
水鳥 路
宮川 正雪
山内 祐子
石原 千草
出原 麻智子
印田 千裕
太田 慶
葛西 理恵
黒沢 誠登
黒田 玲
榊原 菜若
高木 菜月
二宮 祐子
原田 亮子
山代 裕子
吉田 智子
吉永 安希子
若井 須和子
渡邉 みな子

ヴィオラ
須田 祥子
須藤 三千代
高平 純
加藤 大輔
伊藤 千絵
岡保 文子
曽和 万里子
高橋 映子
手塚 貴子
中嶋 圭輔
蛭海 たづ子
古野 敦子
村上 直子
森田 正治

チェロ
金木 博幸
服部 誠
渡邉 辰紀
高麗 正史
石川 剛
大内 麻央
太田 徹
菊池 武英
佐々木 良伸
長谷川 陽子
渡邊 文月

コントラバス
黒木 岩寿
小笠原 茅乃
遠藤 柊一郎
岡本 義輝
熊谷 麻弥
菅原 政彦
田邊 朋美
戸谷 翔太
三好 美和

フルート
神田 勇哉
斉藤 和志
吉岡 アカリ
さかはし 矢波
十亀 有子
名雪 裕伸

オーボエ
荒川 文吉
加瀬 孝宏
佐竹 正史
佐藤 麻咲
杉本 真木
三谷 真紀
若林 沙弥香

クラリネット
チョ・スンホ
ｱﾚｯｻﾝﾄﾞﾛ・ﾍﾞﾝﾂﾞｪﾗﾘ
万行 千秋
荒井 伸一
黒尾 文恵
林 直樹

ファゴット
大澤 昌生
チェ・ヨンジン
廣幡 敦子
井村 裕美
桔川 由美
森 純一
吉澤 真一

ホルン
磯部 保彦
齋藤 雄介
高橋 臣宜
今井 彰
大東 周
木村 俊介
田場 英子
塚田 聡
古野 淳
山内 研自
山本 友宏

トランペット
川田 修一
古田 俊博
杉山 眞彦
前田 寛人

トロンボーン
五箇 正明
中西 和泉
辻 姫子
石川 浩
平田 慎
山内 正博

テューバ
大塚 哲也
荻野 晋

ティンパニ＆パーカッション
岡部 亮登
塩田 拓郎
高野 和彦
木村 達志
幸西 秀彦
鷹羽 香緒里
縄田 喜久子
船迫 優子
古谷 はるみ

ハープ
梶 彩乃
田島 緑
宮原 真弓

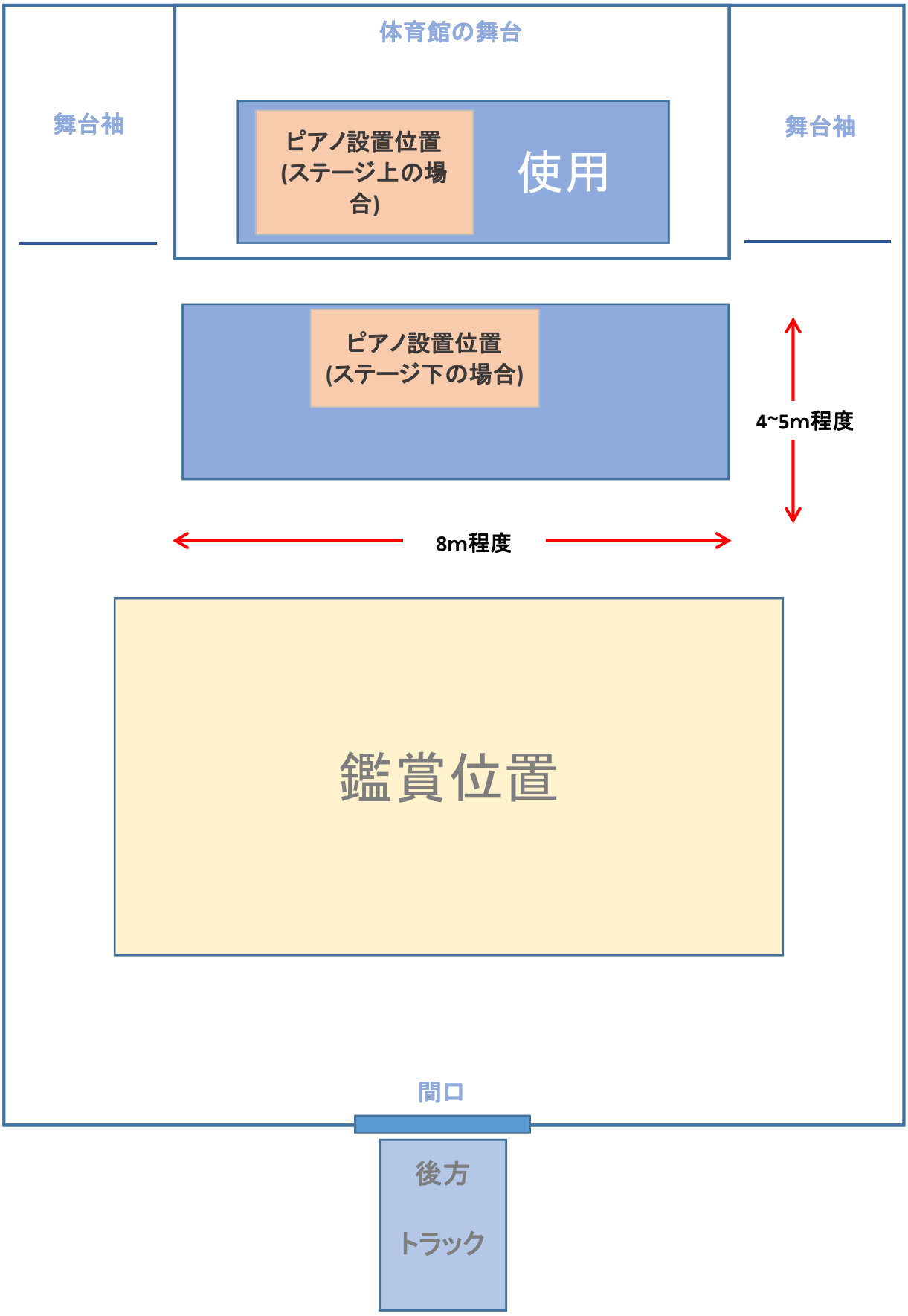
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A1	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	A	区分	B区分
公演団体名	東京フィルハーモニー交響楽団				制作団体名	公益財団法人　東京フィルハーモニー交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	不可	必要数＊	5室	条件	指揮者1室、司会者1室、コンサートマスター1室 オケ男性・オケ女性各1室（着替えがあるため）				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台		大型バス　2台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(幅2m22cm　長さ7m75cm　高さ3m33cm)				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			台車などで搬入できるフラットな導線の場合は問いませんが、階段や間口の狭い導線の場合は事前に要確認。				
	不可	搬入経路の最低条件			できる限りフラットで階段のない経路を希望します 雨風が当たらない屋根のある経路を希望します				
		理由			ティンパニやハープなど大型楽器搬入のため 搬入時間を最短にするため				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m		高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		700名程度まで					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	できる限り全学年			
	不可	所要時間の目安 単位：分		90分程度(公演時間が押さないよう、途中休憩はなし)					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		700名程度まで					
	不可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8～10m	奥行	8～10m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	楽器ケース等が置けるスペース確保ができる状態					
	―		緞帳＊	不要		バトン＊	不要		
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	可能であれば収納した状態でお願いします。					
	―	公演に必要な電源容量		不要	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	不可	冬時期に開催予定の場合は、会場と控え室にヒーターの手配をお願いする事があります。							

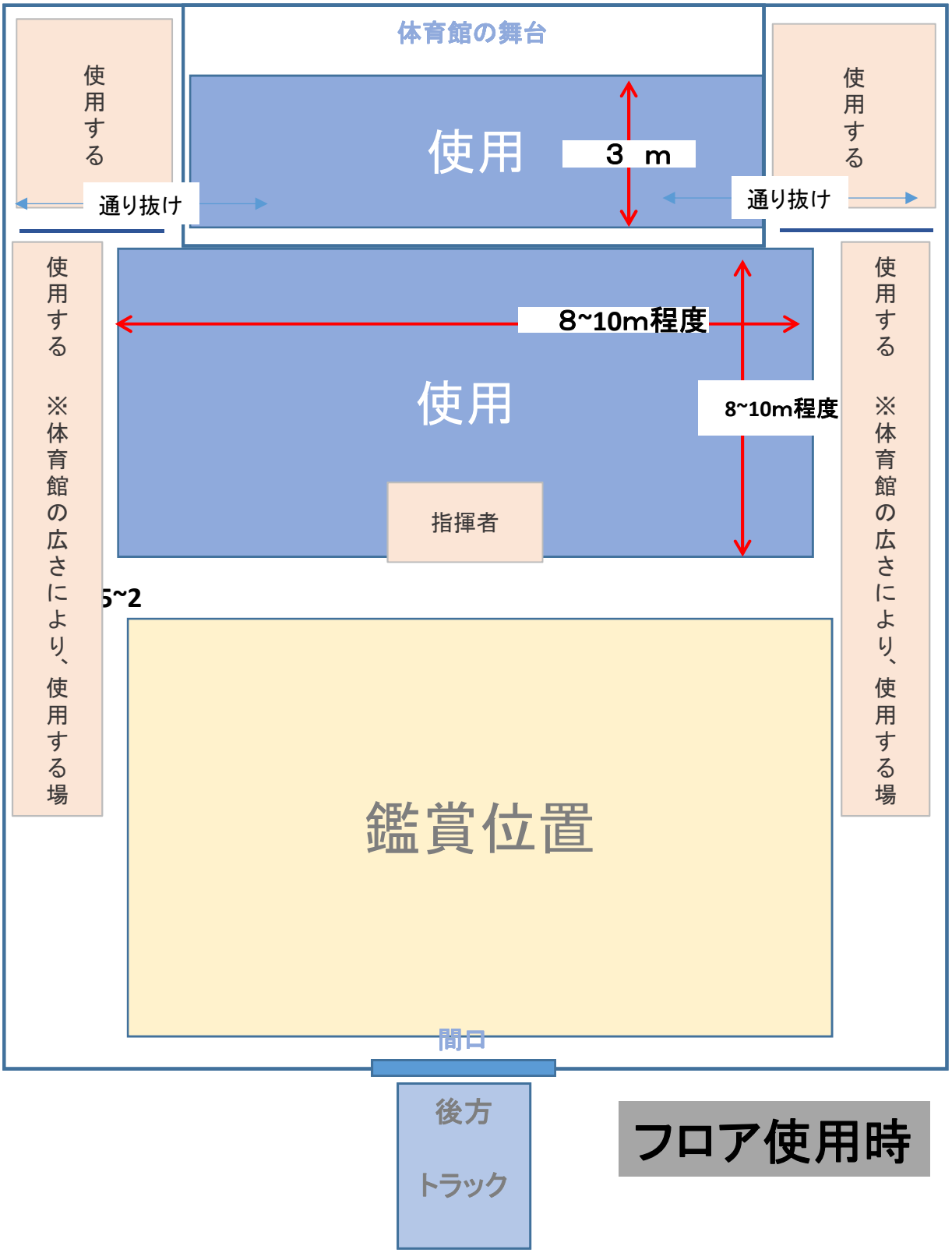
ワークショップ会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	-	高さ	-
搬入車両の横づけの要否	否(WSでは大きい楽器の搬入はありません)			
横づけができない場合の搬入可能距離	-			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

本公演会場図面(表記単位:メートル)



フロア使用時

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない(ただし室内を移動できること、段差が無いと尚良い)		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

管弦楽

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年（明治44年）創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約130人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル　検索

©上野隆文

©三浦興一

円光寺 雅彦

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ウィーンでオトマール・スウィトナー氏に師事。

東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札響正指揮者、名古屋フィル正指揮者を歴任。

N響、読響、東京フィル、新日本フィル、大阪フィルをはじめほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、ブルターニュ管弦楽団などに客演。テレビ等の番組にも定期的に出演など、幅広い活躍を続けている。

塚本江里子

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程オペラ科修了。これまでに、数多くの演奏会やオペラに出演。2015年より、応募者多数の中からオーディションに合格しBSフジ「ポンキッキーズ」にて歌のおねえさんとして活動、司会やナレーションも務める。また、論語指導士の資格を取得し、子ども論語ワークショップの講師を務める。クラシックから子どもの歌まで、ジャンルを越えて活動するソプラノ歌手。特技はなわとび。

知ってますか？

10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

開催日程	開催校	地元主催者
9月11日（水）	鹿角市立十和田中学校	秋田県教育委員会
11月26日（火）	藤崎町立藤崎中学校	青森県教育委員会、藤崎町教育委員会

メインイラスト：タカハシマホ

月　日（　）　学校

令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―
東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演

東京フィルがやってきた！

「文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

一月一日のワークショップからみんなで準備してきました

ワークショップ、オープニングの様子。少ない人数で迫力ある演奏に釘付け！

弦楽器代表「ヴァイオリン」。音の出る仕組みを学びます。

管楽器代表「ホルン」。奥深い音色にうっとりです！

打楽器奏者は色々な楽器を演奏します。ワークショップでは音楽室の楽器を借用しました！

ワークショップでは「第九」の合唱をドイツ語で歌う練習をしました。

（鹿角市立十和田中学校）

また、本公演で会おうね！歌の練習頑張ってね！

今日、いよいよ本番です！

プログラム Program

▶オープニング

ロッシーニ　歌劇『ウィリアム・テル』序曲より“スイス軍の行進”

▶楽器紹介

ロジャース　『サウンド・オブ・ミュージック』より ドレミの歌

▶指揮体験

ベートーヴェン　交響曲第5番『運命』第1楽章より

▶オーケストラと身体を動かしてみよう！

藤山一郎　新しい朝が来た

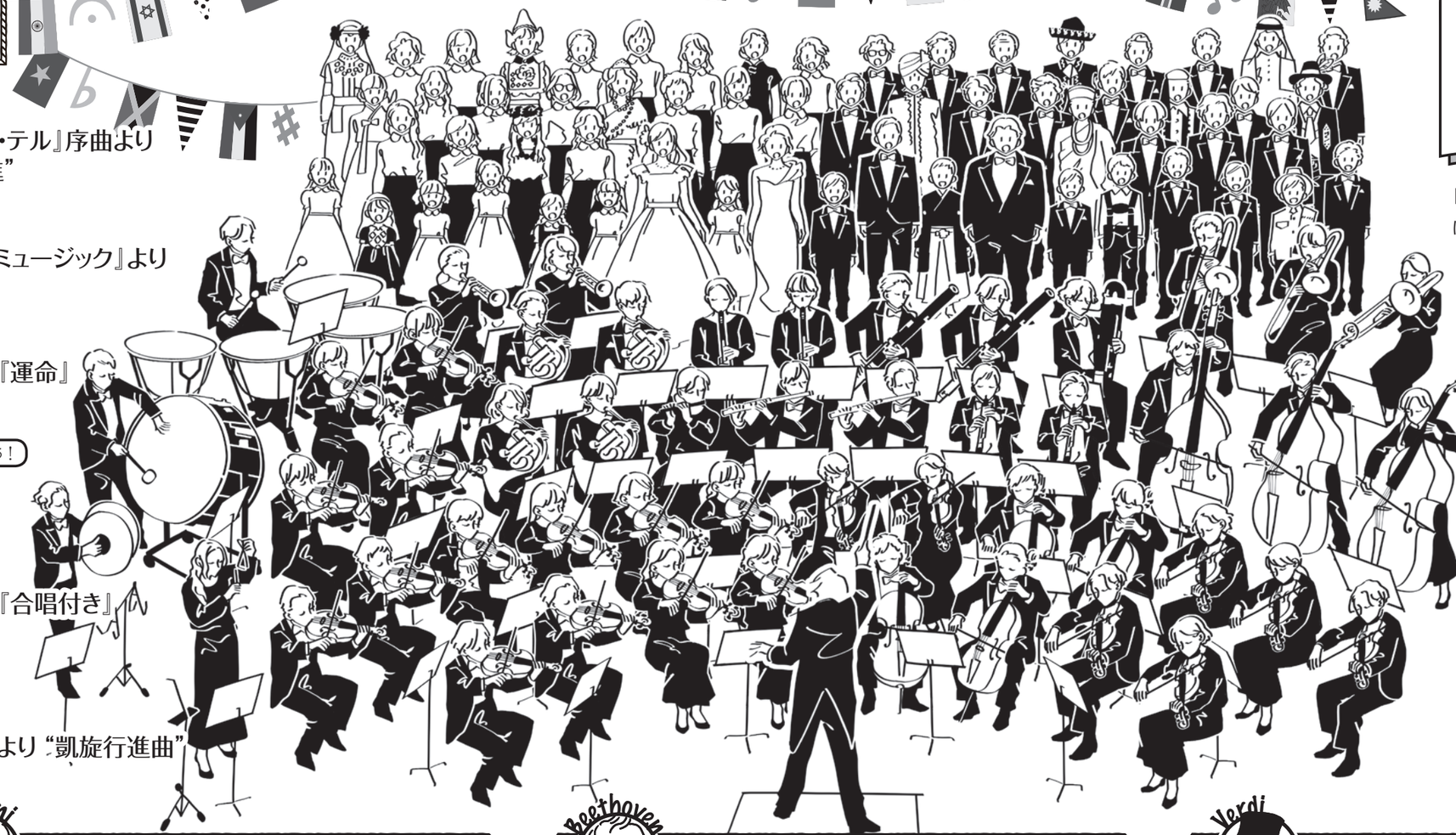
服部 正　ラジオ体操第一

▶「第九」を歌おう！

ベートーヴェン　交響曲第9番『合唱付き』第4楽章より

各校校歌の演奏

ヴェルディ　歌劇『アイーダ』より“凱旋行進曲”



第九について About Beethoven's Symphony No. 9

解説＝鉢村 優

「第九」が日本で初めて全曲演奏されたのは第一次世界大戦中、徳島県にあるドイツ人捕虜収容所でのこと。また、第二次世界大戦後、東西に分断されていたドイツが統一された際にも「第九」は演奏されました。かつて敵としていがみ合った人々が声を合わせて歌い、共に耳を傾けることで、同じ地球に生きる仲間として認めあったのです。このように「第九」は、バラバラになった人々の心をつなぎ、平和を願う音楽として歌い継がれてきました。人種も、生まれも、考え方も関係なく、友愛に満ちた世界を作ろう―「第九」は今も私たちにそう呼びかけています。

曲について Program Notes

解説＝柴田克彦

ジョアキーノ・ロッシーニ（1792-1868）
歌劇『ウィリアム・テル』序曲より“スイス軍の行進”

イタリアの作曲家ロッシーニが、13世紀のスイス独立運動のヒーロー、ウィリアム・テルの活躍を描いたオペラから。幕あけ前に演奏される「序曲」の最後に流れる有名な音楽です。トランペットのファンファーレに始まり、馬に乗って駆けていくような行進曲が、さっそうと繰り広げられます。

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770-1827）
交響曲第9番『合唱付き』第4楽章

ドイツの作曲家ベートーヴェンが1824年に完成したこの曲は、オーケストラ音楽だった交響曲に歌を取り入れたユニークな作品。“苦しみから喜びへ”というテーマが大きなスケールで描かれています。声楽が加わる第4楽章は、“人間愛による平和”を歌った有名な部分。メインの旋律は「喜びの歌」の名で親しまれています。

ジュゼッペ・ヴェルディ（1813-1901）
歌劇『アイーダ』より“凱旋行進曲”

イタリアを代表するオペラの作曲家ヴェルディが約150年前に書いた悲劇からの1曲。エチオピア軍を破って国に戻って来たエジプトの将軍ラダメスらが皆に迎えられる、華やかな場面の音楽です。トランペットに導かれて一行が歩みを進めるこのダイナミックな行進曲は、スポーツなどのイベントでもおなじみになっています。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，[オーケストラ等]，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　[A区分のみ] ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あ り ・ [な し]

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん　しんにほんふぃるはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人　新日本フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長・宮内　義彦		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-3 すみだトリフォニーホール 7 階 (最寄駅:JR・東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」)		
電話番号	03-5610-3820	FAX 番号	03-5610-3825
ふりがな 公演団体名	しんにほんふぃるはーもにーこうきょうがくだん 新日本フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	専務理事・林　豊		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-3 すみだトリフォニーホール 7 階 (最寄駅:JR・東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」)		
制作団体設立年月	1972 年 9 月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長/宮内義彦 副理事長/日枝久、横山利夫 専務理事/林豊 理事/荻田伍、久保哲也、庄子幹雄、和地孝、門脇賀智志、澤上篤人、鈴木茂晴、國部毅、澁谷哲一、竹原一衛	(1)団体構成員 音楽監督:上岡 敏之 楽員 80 名　事務局員 31 名　計 111 名 (2)加入条件:楽員の採用は当団規定の要綱に従ったオーディションによる。事務局員の採用は当団規定の面接による。年齢・国籍などの条件なし。	
事務体制の担当	専任　・[他の業務と兼任]	本事業担当者名	事業部　企画・制作担当 中村　要
経理処理等の監査担当の有無	[有] ・ 無	経理責任者名	総務部　部長 新藤　猛

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1972 年、指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。97 年より墨田区に移転。同年オープンのすみだトリフォニーホールを活動の本拠地とし、日常の練習と公演を行うという日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会、特別演奏会を行うほか、地元の学校体育館や小中学校の音楽授業、各種施設を訪れるなど、地域に根ざした演奏活動も精力的に行っているのが特徴的。99 年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。このほか 04 年に音楽家・久石譲と立ち上げた“新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ”で幅広い人気を集めており、映画『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』等では管弦楽を担当。近年の斬新な企画と優れた演奏は高く評価されている。指揮者・上岡敏之が 2016 年 9 月、音楽監督に就任。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">・墨田区内の小中学校の体育館へ出向くコミュニティコンサート 29 回
<table>
<tr><th>1-15 回</th><th>会場</th><th>16-29 回</th><th>会場</th></tr>
<tr><td>1989/7/5</td><td>立花小学校、錦糸中学校</td><td>2005/10/23</td><td>寺島中学校、竪川中学校</td></tr>
<tr><td>1990/9/2</td><td>第三吾嬬小学校、竪川中学校</td><td>2006/11/5</td><td>東吾嬬小学校、言問小学校</td></tr>
<tr><td>1991/9/15</td><td>向島中学校、両国小学校</td><td>2007/10/14</td><td>隅田小学校、押上小学校</td></tr>
<tr><td>1992/10/10</td><td>外手小学校、吾嬬第三中学校</td><td>2008/10/26</td><td>鐘淵中学校、立花中学校</td></tr>
<tr><td>1993/7/11</td><td>吾嬬第二中学校、緑小学校</td><td>2009/11/26</td><td>第一寺島小学校、立花吾嬬の森小学校</td></tr>
<tr><td>1994/11/13</td><td>隅田第二小学校</td><td>2010/10/11</td><td>第三吾嬬小学校、梅若小学校</td></tr>
<tr><td>1995/10/15</td><td>第二吾嬬小学校、錦糸小学校</td><td>2011/10/30</td><td>緑小学校、言問小学校</td></tr>
<tr><td>1996/11/3</td><td>柳島小学校、隅田第二小学校</td><td>2013/9/29</td><td>桜堤中学校、吾嬬第一中学校</td></tr>
<tr><td>1997/7/13</td><td>菊川小学校</td><td>2014/9/21</td><td>中和小学校、隅田小学校</td></tr>
<tr><td>1998/6/14</td><td>両国小学校、隅田中学校</td><td>2015/10/12</td><td>第三吾嬬小学校、両国小学校</td></tr>
<tr><td>1999/10/31</td><td>第三寺島小学校、中和小学校</td><td>2016/10/16</td><td>東吾嬬小学校、梅若小学校</td></tr>
<tr><td>2000/9/24</td><td>両国小学校、小梅小学校</td><td>2017/10/7</td><td>本所中学校、吾嬬第二中学校</td></tr>
<tr><td>2001/10/28</td><td>第二寺島小学校、柳島小学校</td><td>2018/10/21</td><td>桜堤中学校、第三寺島小学校</td></tr>
<tr><td>2003/10/26</td><td>二葉小学校、第三寺島小学校</td><td>2019/10/20</td><td>*会場未定</td></tr>
<tr><td>2004/11/6</td><td>横川小学校、八広小学校</td><td></td><td></td></tr>
</table>
・その他、毎年区立の全小中学校で行っている室内楽形態のアウトリーチ授業
・地域拠点契約を結んでいる可児市で行っている室内楽形態のアウトリーチ授業</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">2016 年 3 月　東京都立墨田特別支援学校
2017 年 2 月　東京都立江東特別支援学校
2018 年 2 月　東京都立小平特別支援学校
2018 年 12 月　東京都立光明学園
2019 年 11 月　東京都立光明学園(予定)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>[有] ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ [無]</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:　PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="2">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>[有] ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://www.youtube.com/watch?v=RWvgxbG6W7w&feature=youtu.be

https://www.youtube.com/watch?v=defVe6ZC9rg&feature=youtu.be</td></tr>
<tr><td></td><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:　PW:</td></tr>
</table>

公　演　・　ワークショップの内　容　　**【公演団体名　　新日本フィルハーモニー交響楽団】**

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中　学　生
企画名	新日本フィルハーモニー交響楽団 ―オーケストラ大発見コンサート―
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	①映画　J.ウィリアムズ:映画『スター・ウォーズ』より「メイン・タイトル」　(6’) ②楽器紹介　弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器　(20’) ③独奏曲　マスネ:タイスの瞑想曲　(6’) ④交響曲　ベートーヴェン:交響曲第 5 番ハ短調「運命」op.67 より第 1 楽章(8’) ―休憩 10 分― ⑤共演　児童・生徒とオーケストラの共演:ボディ・パーカッション　(15’) ⑥ジブリ　久石譲:『ハウルの動く城』より「人生のメリーゴーランド」　(6’) ⑦合唱　学校校歌(オーケストラの伴奏による共演)　(4’) ⑧日本　外山雄三:管弦楽のためのラプソディ　(7’) ⑨アンコール）オッフェンバック:喜歌劇『天国と地獄』序曲より「カンカン」　(2’) 公演時間(約 95 分、お話含む)

著作権	－	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要

①J.ウィリアムズ:映画『スター・ウォーズ』より「メイン・タイトル」
演奏会の幕開けは、40 年以上にわたって全世界で愛されるハリウッド映画の金字塔から。疾走感・迫力のある曲で子供達の興味を引き付けます。

②楽器紹介
オーケストラの各セクションを取り上げて楽器紹介と演奏を行います。個々の楽器に注目して頂くことで、後半の演目においても楽器の特性や人数、配置によって生み出される演奏の奥深さを感じて頂きます。

③マスネ:タイスの瞑想曲
ヴァイオリンを主役に据えた独奏曲を取り上げ、「オーケストラ・ソリスト・指揮者」三位一体の共演を通じてオーケストラの別の一面を見て頂きます。また、楽器の音色やテクニック、独奏曲特有の感情的な表現を堪能して頂いた後、奏者への簡単なインタビューも交えて一層の親近感を持って頂きたい。

④ベートーヴェン:交響曲第 5 番ハ短調「運命」op.67 より第 1 楽章
いわゆる「運命の動機」として有名な冒頭から始まる「運命」は、日本人にとって最も有名なクラシック音楽の 1 つでしょう。今回演奏するのは 30 分を超える壮大な交響曲の一部ですが、この後に続く展開に想像を膨らませながら堪能して頂きます。コンサートホールさながらの雰囲気でオーケストラの醍醐味を味わって頂きます。

⑤児童・生徒とオーケストラの共演／ボディ・パーカッション
ボディ・パーカッションを通じて、オーケストラとの共演をして頂きます。リズムを表現する、アンサンブルを合わせる、といった合奏の基本的な要素を体験して頂きます。

⑥久石譲／『ハウルの動く城』より「人生のメリーゴーランド」
オーケストラ演奏に触れる機会が滅多にないという声も聞かれますが、決してそんなことはありません。新日本フィルは幾つかのジブリ映画の録音に参加しており『ハウルの動く城』もその 1 つです。映画館や映像で耳にしたテーマ曲を生演奏で届けます。

⑦学校校歌
オーケストラによる伴奏で児童・生徒の合唱との共演を行います。日頃から親しんでいる校歌がどのように変化しているかを楽しんで下さい。

⑧外山雄三:管弦楽のためのラプソディ
クラシック音楽は西洋の文化を発祥としていますが、現在では日本の優れた作曲家

	の作品も頻繁に演奏されています。日本を代表する指揮者/作曲家である外山雄三による本作は、日本の童歌や民謡を素材に作られたとてもユニークな作品です。 拍子木、鉦、締太鼓、チャンチキなど、様々な日本の打楽器が複雑に絡み合ったリズムに乗って「手まり唄」、「ソーラン節」、「炭坑節」などの伝統音楽がオーケストラによって次々に演奏されていきます。 ⑨アンコール) オッフェンバック:喜歌劇『天国と地獄』序曲より「カンカン」 演奏会ではアンコール曲も楽しみの 1 つです。オッフェンバック作の喜歌劇より、おどけたリズムと迫力ある演奏で耳馴染みのある曲を演奏します。
演目選択理由	聴き馴染みのある楽曲であることと、クラシック音楽を体現する素晴らしい作品を取り上げることを意識して選曲した。曲間にお話も交えることで、初めての体験であっても抵抗なくオーケストラの演奏に触れることができる。緩急様々な楽曲を配することで、迫力ある響きや繊細な音色を自在に操り、主役にも脇役にも成りうるオーケストラの多面的な魅力を表現したい。 また、合唱やボディ・パーカッションなどの共演部分を通じてオーケストラとの一体感を持って頂き、音楽を介した相互の交流を図りたい。本公演においては、楽器紹介や共演等様々な切り口から、オーケストラの魅力を体系的に理解して頂くことを目指している。
児童・生徒の共演,参加又は体験の形態	⑤児童・生徒とオーケストラの共演/ボディ・パーカッション 自身の体を楽器として、リズムを奏でる楽しさを実感して頂きたい。誰でも簡単に、オーケストラの一部として演ずる楽しさを知ることができます。 ⑦学校校歌 普段親しんでいる校歌をオーケストラ伴奏に編曲しています。多様な楽器の音色に耳を澄ませながら、共に歌う喜びを体感して頂きます。
出演者	指揮者/1 名:中田延亮(予定) ヴァイオリン独奏/1 名:(未定) 司会/1 名:岩﨑瑞穂(予定) オーケストラ(61 名 2 管 10 型) [No.2 別紙メンバー表 参照]

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 64 名 スタッフ: 9 名 合 計: 73 名	機材等 運搬方法	積載量: 4t 車 長 : 9m 台 数 : 1 台

【公演団体名　　新日本フィルハーモニー交響楽団】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(1 時間 30 分程度)

到着	仕込み	リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
09:00	09:00～10:30	11:30～12:30	14:00～15:30	10 分	15:30～16:30	16:30

※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	約 50～400 人
	本公演	約 50～400 人
ワークショップ実施形態及び内容	・楽器紹介コーナー ミニコンサートやお話を通じて、楽器の構造や歴史、オーケストラでの役割を解説する。 ・ボディ・パーカッション 本公演での共演に向けたボディ・パーカッションの導入とオリジナルリズムの制作指導。 ・曲目解説 本公演で演奏する曲目や関連する楽曲を演奏し、作曲家や作品への理解を深める。	
ワークショップ実施形態の意図	本公演の理解が深まるようなプログラムを意図している。音楽家が間近で演奏を披露することで、楽曲を楽しむだけでなく、楽器の特性や演奏方法による音色の違い等に触れて頂きたい。事前に楽器の魅力に触れることで、本公演における多様な表現と音の重なりが生み出す効果を改めて認識してもらうことを目的とする。また、事前指導や質問コーナー等を通じてコミュニケーションを図り、本公演への興味や意欲を更に高めたい。	
特別支援学校での実施における工夫点	リラックスして楽しんで頂くことを優先し、演奏の楽しさを五感で感じられる場を提供する。特別支援学校での演奏経験を踏まえ、親しみやすい楽曲を含めた緩急織り交ぜたプログラム構成とした。	
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。	

公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団 楽団員一覧

ソロ・コンサートマスタ	崔　文洙	フルート	荒川　洋☆
ソロ・コンサートマスタ	豊嶋　泰嗣		野口　みお
コンサートマスター	西江　辰郎	フルート＆ピッコロ	渡辺　泰
第1ヴァイオリン	堀内　麻貴〇	オーボエ	古部　賢一★
	山田　容子〇		浅間　信慶
	一重　弘子		
	稲垣　桃子	オーボエ＆	
	岸田　晶子	イングリッシュホルン	森　明子
	古日山　倫世		
	澤田　和慶	クラリネット	重松　希巳江★
	塩澤　菜美		植木　章口
	宗田　勇司		鈴木　良昭（楽友）
	竹中　勇人	クラリネット＆	
	田村　直貴	Esクラリネット	中舘　壮志☆
	松宮　麻希子		
	山口　幸子	クラリネット＆	
		バスクラリネット	マルコス・ペレス・ミランダ☆
第2ヴァイオリン	ビルマン　聡平★	ファゴット	河村　幹子★
	吉村　知子★		坪井　隆明★
	佐々木　絵理子〇		石川　晃
	小池　めぐみ		佐久間　大作
	篠原　英和		
	砂畑　佳江		
	田村　安紗美	ホルン	吉永　雅人☆
	中川　富美子		金子　典樹
	中矢　英視		田島　小春
	深谷　まり		田中　雅樹
	松崎　千鶴		藤田　麻理絵
	山﨑　恵子		
ヴィオラ	井上　典子★	トランペット	市川　和彦☆
	篠﨑　友美★		杉木　淳一朗
	脇屋　冴子〇		
	岩井　香保里		
	醍醐　のり子		
	高橋　正人	トロンボーン	山口　尚人☆
	濵本　実加		奥村　晃
	原　　孝明	バス・トロンボーン	鈴木　崇弘
	間瀬　容子		
	矢浪　礼子		
	吉鶴　洋一	テューバ	佐藤　和彦★
チェロ	長谷川　彰子★	ティンパニ	川瀬　達也★
	川上　徹〇		
	飯島　哲蔵		
	サミュエル・レナート・エリクソン		
	弘田　徹	パーカッション	山田　徹
	森澤　泰		腰野　真那
	多田　麗王		柴原　誠
	矢野　晶子		
コントラバス	竹田　勉★		
	城　満太郎〇		
	菅沼　希望（留）	★首席 ☆副首席 〇フォアシュピーラー 口契約団員	
	村松　裕子		
	藤井　将矢		

（2019年7月現在）

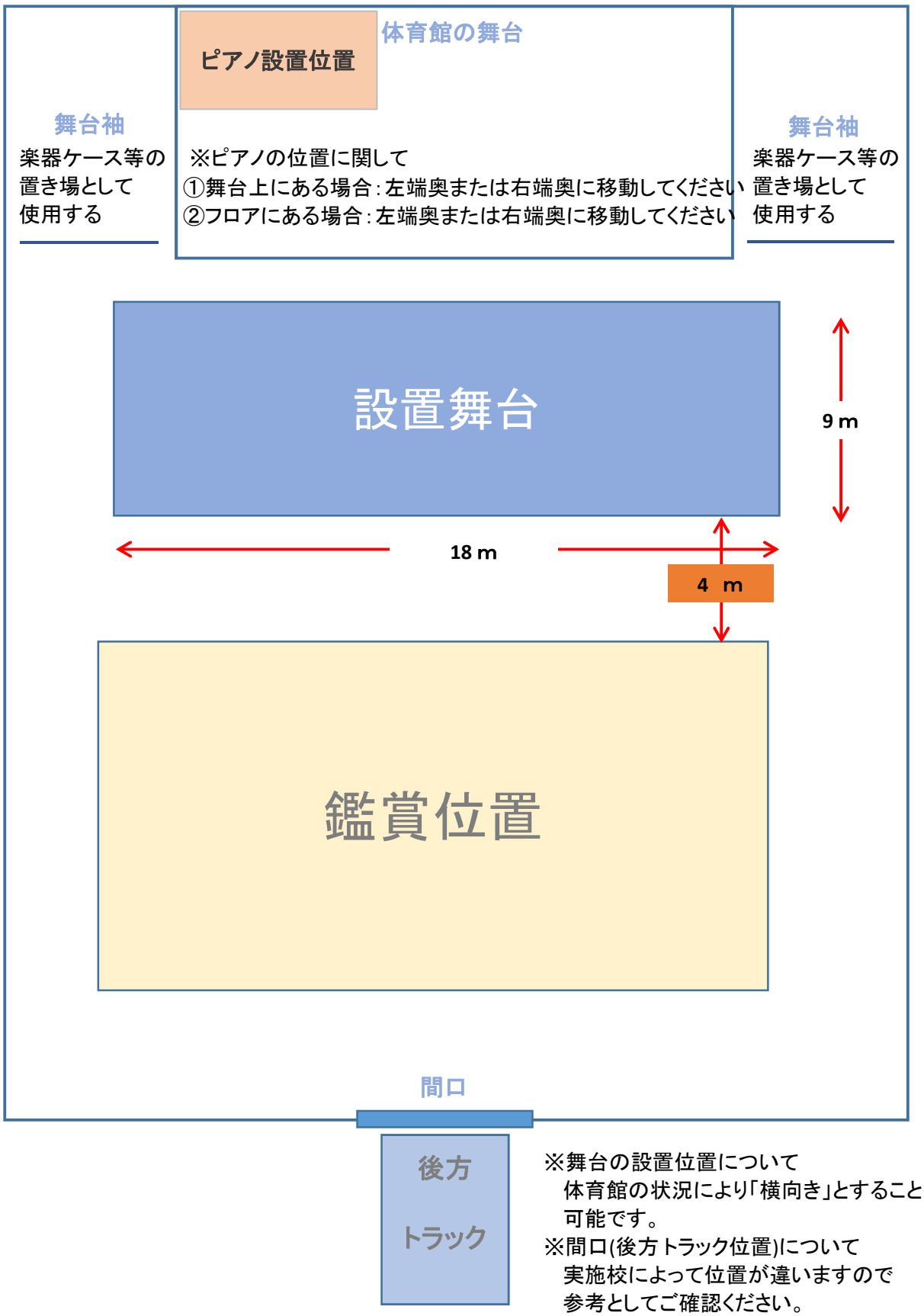
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A2	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	新日本フィルハーモニー交響楽団				制作団体名	公益財団法人　新日本フィルハーモニー交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	不可	必要数＊	5室	条件	・「指揮者、司会、ｺﾝｻｰﾄﾏｽﾀｰ、男性、女性」の5室。着替えのため全てｶｰﾃﾝ、目隠し必須。 ・加えて、スタッフ1室があると望ましい。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台		大型バス　2台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(長さ9m・高さ3,5m・幅2.5m)				
	不可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	不可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			不可				
	可	搬入経路の最低条件			・会場が1階にあること。 ・会場の搬入間口が2m以上あること。 ・学校周辺道路が大型車両の通行が可能であること。特に、学校敷地内にトラックが入る際の曲り口など、十分な広さがあること。 ・学校敷地内に大型バス2台の留置きが可能なこと。				
		理由			・雨天時の楽器搬入ができないため。				
	不可	設置階の制限＊			2階以上不可				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m		高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数			～400人程度まで				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊		なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		～400人程度まで					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	18m	奥行	9m	高さ	2m	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		袖に荷物等が無いこと				
	可		緞帳＊	要		バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	可		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		無し	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



※舞台の設置位置について
体育館の状況により「横向き」とすることも可能です。
※間口(後方 トラック位置)について
実施校によって位置が違いますので参考としてご確認ください。

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		不可		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

出演者プロフィール

指揮：中田 延亮（予定）

Nobuaki Nakata, *conductor*

筑波大学医学専門学群在学中に桐朋学園ソリスト・ディプロマコースに入学、コントラバスを専攻する一方で指揮を学び、在学中より活動を開始する。07年ブルガリアのスタラザゴラ歌劇場でヨーロッパデビュー後、ドナウ交響楽団主催の国際指揮者コンクールで第1位を受賞。ラトヴィア国立交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、群馬交響楽団、ブラショフ歌劇場（ルーマニア）などに客演。

司会：岩﨑 瑞穂

Mizuho Iwasaki, *narrator*

「しまじろうコンサート」の歌のお姉さんとして4年間、また、ズーラシアンブラスの「音楽の絵本」コンサートの司会として全国を巡り人気者に。大手企業や行政のイベントでは総合司会も務める。「音楽の絵本」やテレビヒーロー番組ではダンス振り付けも担当。各ダンススタジオや幼稚園にてダンスの先生としても活動を続けており、歌に踊りに司会に…と、マルチな活躍をみせている。

オーケストラ：新日本フィルハーモニー交響楽団

New Japan Philharmonic, *orchestra*

1972年指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。97年、墨田区に移転。同年オープンのすみだトリフォニーホールを本拠地とし定期演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も特徴的。久石譲と立ち上げた"新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ"で幅広い人気を集めているほか、映画『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』では管弦楽を担当。2016年9月より、指揮者・上岡敏之が音楽監督を務めている。

公式ウェブサイト https://www.njp.or.jp/
公式Twitter @newjapanphil
公式Facebook /newjapanphil/
公式Instagram /newjapanphil/

知ってますか？♫

～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和2年度

文化芸術による子供育成総合事業

― 巡回公演事業 ―

新日本フィルハーモニー交響楽団

オーケストラ公演

「文化芸術による子供育成総合事業　― 巡回公演事業 ―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

公演プログラム

① 映画

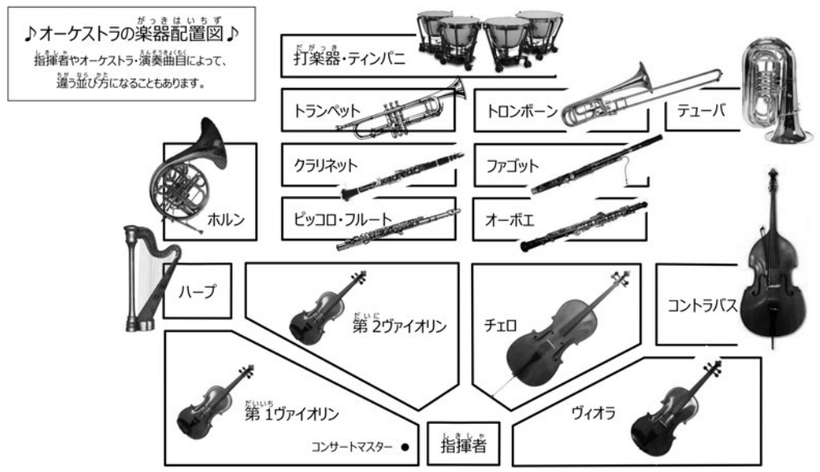
J.ウィリアムズ／映画『スター・ウォーズ』より「メイン・タイトル」

演奏会の幕開けは、華やかで迫力のある曲をお楽しみください！
映画『スター・ウォーズ』は、1977年の初公開から今でも続くシリーズで、沢山のファンがいます。
ちなみに、私たち「新日本フィル」が結成されたのはその5年前、1972年のことです！

② 楽器紹介

弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器

オーケストラの各セクションを取り上げて楽器紹介と演奏を行います。
それぞれの楽器に注目して、お気に入りを見つけましょう。



③ 独奏曲

マスネ／タイスの瞑想曲

オーケストラの色々な楽器を見た後は、ヴァイオリンを主役にした曲を聴いてみましょう。
今度はオーケストラは伴奏にまわり、主役のヴァイオリンの美しく儚いメロディーを支えます。

④ 交響曲

ベートーヴェン／交響曲第5番 ハ短調「運命」op.67 より第1楽章

前半の最後は、オーケストラの魅力たっぷり、大人数で壮大に奏でる「交響曲」をお届けします。
「運命」は4楽章（4つのパート）で構成され、全て演奏すると30分以上かかる曲です。

今回は、最も有名な最初の1楽章を演奏します！

— 休憩 —

⑤ 共演

児童・生徒とオーケストラの共演／ボディ・パーカッション

ボディ・パーカッションでオーケストラと共演してみましょう！
リズムを表現する、アンサンブルを合わせる、オーケストラの基本を楽しみながら体験します。

⑥ ジブリ

久石譲／『ハウルの動く城』より「人生のメリーゴーランド」

「新日本フィル」は幾つかのジブリ映画の録音に参加しています。
『ハウルの動く城』もその1つ。映画館や映像で耳にしたテーマ曲を生演奏で届けます。

⑦ 合唱

学校校歌（オーケストラの伴奏による共演）

日頃から親しんでいる校歌をオーケストラの伴奏で歌いましょう。
歌声も立派な楽器です！

⑧ 日本

外山雄三／管弦楽のためのラプソディ

日本の童歌や民謡を集めて作られたユニークな作品です。拍子木、締太鼓、チャンチキなど、
日本の打楽器のリズムに乗って「手まり唄」「ソーラン節」などが登場します。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，(音楽劇)
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(Ａ区分のみ)・Ａ区分とＢ区分の両方 ・ Ｃ区分

複数申請の有無（該当する方に○を付してください。）　あ り ・(な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに○を付してください。）
（1）公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
（2）公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
（3）提案したいずれか1企画のみ実施可能
（4）その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん にほんおぺらしんこうかい 公益財団法人　日本オペラ振興会		
代表者職・氏名	理事長　佐竹康峰		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 4-3-15 東京セントラル表参道 317 号 （地下鉄銀座線、半蔵門線、千代田線　表参道駅）		
電話番号	03-6721-0995	ＦＡＸ番号	03-6721-0997
ふりがな 公演団体名	ふじわらかげきだん 藤原歌劇団		
代表者職・氏名	総監督　折江忠道		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒215-0004 川崎市麻生区万福寺 1-16-6 （小田急線　新百合ヶ丘駅）		
制作団体設立年月	1934 年　6 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長　佐竹康峰 常務理事　折江忠道、郡愛子、 下八川共祐、大石修治 外理事 13 名、監事 2 名 評議員　19 名 事務局長　小澤慎吾 職員　18 名	○団体構成員（公演事業 2 部門） 藤原歌劇団（正団員 389 名、準団員 507 名） 日本オペラ協会（正会員 68 名、準会員 29 名）計 1,036 名 ○加入条件　公募ｵｰﾃﾞｨｼｮﾝ、歌手育成部修了生より推薦。	

事務体制の担当	専任 ・ (他の業務と兼任)	本事業担当者名	仁科岡彦／原田統
経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	福島久美子
制作団体沿革	公益財団法人日本オペラ振興会は、藤原歌劇団と日本オペラ協会の統合合併により、昭和 56 年文部大臣の設立許可を受け「藤原歌劇団」「日本オペラ協会」の名称は法人組織内の公演事業部門として存続させている。藤原歌劇団は、昭和 9 年 6 月に故藤原義江により、創立され、我が国初の本格的オペラ団体として今日まで公演活動を継続し、日本初演を含む 80 作を超えるオペラをこれまでに上演しており特にイタリアオペラを主軸とする公演路線は広く親しまれている。平成 27 年 4 月より折江忠道が第 4 代総監督に就任している。平成 24 年 4 月より公益財団法人日本オペラ振興会として認可された。 年間 3～4 本の本公演を実施しており、平成 30 年度は 4 月に「ラ・チェネレントラ」7 月「ドン・ジョヴァンニ」、平成 31 年 1 月に「ラ・トラヴィアータ」、H30 年度は文化芸術による子供の育成事業にて 18 校公演を上演する		
学校等における公演実績	平成 12 年～平成 23 年文化庁学校公演オペラ「カルメン」 129 公演 平成 24 年～平成 26 年文化庁学校公演オペラ「魔笛」 37 公演 平成 25 年 6 月 潤徳女子高校・中学校 藤原歌劇団合唱コンサート 平成 28 年 5 月 昭和女子大学鑑賞公演オペラ「椿姫」 平成 28 年 7 月 日本女子大学附属高等学校鑑賞教室「カルメン」ハイライト 等 平成 29 年 6 月 潤徳女子高校藤原歌劇団合唱コンサート 平成 30 年 11～12 月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 18 公演 令和元年 11～12 月 文化芸術による子供の育成事業 オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 13 公演（予定）		
特別支援学校における公演実績	平成 25 年 9 月栃木県立足利中高特別支援学校（文化庁次代を担う子供の舞台芸術体験事業） 平成 30 年 11 月千葉県立野田特別支援学校（文化芸術による子供の育成事業）		

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://youtu.be/2h4Kh6ec2d4
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

Ａ区分・Ｂ区分・Ｃ区分共通

No.2(実演芸術)

公 演 ・ ワークショップの内 容 **【公演団体名：日本オペラ振興会】**

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）・ 中 学 生
企画名	オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 全１幕 日本語上演
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	オペラ「助けて、助けて 宇宙人がやってきた！」 全１幕 日本語上演 作曲／台本：ジャン・カルロ・メノッティ 演 出：岩 田 達 宗　　美 術：島 次 郎　　衣 裳：増 田 恵 美　　照 明：稲 葉 直 人 振付：鷲田実土里　　音響：寺部和貴 公演時間（ １時間 30 分）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	○	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	オペラ「助けて、助けて、宇宙人がやってきた！」 作曲メノッティ 全１幕日本語上演 ～あらすじ～ 謎の宇宙人、グロボリンクスが地球へやって来た！ 子ども達は春休みが終わり、スクールバスで学校へ向かう途中、突然バスが故障し、止まってしまう。そこへ、グロボリンクが現れ、子ども達は大騒ぎ！運転手のトニーはバス警笛を鳴らしエイリアンを追っ払う。トニーは、グロボリンクスが“アコースティックの音楽”に弱いことを知り、子ども達に楽器を持っているか尋ねる。そんな中、一人だけヴァイオリンを持っていたエミリーは、「私がゆくわ！」と学校へ助けを求めに向かう・・・。一方学校では、子ども達が来ない、と校長のストーン先生は心配でたまらない。音楽のユタポーバ先生は、子ども達が春休みに楽器を持って帰らなかったと、ストーン先生に嘆いる。そこに、グロボリンクスが現れ校長先生が襲われてしまう。 先生達は楽器を鳴らし何とかグロボリンクスを撃退する。先生達はそれぞれ楽器を持ち、帰ってこない子どもたちを迎えに行く。 さて、子ども達は、先生達は、エミリーは、一体どうなってしまうのか？
演目選択理由	藤原歌劇団はアメリカの作曲家ジャン・カルロ・メノッティとの縁が深く 1974 年にはメノッティ自身を招へいし彼の演出により「領事」「電話」「霊媒」といった演目を藤原歌劇団本公演で上演し成果を挙げてきました。 「助けて、助けて宇宙人がやってきた」は 1985 年から 2 年間文化庁青少年芸術劇場公演に採択され地方 10 か所以上で上演し多くの学生、児童に鑑賞いただきました。この公演は粟國安彦演出によるホールでの大規模上演でした。 この学校公演は、藤原歌劇団が協力し、所属歌手も多数出演した、2017 年 11 月東京文化会館主催公演のプロダクションにより、平成 30 年度「文化芸術による子供の育成事業」において学校公演を行いました。この作品は、学校が舞台であり子供たちに臨場感のある題材であることから「文化芸術による子供の育成事業」に相応しい演目だと確信しております。

<table>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td colspan="3">このオペラは学校を舞台としており学校公演としてはまさに臨場感のあるストーリーです。

-児童、生徒の参加内容は-
・合唱①：学校の生徒役子ども達 10 人以内
・合唱②：全校生徒で校歌を歌って参加
・合唱③：学校の生徒役の子ども達 10 人以内

・ダンス①：宇宙人役（宇宙人襲来）8 人
・ダンス②：宇宙人役（宇宙人喜びの踊り）8 人
・ダンス③：宇宙人役（エミリーと友達になりたい宇宙人）8 人

ワークショップにて、指揮者、ピアニストによる歌の練習、振り付けによるダンスの練習や動きの練習、演出助手による演技の稽古を実施します。本番では、キャストと一緒に出演して頂きます。</td></tr>
<tr><td>出　演　者</td><td colspan="3">指揮:仲田淳也/中橋健太郎座衛門
エミリー:中畑有美子/山邊聖美
音楽の先生:佐藤美枝子/安達さおり
校長先生:折江忠道/持木弘
バスの運転手:岡昭宏/大石洋史
学校の門番:市川和彦/山内政幸
算数の先生:牧野真由美/松原広美
国語の先生:ヴィタリユシュマノフ/和下田大典
理科の先生:龍進一郎/岡山肇
アナウンサー:柴山秀明
生徒:安藤千尋/伊藤香織/加藤美帆/芝野遙香/中桐かなえ
グロボリンクス(ダンサー):鷲田実土里/上原彩弥/光延真鈴
ピアノ:1 名　ヴァイオリン:1 名　計 20 人</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　20 名
スタッフ:　17 名
合　　計:　37 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　4t
車 長　9m
台 数　2 台</td></tr>
</table>

【公演団体名：日本オペラ振興会】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安	前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(時間程度)

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
9 時	9 時～ 12 時	13：30 時～15 時	15 分	15 時～ 16 時	16 時

※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。
当日に 10:30～60 分程度ワークショップで練習した場面の最終リハーサルを希望。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	各シーン 10 名程度、劇中で歌う校歌は全校生徒でも参加可能
	本公演	各シーン 10 名程度、劇中で歌う校歌は全校生徒でも参加可能
ワークショップ実施形態及び内容	児童、生徒の参加内容は、①学校の生徒役の子ども達10 人～20 人②宇宙人グロボリンクス役 8 人程度の子ども達が出演します。 ①学校の生徒役の子ども達は先生達と一緒にスクールバスの子ども達を助けに行くところで参加しますが、先ず指揮者、ピアニストによる歌の練習、続いて演出助手による演技の立ち稽古を実施します。子供たちの歌や演技がグロボリンクスを退治できるという気持ちを込めて練習します。 ① 宇宙人グロボリンクス役は宇宙人登場シーンで演技をします。振り付けの先生に動きを付けてもらいながら、重要な演技を体得してゆきます。	
ワークショップ実施形態の意図	10 人～20 人の子ども達役は歌いながら演技をする、いわゆるオペラの体験を実際に体得できるよう繰り返し練習して覚えていただきます。 グロボリンクス役は宇宙人の特殊な衣裳を着てダンスをします。振付の先生から指導を受けます。躍動感のあるダンスを指導します。全体としては一つのオペラ作品を創り上げる過程を感ずることができるよう、楽しみながら歌や演技を体得できるよう指導します。	
特別支援学校での実施における工夫点	当団公演は特別支援学校での実績もあり、途中での体調不良の離席は可能。	
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。	

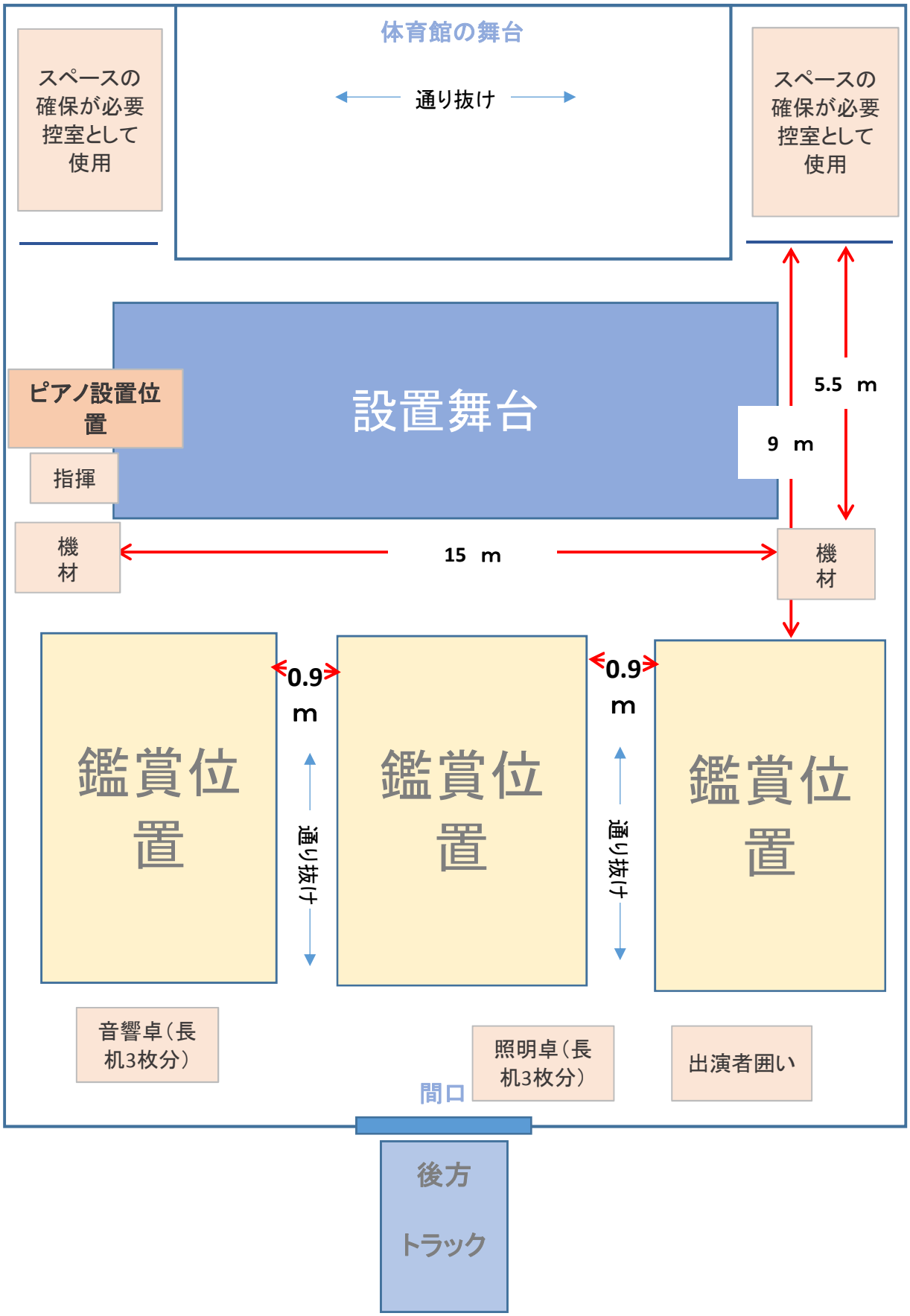
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A3	分野	音楽	種目	音楽劇	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	藤原歌劇団				制作団体名	公益財団法人　日本オペラ振興会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	4室	条件	出演者男性×1室、出演者女性×1室、スタッフ×1室、衣裳・メイク部屋×1室（学校にある洗濯機を使用希望）				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　2台	大型バス　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック2台（体育館周りに駐車または停車希望）				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 1階よりも上または下の階の場合、最低でもお手伝いが5名上搬出入で必要				
		理由			大道具の搬入及び、搬出があるため				
	―	設置階の制限＊			1階を希望				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	0.75M	高さ	1.8M			
WSについて	可	参加可能人数		舞台に出演する生徒の34名（それ以上の人数の場合は要相談）					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		90～120分（参加生徒が少ない場合は調整可能）					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		会場設営：2時間程度／メインプログラム：1時間40分					
	可	鑑賞可能人数		800名まで可能					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方と、キャラリーに照明機材					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	15M	奥行	9M	高さ	フロアに設置するため指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態					
	可		緞帳＊	要	バトン＊	要（緞帳がない場合）			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	照明機材を使用するため			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	可		ピアノの事前調律＊	要（難しい場合、またはピアノをフロアに下ろせない場合はに電子ピアノを持込み使用）					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		75A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	不可	出演者の舞台上の隠れ場所作成のためホワイトボードまたは卓球台等を使用します。							
	不可	体育館でないホール公演の場合は前日仕込が必要となります。							
	不可	午前中から仕込を行うため13：00以降の開催となります。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	0.75m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

藤原歌劇団は、オペラ歌手の藤原義江を中心とする日本の代表的な歌手たちとスタッフによって、1934年(昭和9年)に誕生しました。

誕生以来、今日まで、日本初演を含む80作品を超えるオペラをこれまでに上演し、特にイタリア・オペラを中心に公演しています。

藤原義江は人気テノールとして主役で活躍するかたわら、初代総監督(プロデューサー)として日本のオペラ界の先駆者として偉大な功績を残しました。

1985年より三代目総監督にテノール歌手の五十嵐喜芳が総監督に就任し、名作を中心にオペラの普及を目指し、外国の歌手、指揮者、演出家をはじめとするスタッフを起用し、国際レベルの舞台を上演してきました。

また、1986年には日本で初めて字幕を導入し成功を収め、日本オペラ界の向上・発展に力を注ぎました。

五十嵐喜芳総監督が新国立劇場オペラ芸術監督に就任に伴い退任した後も、名作路線を継承し、2003年よりバス歌手の岡山廣幸が公演監督(2014年に総監督)に就任し、意欲的にロッシーニ作曲のオペラ「セビリャの理髪師(新校訂版)」など上演しました。現在は、2016年4月よりバリトン歌手の折江忠道が総監督に就任しています。

近年では世界で活躍している歌手のマリエッラ・デヴィーアやアントニーノ・シラグーザを招聘し世界レベルのオペラを上演しています。

今年はプッチーニ作曲「蝶々夫人」、ドニゼッティ作曲「愛の妙薬」、ロッシーニ作曲「ランスへの旅」を上演し好評を博しました。

2020年にはヴェルディ作曲「リゴレット」、ビゼー作曲「カルメン」等を上演する予定です。

オペラはいつごろ生まれたか

1580年代に、イタリア・フィレンツェの貴族で芸術の保護に大変熱心なバルディ伯爵は、自分の館に詩人・画家・音楽家・哲学者等を招いて、ギリシャ悲劇を復活させようと話し合っていました。このような芸術運動の中でオペラは創られました。

1598年、リヌッチーニ台本、ペーリ作曲の「ダフネ」を上演。これが記録にのこる最古のオペラとされています。その後、1600年10月6日、メディチ家のお祝いに「エウリディーチェ」(ペーリとカッチーニの共作)が上演されました。これが現存する最古のオペラです。このオペラが上演された1600年は、日本では関が原の戦いがあった年です。イタリアで生まれたオペラはその後ドイツやフランスでも広がり、モーツァルトやベートーヴェンなど有名な作曲家が作曲するようになりました。オーケストラやバレエも取り入れられ、総合芸術として発展しました。

日本人による、我が国最初の本格的なオペラ公演は1903年7月23日、東京音楽学校奏楽堂で上演されたグルックの「オルフェオとエウリディーチェ」です。

●公演日程●

実施月日	実施校名	地元主催者
11月18日（月）	さいたま市立川通小学校	さいたま市教育委員会
11月19日（火）	幸手市立幸手小学校	埼玉県教育委員会
11月20日（水）	加須市立北川辺西小学校	埼玉県教育委員会
11月21日（木）	太田市立宝泉小学校	群馬県・群馬県教育委員会
11月25日（月）	古殿町立古殿小学校	福島県・古殿教育委員会
11月26日（火）	須賀川市立長沼東小学校	福島県・須賀川市
11月27日（水）	鏡石町立第一小学校	福島県・鏡石町教育委員会
11月28日（木）	福島市立蓬莱中学校	福島県・福島市
11月29日（金）	福島市立南向台小学校	福島県・福島市
12月 2日（月）	桶川市立朝日小学校	埼玉県教育委員会、桶川市教育委員会
12月 3日（火）	前橋市立総社小学校	群馬県・群馬県教育委員会
12月 4日（水）	前橋市立中川小学校	群馬県・群馬県教育委員会
12月 5日（木）	前橋市立山王小学校	群馬県・群馬県教育委員会

知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和元年度

文化芸術による子供育成総合事業

― 巡回公演事業 ―

藤原歌劇団公演

「文化芸術による子供育成総合事業― 巡回公演事業 ―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

藤原歌劇団公演

助けて、助けて、宇宙人がやって来た！

オペラ1幕　日本語訳詞上演
ジャン・カルロ・メノッティ作曲
歌詞原訳　粟國 安彦

物語

春休みが終わり、スクールバスに乗って子供たちが学校に向かっている途中、バスが故障して止まってしまう。
そこへ突然、光るエイリアンがあらわれ襲いかかってきた!!
バスの運転手のトニーがクラクションを鳴らすとエイリアンは逃げていく!
トニーはラジオを付ける。エイリアンはアコースティックの音楽が弱点と最後のニュースが流れる。

子供たちの中で唯一ヴァイオリンを持っているエミリーは、助けを求め学校に向かう。
その頃、学校では子供たちの到着を待っている校長先生がエイリアンに襲われてしまうが、先生たちが楽器を鳴らしエイリアンを撃退する。しかし校長先生は声が出なくなってしまう。

先生たちはそれぞれ楽器を持ち、帰ってこない子供たちを迎えに行く。
先生たちはバスに取り残された子供たちとトニーを見つけるが、そこにエミリーがいないことに気づく。
校長先生はだんだんエイリアンになりかけるものの、人間として最後の力をふりしぼってエミリーを探しに飛び出していく、先生たちと子供たちも校長先生を追いかける。
はたしてエミリーを見つけることが出来るのか!!

スタッフ・キャスト

指揮／仲田 淳也　中橋健太郎左衛門
演出／岩田 達宗

≪キャスト≫

エミリー	中畑 有美子	山邊 聖美
音楽の先生	佐藤 美枝子	安達 さおり
校長先生	折江 忠道	持木 弘
バスの運転手	岡 昭宏	大石 洋史
学校の門番	市川 和彦	山内 政幸
算数の先生	牧野 真由美	諸田 広美
国語の先生	ヴィタリ・ユシュマノフ	和下田 大典
理科の先生	龍 進一郎	岡山 肇
アナウンサー	柴山 秀明	
生徒	安藤 千尋　伊藤 香織　加藤 美帆	
	芝野 遙香　中桐 かなえ	
グロボリンクス	鷲田 実土里	
	上原 彩弥　光延 真鈴	
演奏		
ピアノ	髙橋 裕子　藤原 藍子	
ヴァイオリン	真柴 ゆり杏　加藤 由佳	

≪スタッフ≫

総監督	折江 忠道
美術デザイナー	島 二郎
衣裳デザイナー	増田 恵美
照明デザイナー	稲葉 直人
音響デザイナー	青木 央　寺部 和貴
振付	鷲田 実土里
舞台監督	田中 義浩
演出助手	橋詰 陽子
舞台監督助手	渡邊 真二郎　永田 順子　村田 健輔
音楽スタッフ	今野 菊子
小道具	ザ・スタッフ
大道具	東宝舞台
衣裳操作	モマ・ワークショップ
照明操作	A.S.G
ヘア・メイク	丸善
運送	株式会社アシストジャパン
協力	東京文化会館(公益財団法人 東京都歴史文化財団)
制作	公益財団法人日本オペラ振興会

オペラは こうして創られる。

企画（出演者・スタッフ交渉）— 2年前
スタッフ会議 — 6ヶ月前
音楽稽古 — 12週間前
立ち稽古 — 6週間前
通し稽古・オーケストラ練習・オーケストラ合わせ — 2週間前
舞台仕込み・舞台稽古（ゲネプロ） — 5日前
本番 — 当日

企画（出演者・スタッフ交渉）

オペラの上演企画は、まず〈演目を決める〉ことから始められます。主催団体に適した作品で、なおかつ観客の要望に見合ったものかどうか考え合わせた上で選曲されます。また同時に約1～2年後の公演日を設定し、会場も決められます。

スタッフ会議

スタッフのかなめとなる指揮者と演出家が決まったところでキャスティングが行われます。指揮者のもとに合唱指揮者、副指揮者、ピアニストが音楽スタッフとして、演出家のもとに舞台監督、美術、衣裳、照明の各プランナーが演出スタッフとしてそれぞれ構成されていきます。これらのスタッフに制作者も加わり、スタッフ会議が行われ、ここで上演意図、演出プラン、作曲の解釈などについて綿密な打ち合わせがなされるのです。

音楽稽古

さて、いよいよ稽古の始まりです。出演者たち（ソリスト及び合唱）は各自十分な譜読みをした上で音楽稽古に入ります。ここでは楽譜を正確に歌うことに主眼がおかれ、音楽稽古の総まとめとして、ソリストと合唱による合同稽古が行われます。一方、舞台装置、衣裳などのデザインもこの頃決定され、各製作会社に発注されます。

立ち稽古

出演者が暗譜した頃、歌に演技をまじえての本格的な立ち稽古が行われます。演出家のほかに指揮者も加わり、劇と音楽が一体化されていきます。出演者は立ち稽古のあい間をぬって、衣裳合わせ、かつら合わせ、持ち道具の確認を行い、少しずつ本番の雰囲気に近づけていきます。

通し稽古・オーケストラ練習・オーケストラ合わせ

立ち稽古の総仕上げとして行われるのが、通し稽古です。これは、部分的な稽古で掘り下げたことを一つの線にまとめていく上で欠かせないもので、一幕から終幕まで順を追って進められていきます。通し稽古も終わろうとする頃、オーケストラ合わせが行われます。

舞台仕込み・舞台稽古（ゲネプロ）

舞台稽古にそなえて、舞台装置が組み立てられ、照明が吊り込まれ、照明合わせが行われます。ここまででほぼ本番と同じ条件が整うと、いよいよ総合舞台稽古となります。通常“ゲネプロ”と呼ばれ、本番通り一幕から終幕まで通して行われるもので、ここで作品にいっそう磨きがかけられ、いよいよ初日の幕が開くことになるのです。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	(児童劇)，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あ り ・(な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんあとむ 有限会社 劇団あとむ		
代表者職・氏名	代表取締役 秋山京子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒161-0032 東京都新宿区中落合 4-23-22-A102 (西武新宿線 中井駅)		
電話番号	03－5983－8228	ＦＡＸ番号	03－5983－8229
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんあとむ 有限会社 劇団あとむ		
代表者職・氏名	代表取締役 秋山京子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒161-0032 東京都新宿区中落合 4-23-22-A102 (西武新宿線 中井駅)		
制作団体設立年月	1984年 1 月		
制作団体組織	役職員 代表取締役　秋山京子 取締役 楠定憲・小嶋京子・大場寿子	団体構成員及び加入条件等 ◎ 構成員 劇団員 20名（公演班15名 演出部2名 制作2名 総務 1名)◎ 加入条件 研究生を経る	
事務体制の担当	専任 ・ (他の業務と兼任)	本事業担当者名	**秋山京子**
経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	**秋山京子**

制作団体沿革	１９８４年１月、演出家関矢幸雄氏を創造リーダーに、クニ河内氏を音楽監督に迎え発足。『想像力の涵養こそ、生きる力に繋がる』という信念のもとに、ジャンルにとらわれず自由な発想を以て、舞台劇であり、音楽劇であり、人形も使うという、作品づくりをしています。 全ての作品は、「厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財」・推薦・特別推薦です。
学校等における公演実績	◎『あとむの時間はアンデルセン』 小学校 393 校 ◎デンマーク公演６都市１７ステージ ◎『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』小学校 437 校 児童館 218 館 ◎『気のいいイワンと不思議な小馬』 小学校 301 校 ◎『あとむのお話コンサート』小学校 95 校 ◎新作『走れメロス』小学校　25 校
特別支援学校における公演実績	養護学校・特別支援学校 『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』35校 特別支援学校は各校、人数(50 人～300 人)・学年(小学生～高校生)・障害の違いは、全員車椅子・盲・聾の障害が多い・知能障害、等々非常に多様です。 たいていの学校は先生方や付き添いの方々が多人数で見守っていられます。 各学校の違いによって、先生方とよく相談して、ワークショップも本公演も客席も工夫します。先生の希望により、台本を送り、手話通訳の方を付けることも何度もありましたが、たいていの場合、本番中にまもなく通訳を止めておられました。 通訳を見ず、舞台の表現＝「展開・手話等を含めたうごき」を観て、子ども達が解っている、楽しんでいると、先生方が実際に認識して下さいますです。 支援学校のこどもたちは特に、みんな音楽が好きで、ハーモニーが好きです。 ハーモニーは音楽だけでなく、おしばいは全部ハーモニーですから、音楽いっぱいで語り紡ぐお芝居は、気に入ってくれていると、はっきり確信しています。 一切電気音(マイク・電子楽器)を使わない生の音・音楽も大きな評価を得ています。

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有)　・　無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有)　・　無
		※公開資料有の場合 URL	**DVDを提出いたします。**
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有　・　無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　有限会社　劇団あとむ 】**

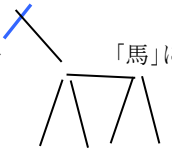
対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中 学 生
企画名	あとむの素劇ミュージカル SUGEKI
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	『あとむの時間はアンデルセン～遊びバージョン～』 原作　　H. C. アンデルセン 脚本　　秋山英昭・関矢幸雄 構成・演出　関矢幸雄 音楽　　クニ河内 美術　　有賀二郎　　公演時間（ 70 分）

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演 目 概 要	**☆ 構成・あらすじ 《 音楽劇 》9人の妖精がお話を運ぶ** **① 劇『パンをふんだ女の子』** 靴を汚さないよう、ぬかるみにパンを置いて渡ろうとした女の子インゲル。 沼の底に沈み、地獄まで堕ちます。インゲルを救えるのは、誰なのか‥？ **② 子どもたち参加『 アニメイムで遊ぼう 』** まず、アニメイムのユニークなパフォーマンス、遊び、子どもたちが参加します。 **③ 劇『父さんのすることはみんなよし』** 要らない馬を、何かいいものと取り換えようと、父さんは市場に出かけます。 いろいろなものに取り替えていき、ついには腐ったリンゴになっちゃった。 さあ、家で待つ母さんはどうするか。ほんとうの値打ちとは？
演目選択理由	**アンデルセンの、弱者に焦点をあわせた人生観、価値観が、童話を通し、楽しく、優しく子どもの心に届くように、ユニークで斬新な表現、工夫を重ねた作品です。** **＜アニメイム＞**棒とボールと輪っかを使い、複数の人数で、空中に、瞬時に動物や風景を描く手法。人が息を合わせて、ひとつの「もの」を創り、命を吹き込む、関矢幸雄演出オリジナルの想像遊びを盛り込みました。 **＜アカペラコーラス＞** ３声～５声のハーモニーで、台詞、歌、擬音、すべて生の声で、演じます。音楽は多様であること、人間の身体能力の可能性は無限であることを、伝え、感じてもらいます。 **＜手話＞** 手話は、記号ではなく、意味を伝える美しい動きとして、より力強く語りかけます。効果的であり、魅力的な表現のひとつであることを伝えます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	【アニメイム】で遊ぶ　共演は演目概要 ② の「遊び」の部分で、舞台に出て貰い、即興の呼吸を体験。自由な発想のきっかけを呼び起こします。 劇団員とともに、棒とわっかとボールで、動物や、物の形をつくってみます。 海の波動や、ものの連動など、大勢で伝えていき、息を合わせて動かします。
出　　演　　者	織田晴光　林　大介　原田邦治　野口 徹　楠 定憲 三浦美穂子 京本幸子 高橋由布子 黒木幸枝 藤石夏菜

公演出演予定者数（1公演あたり）	出 演 者:　10　名 スタッフ:兼務 合　　計:　10　名	機 材 等 運搬方法	積載量　２　t 車 長　５　m 台 数　１　台

【公演団体名　有限会社　劇団あとむ　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td colspan="2">※午前開演の場合　目安は、午前 10 時 30 分からの概ね2時限内で可能です。
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み/リハーサル</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去/積込</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>7:30</td><td>7:30～10:30</td><td>10:50～12:00</td><td>無し</td><td>13:00～14:30</td><td>15:00</td></tr>
</table>
※午後開演も可能です。時間の目安は、午後の2時限内で可能です。
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み/リハーサル</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去/積込</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>9:00</td><td>9:00～12:00</td><td>13:00～</td><td>無し</td><td>15:以降～</td><td>17 時</td></tr>
</table>
※　前日仕込み(　有　・　(無)　) 会場設営の所要時間(　3　時間程度　)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児　童　・生　徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>1 回の人数は、全員が実地に触り、動くには理想は３０人～５０人例・1 時限ずつ、2 回（５０人×２回＝１００人）の実施が可能です。</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>15 人程度。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実　施　形　態及　び　内　容</td><td colspan="2">○《アニメイム》 棒、ボール、輪をつかった造形を手遊びから、表現へ繋げます。
つくりかたの発想を児童、先生方に、提案・指導します。
○ 音楽も、動きから自然に生まれるリズムや、曲想を楽しむ、解放された音楽にふれる機会にします。
○ 体験する児童だけでなく、体育・総合教育の時間にも相応しい内容です。
○　全校生徒多数の場合は、学校の舞台に一部生徒を選出参加の形で可能です。
☆90㎝の棒　6本　＋45㎝の棒1本で　⇒
 
「馬」になります。3人～4人で持って繋ぎ、動かし歩かせたり、乗ってみたりします。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td colspan="2">【ひとつのものを複数の人でつくる時、相手へのおもいやりこそが必要だ】を、伝えます。
【想像する楽しさ⇒かたちにする面白さ】を伝えます。
【身近にあるもので遊べる・考える・工夫する】ことを面白いと感じるようにしたいです。
【大勢で遊ぶ・なにかをする】を、楽しいと感じてもらいます。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2">◎　特別支援学校では、生徒の体力など可能な参加状況を把握し、相談の上、
多様なプログラムから自在に撰び、組むことが可能です。
客席も各校独自にプランをたて設置します。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

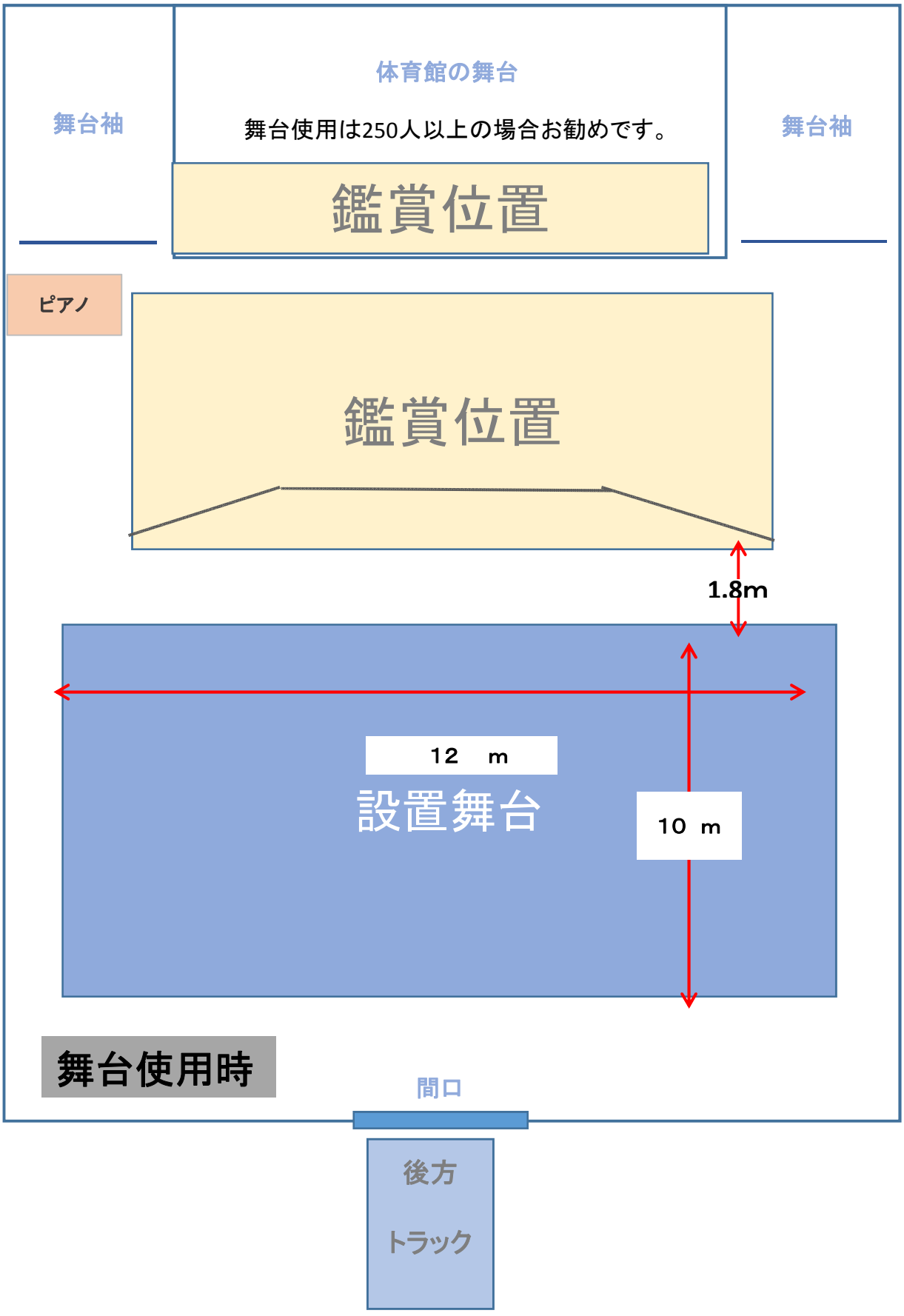
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A4	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	有限会社　劇団あとむ				制作団体名	有限会社　劇団あとむ			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	体育館に近い部屋を希望しますが、「無し」も含め、いかなる対応も可能です。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	バン　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2トントラック　長さ5m幅2m高さ3m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要　但し対応可能です				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			雨天時、屋根のある経路が望ましいです。				
	／	理由			道具の水濡れ防止のため。				
	可	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8メートル	高さ	1.8メートル			
WSについて	可	参加可能人数			児童全員が実地に触れ、動くためには、理想は1回約30人（2回で60人）。但し状況により、いかようにも対応出来ます。				
	可	学年の指定の有無＊			なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分			1回1校時×2回　又は1回に2校時（休憩10分）				
本公演について	／	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			フロアに続く学校ステージも客席に設置可能の場合、500名				
	可	舞台設置場所＊			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	12メートル	奥行	10メートル	高さ	指定なし	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		不要				
	―		舞台袖スペースの条件＊		不要				
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	舞台照明の効果の為。完全遮光でなくとも可です。			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		100A	60Aでも可能です※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



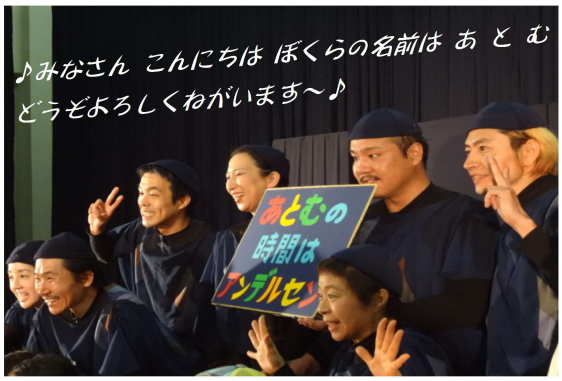
搬入間口について	幅	1.8ﾒｰﾄﾙ	高さ	1.8ﾒｰﾄﾙ
搬入車両の横づけの要否		要　希望しますが、対処可能です。		
横づけができない場合の搬入可能距離				

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

あとむの時間は 遊びバージョン アンデルセン

本番の日の体育館・あとむの舞台と客席の様子

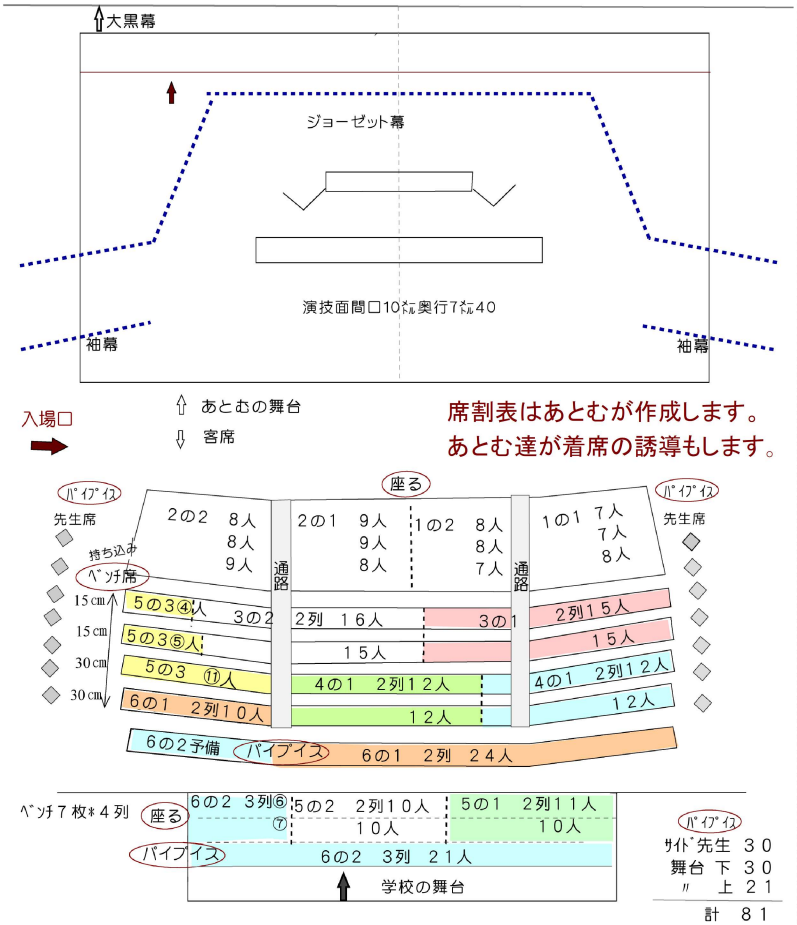
開演間近の風景です。入場した子どもたちは、まずびっくり！
歓声があがります。体育館間口いっぱいのあとむの舞台です。



あとむの時間は 遊びバージョン アンデルセン

体育館見取り図. 席割表

主催　○市立Ｔ小学校
期日令和元年　月　日　開演１０時５０分
遊Version　開場１０時４０分



※入場は各クラス身長順1列でお入り下さい。
※当日客席は微調整の場合があります。

『学校のステージも観客席に』

←外側四角の輪郭を体育館全体と見て下さい。
客席は学校の舞台も使い、スロープ状に作ります。
この席割図は約250名・6段階のスロープ。
☆上演時間は70分、休憩無し。10名編成。
仕込時間は（1F）約3時間。撤収は1時間

『学校のステージも観客席に』

ベンチ・照明器財は持ち込みです。

笑顔、笑顔、 ***《thank you！》***

劇団あとむ SINCE 1984
〒161-0032　東京都新宿区中落合4-23-22-A102
TEL 03-5983-8228　FAX 03-5983-8229
URL http://www.atomw.co.jp E-Mail atomw@pop12.odn.ne.jp

音楽劇 あとの時間は 遊びバージョン アンデルセン

子どもにも大人にも、楽しい時、悲しい時、さびしい時があるものです。そんな人々のお話を、アンデルセンはたくさん童話や物語にかきました。「色んなことがあるけど、人々が元気で生きていけるように」と。
歌もいっぱい、アニメイムもいっぱいの楽しいお芝居を、みなさんへおくります。

”アニメイム”ってなに？

”アニメイム”というのは演出家関矢幸雄氏の考案によるもので「アニメーション」と「パントマイム」からの造語です。身近にある棒とボールと輪という単純なものをつかって、みんなのみている前で空間に風景や動物の絵を描いていきます。
さあ、動物たちも、風景も、動き出しますよ！

we are atomic wonder's

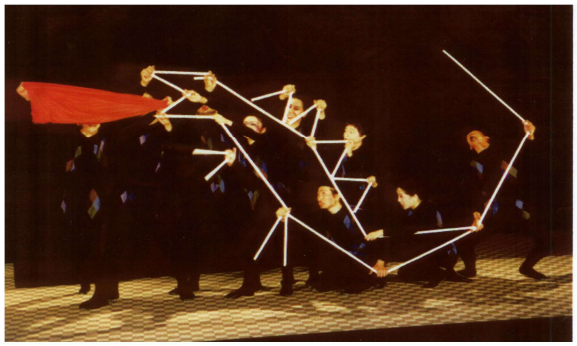
ものがたりは？

はじめのお話は◆『パンをふんだ女の子』

綺麗だけれど生意気でわがままなインゲル。
靴を汚したくないためにぬかるみにパンを置き、ふんで渡ろうとしたのですが、沼の底に沈み、果ては地獄まで堕ちていく。インゲルを救ったのは、誰･･･？

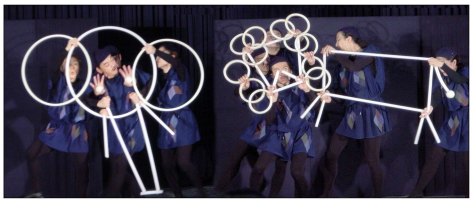
つづいて ◆『アニメイムで遊ぼう！』

さあ、アニメイムで遊ぼう！
“輪くぐり” “ネズミレース”の参加ゲーム、元気な子出ておいで！



棒とボールと輪っかで、
空中にアニメイム！
動物たちのオンパレードだ。

棒とボールと輪で遊ぶアニメイム！



さあ、
何の絵ができるかな？
カメとウサギ、ダチョウ、
キリン、カニ、ゾウ、
ライオン、
そしてみんなの好きな怪獣が、
舞台せましと走り回る！

おしまいのお話は
家でいらなくなった馬を、なにかいいものととりかえようと、出かけたとうさん。途中、色々なものにとりかえていき、最後はくさったリンゴに･･･？
さあ、家で待つ母さんはどうするか！

劇団 あとま 〒161-0032 東京都新宿区中落合4-23-22-A102 TEL 03-5983-8228 FAX 03-5983-8229
URL http://www.atomw.co.jp E-Mail atomw@pop12.odn.ne.jp

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	(児童劇)，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あり・(なし)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんつのぶえ 有限会社 劇団角笛		
代表者職・氏名	代表取締役　白石武士		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒176−0014　東京都練馬区豊玉南2−22−6 西武新宿線　野方駅 ・ バス停は中野北郵便局前		
電話番号	03−3994−7624	ＦＡＸ番号	03−3994−7635
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんつのぶえ 有限会社 劇団角笛		
代表者職・氏名	代表取締役　白石武士		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒176−0014　東京都練馬区豊玉南2−22−6 西武新宿線　野方駅 ・ バス停は中野北郵便局前		
制作団体設立年月	1963年　8月		
制作団体組織	役職員 代表取締役　白石武士 取締役　白石昭子 取締役　白石奈美	団体構成員及び加入条件等 舞台部　10名 制作部　1名 作画家　1名 加入条件　劇団の入団試験に合格したもの	
事務体制の担当	(専任)・他の業務と兼任	本事業担当者名	白石　武士
経理処理等の監査担当の有無	(有)・無	経理責任者名	白石　奈美

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1963 年 8 月影絵人形劇専門劇団として設立。
1968 年『ないた赤おに』東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞
1976 年『りゅうとびわ』東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞・厚生省中央児童福祉審議会特別推薦受賞
1978 年『こぶたのマーチ』厚生省中央児童福祉審議会特別推薦受賞
1982 年フランス 16 都市 48 回公演（民主音楽協会の派遣事業）
1983 年『伝兵衛と鹿』東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞・厚生省中央児童福祉審議会特別推薦受賞
1985 年フランス 15 都市 45 回公演（民主音楽協会の派遣事業）
1992 年『ごんぎつね』東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞・厚生省中央児童福祉審議会特別推薦受賞
1995 年『やしいライオン』東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞
1993 年香港 2 日間 5 回公演（角笛を観る会実行委員会主催事業）
1995 年インドシナ公演 5 カ国 7 都市 25 回公演（ﾍﾞﾄﾅﾑ、ﾀｲ、ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ、ﾗｵｽ、ﾐｬﾝﾏｰ・国際交流基金主催事業）
1997 年『花さき山』厚生省中央児童福祉審議会推薦受賞
2002年中近東公演2カ国3都市10回公演（アラブ首長国連邦、バーレーン国・国際交流基金派遣事業）
2001 年韓国ソウル市内 12 日間 27 回公演。（LG アートセンター招聘）
2012 年アメリカ 3 都市 15 回公演（桜寄贈 100 周年記念事業）
2016 年シンガポール 2 日間 5 回公演（国交 50 周年事業）
2019 年創立以来 56 年間、民話や童話、童謡を影絵人形劇の手法により紹介し、受賞作品他多数。
全国各地の文化施設等において、子ども達に夢を届け、上演日数は 9200 日超。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">1963年創立当初から1974年頃までは学校公演を中心に活動しておりましたが、近年は学校公演はほとんど行っておりません。近隣の豊玉南小学校（練馬区）では、校舎改築前の2009年まで、年 1 回試演会を行っていました。改築により搬入車両が入れなくなり、以降は行っておりません。
2012年東海市立横須賀中学校文化祭では、英語版『かぐや姫』を上演しました。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">特別支援学校での公演実績はありません。
養護学校、聾学校（日本児童演劇協会の依頼公演）での公演実績はあります。
1989 年八王子東養護学校（東京）
1995 年上尾養護学校（埼玉）
1998 年あけぼの養護学校（山梨）
2000 年栃木県聾学校、群馬県立聾学校、松本聾学校（長野）
2001 年長野県立諏訪養護学校、こまどり養護学校（富山）
2002 年茨城県立水戸聾学校、茨城県立霞ヶ浦聾学校
※劇団主催の高島市民会館公演、かつしかシンフォニーヒルズ公演では、毎年特別支援学校の児童が団体観劇として参加されています。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有・無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名 (有)劇団角笛 】**

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中 学 生					
企画名	角笛シルエット劇場「花さき山」					
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	「花さき山」 原作／斎藤隆介 脚色／山上路夫 音楽／渡辺岳夫 演出／角笛文芸部 「影とあそぼう」演出・構成／角笛文芸部 「つのぶえのうた」演出・構成／角笛文芸部 三部構成 公演時間(80～100 分)※休憩、舞台裏見学時間含む					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	角笛シルエット劇場は、劇団独自の技法を駆使した影絵人形劇です。大きなリアスクリーンを使用した色鮮やかなシルエットが特徴です。三部構成(物語、影絵解説、うたと影絵のファンタジー)でお届けします。 「花さき山」は心の優しい女の子あやが、花さき山で出会ったおばばに聞いた不思議なお話です。道徳教材として取り上げられている児童文学を美しくわかりやすく人形劇として表現しています。＜約 20 分＞ 影絵解説の「影とあそぼう」では、光の三原色やしくみなどを解説し、影絵クイズや簡単にできる手影絵も紹介します。＜約 30～40 分＞ 「つのぶえのうた」は多彩な技術を組み合わせた変化に富んだ影絵と、軽快なリズムや音楽を融合させた、うたと影絵のファンタジーです。＜約 10 分＞ 公演終了時に、舞台裏を見学します。＜約 10～20 分＞ ※途中休憩 10 分あり					
演目選択理由	「花さき山」には、影絵の芸術的な視覚的美しさだけでなく、登場人物の純真無垢なやさしい心情が描かれています。子どもたちはどのような行為が良いことなのか、身のまわりに関心をむけ、自ら考える力、思いやりや優しい心を育むことが期待できる作品です。 「影とあそぼう」は、影、或は自然事象への関心を促します。影は見る者に想像を掻き立て、発想力が広がります。仕組みを知ることで、表現力や鑑賞力も養えます。 「つのぶえのうた」では、影の不思議な変化を楽しむと共に、軽快な音楽に触れ、体を動かし、声を合わせる喜びを会場全体で共有することができます。					
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	ワークショップの際に児童が作った影絵人形や道具等を、本公演で登場させます。学校(会場)の規模や児童の状況に応じて、劇団スタッフが操作する場合もあれば、制作者自身が操作する場合もあります。 公演終了時、舞台裏見学に参加します。大掛かりな機材、演目に登場した影絵人形や大道具、又その配置、床に置かれたフォーメーションマット等、児童は観客席から舞台裏まで、360 度の視点で見ることができます。					
出 演 者	＜舞台監督兼照明＞ 宮澤知広 ＜大道具兼音響＞ 藤井昭夫 ＜大道具兼人形操作＞下井理裕、長谷川健斗 ＜照明兼人形操作＞ 磯野航、磯貝愛愛花 ＜人形操作＞竹田みゆき、白井花織、鈴木緑風 ＜司会兼人形操作＞田村未知					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 10 名 ス タ ッ フ: 1名 合 計: 11 名		機 材 等 運搬方法	積載量 4 t 車 長 6.93m 台 数 1台		

【公演団体名 (有)劇団角笛 】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(3 時間程度)
<table>
<tr><td>到着
8:00</td><td>仕込み
8:00～11:00</td><td>本公演
1:30～14:50</td><td>内休憩
10</td><td>撤去
15:00～16:30</td><td>退出
17:00</td></tr>
<tr><td>時</td><td>時～ 時</td><td>時～ 時</td><td>分</td><td>時～ 時</td><td>時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>約 40 人</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>500 人程度</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">児童は簡単な説明を受けた後、グループに分かれて、影絵人形や道具等を作ります。
影ができる三要素の説明を聞き、実際に照明で映して確認します。照明を扱う上での注意点も学びます。人形制作では、テーマにそった影絵人形(又は道具)を自由に作ります。
制作後は作った人形や道具を、スクリーンに映してみます。動かしたり、大きさを変えたり、変化に気づきながら、表現の工夫を考えます。最後に、感想や質問を発表します。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td colspan="2">光(光源)と影の関係を知ることは影や身のまわりの自然事象を意識することに繋がります。また、影絵という手法の中で、テーマにそった人形を自由につくることで発想力や個性を発揮できます。可動人形を作る際には工作の技術だけではなく、理科的な感覚も必要であり、ストーリーを考える際には表現や国語的な要素も不可欠です。このワークショップは工作の楽しさや表現する喜びを体験し、舞台芸術としての総合的な広い視点を感じ、豊かな感性を育むことを意図しています。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2">事前に実施校と情報を共有することにより、公演に際して必要となる配慮や支援を確認し、劇団としてできる限りの対応をします。具体的には、前もって暗くなることをアナウンスし、心の準備を促したり、客席の明度を保ったり工夫します。音に対して敏感な児童に対しては、どの演目や場面で大きな音がでるという情報を先生にお知らせし、必要であればイヤーマフを装着してもらうなど連携をはかります。手影絵に参加できる児童とそうでない児童がいる場合には、「まわりのお友だちに見せてあげて」などと喜びを分かち合える声掛けを工夫します。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

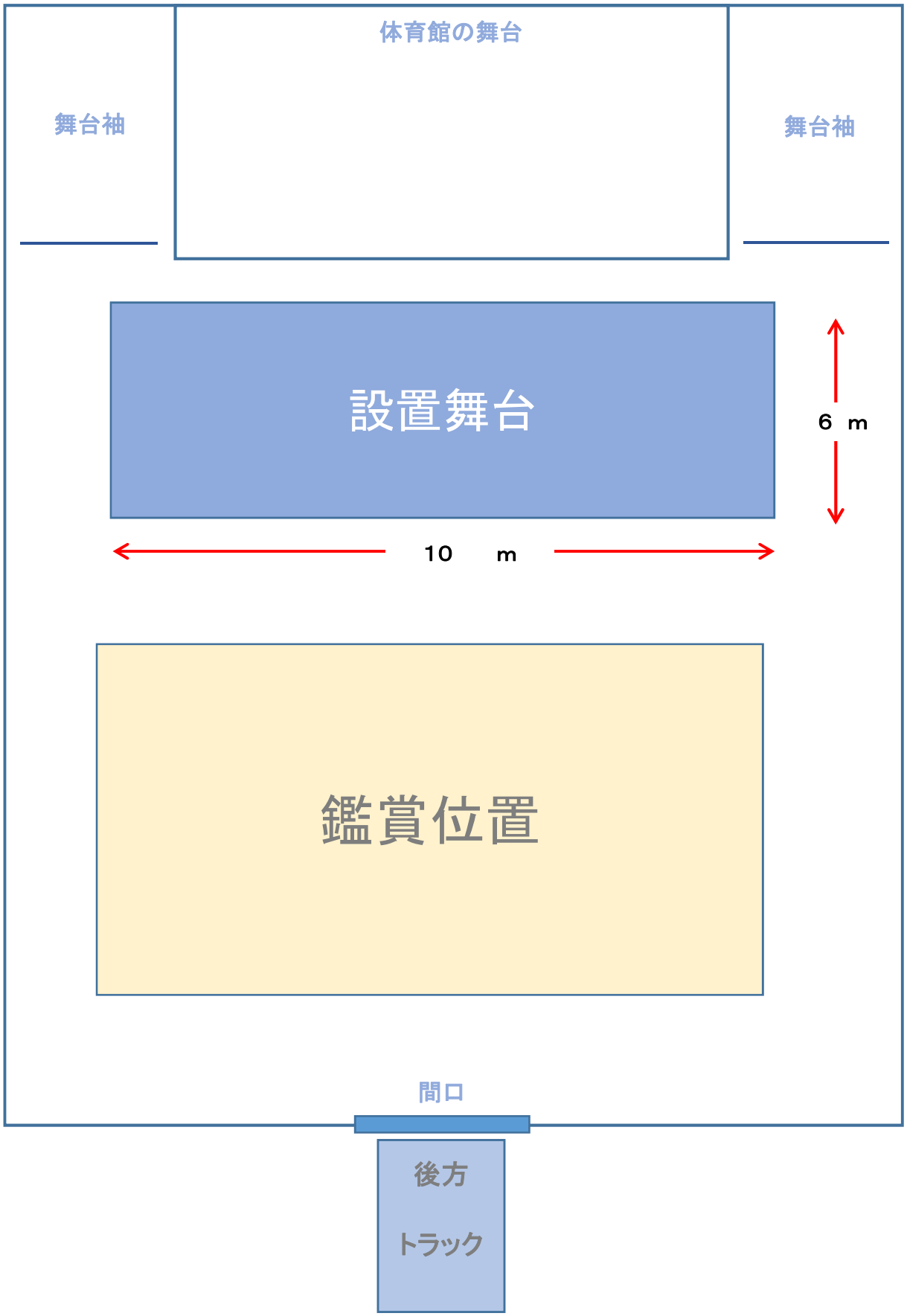
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A5	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	有限会社 劇団角笛				制作団体名	有限会社　劇団角笛			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男女着替えで2室必要です。カーテンで外から見られない部屋を希望いたします。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台	小型バス　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック（7m未満）				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問いません				
	可	搬入経路の最低条件			・出来る限り階段の無い経路を希望します。 ・屋根のある経路が望ましいです。				
		理由			公演機材に電気電子機器がある為。				
	可	設置階の制限＊			問いません				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅		2m	高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数			50名程度				
	可	学年の指定の有無＊			なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分			100～120分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			体育館の大きさにもよりますが、500名程度です。				
	可	舞台設置場所＊			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	10m	奥行	6m	高さ	5m	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		不要				
	―		舞台袖スペースの条件＊						
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	不可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	影絵劇の上演の為。			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		設置状況に合わせます。				
	可	公演に必要な電源容量		75A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	問いません			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

夢を大きくはずませて 観る・聞く・遊ぶ 感性の大冒険

あなたの学校の体育館が劇場に！

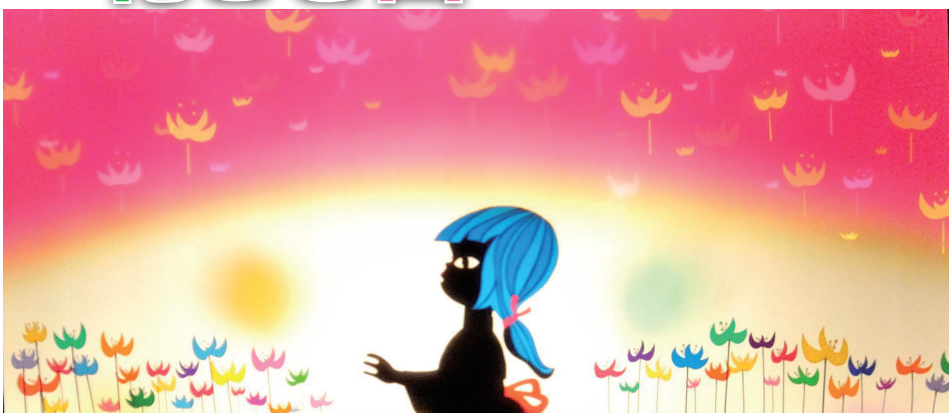
角笛シルエット劇場

楽しい影絵の世界へご案内

やさしい心が咲かせた美しい花　情感あふれる物語

花さき山

原作　斎藤隆介　脚色　山上路夫
音楽　渡辺岳夫　演出　角笛文芸部



ふしぎがいっぱい
あんな影　こんな影

影とあそぼう

簡単にできる
手影絵にみんな
挑戦してみよう！

しくみを知って
影絵クイズに
答えてみよう！

ワークショップ制作風景

うたと影絵の
ファンタジー

つのぶえのうた

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，[演劇]，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ　・（A区分とB区分の両方）・　C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　（あ り）・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに○を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじん　えんげきしゅうだんわんだーらんど 一般社団法人演劇集団ワンダーランド		
代表者職・氏名	代表理事　竹内一郎		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-18-13 ハイム大成ビル 203（JR中央線・総武線　新宿駅徒歩 10 分）		
電話番号	03-3368-2481	ＦＡＸ番号	03-3368-2487
ふりがな 公演団体名	いっぱんしゃだんほうじん　えんげきしゅうだんわんだーらんど 一般社団法人演劇集団ワンダーランド		
代表者職・氏名	代表理事　竹内一郎		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-18-13 ハイム大成ビル 203（JR中央線・総武線　新宿駅徒歩 10 分）		
制作団体設立年月	2015 年 7 月		
制作団体組織	役職員 **代表理事　竹内一郎** **理事　浜田和美** **理事　中島直俊** **監査役　萩原修三**	団体構成員及び加入条件等 **1）団体構成員　個人 25 名** **2）主な構成員　作・演出)竹内一郎　事務)浜田和美** **技術スタッフ)中島直俊　俳優)松村穣　岡本高英** **本郷小次郎　巌樫佑介　岡崎真弓　高橋亜矢**	
事務体制の担当	[専任]　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	**松村穣　/　浜田和美**
経理処理等の監査担当の有無	[有]　・　無	経理責任者名	**浜田和美**

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">竹内一郎は、早稲田小劇場を経て「転位・21」の創立メンバーである。本団体の前身のオフィスワンダーランドを 1991 年に創立する。以後 50 作品以上を上演。筆名「さいふうめい」での戯曲「星に願いを」で文化庁・舞台芸術創作奨励賞佳作。2017 年以降文科省検定教科書『高校　国語表現』にも採用され、非言語コミュニケーションの大切さを説いたミリオンセラー「人は見た目が 9 割」の著者である。
代表作に「漫画の祖、ふたり一楽天と一平」(2018 年度芸術文化振興基金助成事業)、「奇妙なり一岡本一平とかの子の数奇な航海―」「アレキサンドル昇天　青木繁・神話の棲み処」(2015 年度文化芸術振興費補助金事業)、「明星　与謝野鉄幹・晶子の道行き」、(以上「テアトロ」掲載)、「アチャラカ　昭和の喜劇人・古川ロッパ、ハリキる」(2013 年度文化芸術振興費補助金事業)がある。
2012、13 年久留米市役所より依頼を受け「からくり儀右衛門」地元にて上演。久留米市の学校より依頼、学校公演も上演。
近年は、年 2 回以上(内 1 回は紀伊國屋ホール)の東京主催公演を上演している。
2015 年 7 月に、(有) オフィスワンダーランド　演劇活動の 1 部を (一社) 演劇集団ワンダーランドとして新たに立ち上げ以後、学校公演活動等はこちらを主として活動。
平成 29 年度文化芸術による子供の育成事業―巡回公演事業―「からくり儀右衛門―日本のエジソン・技術で明治維新を創った男―」作・演出/竹内一郎公演を上演 (19 校)。令和元年度文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―で同演目の採択を受け上演予定 (18 校)。
主宰　竹内一郎の個人の活動では、91～92 年、文化庁・芸術家在外研修員として、フィリピンの伝統芸能を調査・研究。『哲也　雀聖と呼ばれた男』(原案担当)で講談社漫画賞。『手塚治虫＝ストーリーマンガの起源』でサントリー学芸賞。平成 24 年、26～28 年(3 年間採択)、29 年、30 年「文化芸術による子供の育成事業」、令和元年「文化芸術による子供育成総合事業」で、巡演している劇団俳小「トキワ荘の夏」公演では、「作・演出」を担当、主体的に行ってきた実績もある。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">2011 年 「からくり儀右衛門」演目 「からくり儀右衛門」上演実行委員会主催公演(久留米市)
2012 年 「からくり儀右衛門」演目 久留米市立筑豊西中学校芸術鑑賞教室公演
2012 年 「からくり儀右衛門」演目 九州大谷短期大学公演
2013 年 「からくり儀右衛門」演目 久留米市立南薫小学校体育館「からくり儀右衛門を観る会」主催公演
2013 年 「からくり儀右衛門」演目 「からくり儀右衛門展実行委員会」主催公演 2 ステージ上演
(上記制作:有限会社オフィスワンダーランド)
2016 年 「沖縄の火種(ウチナーヌウチケビー)－戦果アギヤ―の 1947 年―」演目
学校法人桐蔭学園芸術鑑賞教室公演(制作:一般社団法人演劇集団ワンダーランド)
2017 年 「熊楠と孫文―熊楠が孫文に伝えた世界―」演目
和歌山市主催公演(制作:一般社団法人演劇集団ワンダーランド)</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">基本的にワークショップも本番も上記の通りできます。しかし、事前での先生方の話し合いを持ち、より詳細に設定したいと考えています。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>DVDを提出します。</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　一般社団法人演劇集団ワンダーランド 】

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	現代演劇に参加する喜び
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	からくり儀右衛門―日本のエジソン・技術で明治維新を創った人々― 脚本・演出/竹内一郎 作曲/西村勝行 振付/福島桂子 公演時間(100 分休憩あり)

著作権	―	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要	日本は、明治以降、**技術力で国力を高めてきた国家**です。資源のない国、日本を、技術の力で日本の未来を切り開こうとした、**東洋のエジソンの異名を持つ東芝の創立者「田中久重」**の評伝劇です。 本作品は、その発明の根源**「人の想像力・創造する喜び」**、それに加え何事も不可能なことはないと思う、諦めない精神をもつことで、現在の日本の技術があることなど、人間ドラマを通じて、なぜ日本の技術が発展していったか、どういう信念を持ち行動したかを感じてもらえる作品です。**子供達に発想力や行動力の大切さを伝えます。** 本作品は実話を下敷きにしたフィクションです。 あらすじ 江戸末期――。田中儀右衛門は、地元・久留米で「からくり師」として注目を集めていた。**久留米がすりの創始者・井上伝の求めに応じ**、ガラを折り込む技法を開発し、**地元産業の発展に貢献**する。発明の面白さに魅了された儀右衛門は、大塩と出会い、〈**発明**〉に開眼する。佐賀藩、久留米藩に戻り、蒸気機関、アームストロング砲などの開発に携わり、**技術で明治維新に貢献する**。その後も、明治時代に万年時計など様々な発明をし、現在の東芝の基礎を作る。
演目選択理由	**資源のない国の日本の発展には、技術が必須です。**本作の主人公である**からくり儀右衛門**は、**技術で明治維新を牽引した**人物です。**発明の精神の根源は、「想像力・創造する喜び」であり、その信念により日本は先進国の仲間入りをしました。** また登場人物の久留米かすりの創設者「井上伝」をはじめ、他登場人物の一人ひとりに夢があり、悩みがあり、友情があり、挫折があります。**「他人と強調して思いやる心」「感動するこころ」「悲しみを分かち合える心」「豊かな人間性」**などの人間として成長していく大変重要な**「生きる力」**を育む力のある作品です。 本作品は、**歌、踊り、影絵、最新の映像技術**を使い、**優れた総合芸術**の体験の機会を提供します。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	公演前後に、児童生徒と、劇中に出演する**「からくり人形としての演技」「影絵遊び」「歌の合唱」**を一緒に交流を図り、**「からくり人形」として踊り、「影絵」、「歌」**にも参加していただきます。 言葉を使わない影絵やダンスを通して、**非言語のコミュニケーション**の工夫や創造力を養ってもらいます。また客席にいる生徒・児童は、そのからくり人形の動きを見てのリアクションをすることにより、演じた生徒・児童と、客席にいる**児童双方のコミュニケーションを図る試み**です。歌の合唱では、児童生徒が全員参加で歌います。
出　　演　　者	松村穣　岡本高英　武末志朗　桑島義明　嚴樫佑介　笠倉祥文　光永勇輝　高橋亜矢 木ノ下椿　葉山奈穂子　遠田恵理香　永井沙織　北川トモミ　松本裕子 ※上記俳優は予定です。

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者:　14名 スタッフ:　7名 合　　計:　21名	機 材 等 運搬方法	積載量 ２ ｔ ロング 車 長 6.06 ｍ 台 数　1台

【公演団体名　　一般社団法人演劇集団ワンダーランド】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。

会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(3時間程度)

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
8時	8時～12時	13時30～15 時20分	10分	15時30～17時	17時

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	全校児童生徒 1000名
	本公演	全校児童生徒 1000名

ワークショップ実施形態及び内容	ワークショップで一番大事なことは、**「見る」「聞く」「感じる」**つまり、五感を鋭くする訓練によって、想像力、創造力、感受性を豊かにし、**コミュニケーション能力**を発達させ、**社会性**が身につくようにすることです。 児童生徒には、**「踊る」「影絵」「歌う」**という三つのワークショップを体験していただきます。欧米では、非言語コミュニケーションが教育に取り込まれています。日本でも、近年は非言語コミュニケーションに注目されてきています。言語のみならず、非言語コミュニケーションの伝達力を育む演劇です。 なお、ワークショップのシーンは3か所です。なお、学校側ときちんと事前打ち合わせをし、それぞれの**学校が抱えている個別の相談にも対応**し、ワークショップの実施形態を適時、調整していきます。
ワークショップ実施形態の意図	本公演では、**「踊る」「影絵」「歌う」**という三つの自己表現力を養うことを狙いとしています。結果として、非言語コミュニケーションの重要性に気付くことになります。また、舞台に上がっている児童・生徒だけでなく、客席にいる全ての人が**《参加者》であり、《主体者》である**ことを実感できる演出形態をとります。 **●踊る**ことの狙い からくり人形の真似をすることで、関節を使って動くことの難しさに気づく。ロボットの動きを模倣する遊びでもある。 **●影絵劇**をすることの狙い 光と影が織りなす表現の豊かさに気づく。また自分の動きが影となったときの想像力に思いを至らせる訓練をする。 **●歌**を歌うことの狙い プロの俳優と一緒に歌うことでメロディーを持った音声の伝達力の高さに気づく。 上記三つのことにより、非言語コミュニケーションの重要性に気付く 。言語情報だけより、非言語情報のみや言語+非言語情報の方が伝達力が高いことを、実際に演技・歌うことで実感します。それぞれの学校の生徒・児童の変化には対応しつつ、ワークショップの実施を行っていきたいと考えています。
特別支援学校での実施における工夫点	基本的にワークショップも本番も上記の通りできます。しかし、事前での先生方の話し合いをもち、より詳細に設定したいと考えています。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

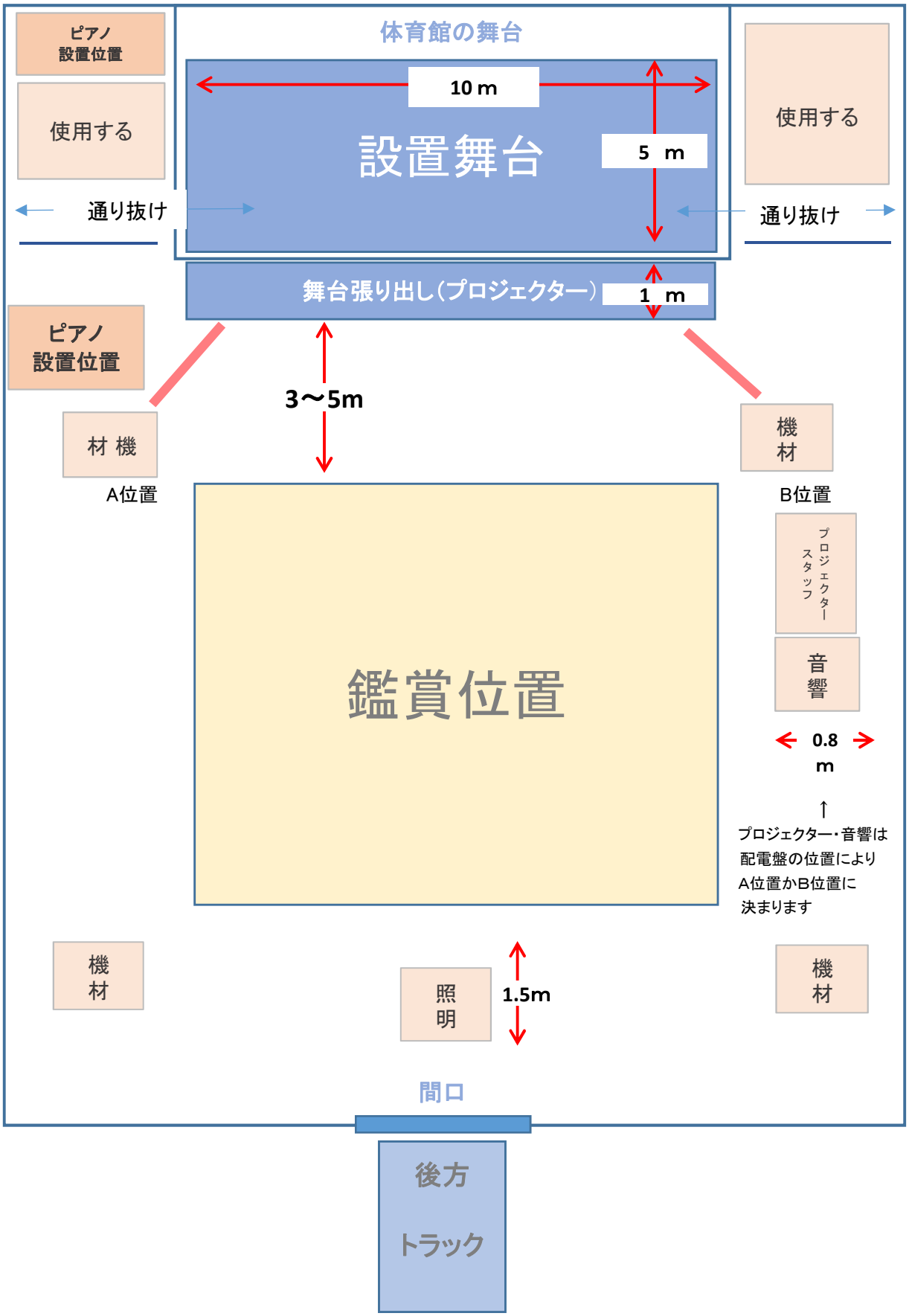
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A6	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	一般社団法人　演劇集団ワンダーランド				制作団体名	一般社団法人　演劇集団ワンダーランド			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	不可	必要数＊	1室	条件	控室は、1室以上が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	中型バス　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tワイドロングトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・出来る限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
		理由			舞台大道具の搬入をするため。				
	―	設置階の制限＊			問わない				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.2m	高さ	1.8m			
WSについて	可	参加可能人数		1コマ目歌の合唱1000名まで。2コマ目は6名。					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度（小学生・1コマ目45分＋2コマ目45分 中学生1コマ目50分＋2コマ目50分）					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		1000名					
	不可	舞台設置場所＊		体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	10m	奥行	5m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	劇中の影絵・暗転のためあると望ましい			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		100A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.2m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

実施日程	実施校	実施校以外の地元主催者
2019年 9月30日（月）	袖ケ浦市立蔵波小学校	千葉県教育委員会
2019年10月 1日（火）	市原市立三和中学校	千葉県教育委員会・市原市教育委員会
2019年10月 2日（水）	千葉市立院内小学校	千葉市教育委員会
2019年10月 3日（木）	船橋市立薬円台小学校	千葉県教育委員会
2019年10月 4日（金）	柏市立土南部小学校	千葉県教育委員会
2019年10月 7日（月）	野田市立二川小学校	千葉県教育委員会
2019年10月 8日（火）	結城市立城西小学校	茨城県教育委員会
2019年10月 9日（水）	古河市立仁連小学校	茨城県教育委員会・古河市教育委員会
2019年10月10日（木）	鹿嶋市立中野東小学校	茨城県教育委員会
2019年10月11日（金）	稲敷市立浮島小学校	茨城県教育委員会・稲敷市教育委員会
2019年10月15日（火）	北杜市立高根中学校	山梨県
2019年10月16日（水）	北杜市立高根東小学校	山梨県
2019年10月17日（木）	北杜市立甲陵中学校	山梨県
2019年10月18日（金）	笛吹市立御坂西小学校	山梨県
2019年10月23日（水）	杉並区立泉南中学校	東京都杉並区
2019年10月24日（木）	小金井市立東中学校	東京都小金井市
2019年10月25日（金）	立川市立第八小学校	東京都立川市
2019年10月28日（月）	江東区立亀戸中学校	東京都江東区

一般社団法人演劇集団ワンダーランド

竹内一郎が主宰として1991年オフィスワンダーランドを旗揚げ。
以後50作品以上を上演。「星に願いを」で文化庁・舞台芸術創作奨励賞佳作。
代表作に「漫画の祖、ふたり－楽天と一平」(2018年度芸術文化復興基金助成事業)、「デモクラティアの種」「奇妙なり－岡本一平とかの子の数奇な航海－」「賭博師 集」「アレキサンドル昇天 青木繁・神話の棲み処」(2015年度文化芸術復興賞補助金事業)、「明星 与謝野鉄幹・晶子の道行き」「日本アニメ、夜明け前」(2012年・2016年度芸術文化復興基金助成事業)、「鳳凰の切り札」「漂鳥の夢」「不死鳥の落胤」(以上「テアトロ」掲載)、「アチャラカ 昭和の喜劇人・古川ロッパ、ハリキる」(2013年度文化芸術復興賞補助金事業)、「沖縄の火種－戦果アギヤーの1947年」(2015年度芸術文化復興基金助成事業)がある。
2015年7月以来公演の演劇活動として一般社団法人演劇集団ワンダーランドを新たに立ち上げ。
平成29年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－「からくり儀右衛門」を19校巡演した。近年は、年2回以上(内1回は紀伊國屋ホール)の東京公演を上演している。

知ってますか？ 10月1日は「国際音楽の日」です

1977年ユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和元年度
文化芸術による子供育成総合事業
－巡回公演事業－
一般社会法人演劇集団ワンダーランド
【公演】

からくり儀右衛門

－日本のエジソン・技術で明治維新を創った男－

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

一般社団法人演劇集団ワンダーランド

からくり儀右衛門

―日本のエジソン・技術で明治維新を創った男―

あらすじ

東洋のエジソン、からくり儀右衛門。
その波乱万丈な人生に工業大国日本のルーツを発見する。

日本の持つ工業技術は、ジャパンブランドと呼ばれ世界に誇れるものとなっています。それは日本人が持つ想像力やモノを作る情熱によって培われました。

江戸時代の末期に田中儀右衛門という一人の日本人がいました。彼は後に東洋のエジソン、日本の発明王と呼ばれ、日本のモノづくりのルーツともいえる人物です。

田中儀右衛門は、九州の久留米出身のからくり人形師でした。儀右衛門は自分が考えた精巧なからくり人形で人々を驚かせるのが何よりも好きな少年でした。ですがある時、彼は自分が考えたからくりが人を喜ばせる、幸せにする事を知ります。

後に、日本初の蒸気機関や電信機を発明し、日本の文明開化を技術面で支えた田中儀右衛門の生涯を描き、私たち日本人の持つ、モノづくりに対する思いや精神を発見する評伝劇です。

スタッフ

作・演出……竹内一郎
舞台美術……大泉七奈子・竹内一郎
照明……根橋生江
作曲……西村勝行
音響……山崎純一・青蔭佳代
衣装……吉田恭子
振付……福島佳子
舞台監督……桑島義明
舞台スタッフ……中島直俊
演出助手……浜田和美

登場人物

田中儀右衛門（青年期以降）……松村穣
田中与志（田中弥右衛門の妻）……髙橋亜矢
田中儀右衛門（九歳・若い時代）……木ノ下椿
田中弥右衛門（儀右衛門の父）……武末志朗
田中たえ（儀右衛門の母）……葉山奈穂子
からくり師（博多座）……嚴樫佑介
川辺善吉……光永勇輝
古賀シノブ……永井沙織
井上お伝（久留米すがりの創始者）……遠田恵理香
斎藤キクノ……北川トモミ
大塩平八郎……岡本高英
ゆう（大塩平八郎の妻）……松本裕子
佐野常民（佐賀藩士・後に日本赤十字社を創設）……桑島義明
枝吉神陽……岡本高英
大隈重信……笠倉祥文
副島種臣……松本裕子
中村奇輔（科学の権威）……遠田恵理香
石黒寛次（蘭学者・語学が堪能）……光永勇輝
鍋島閑叟（佐賀藩主）……武末志朗
田中大吉（二代目儀右衛門）……桑島義明
石黒慶三郎（アンリツ創設者）……嚴樫佑介
沖牙太郎（沖電気を創設）……木ノ下椿

Ⅵ令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ おーるすたっふ 株式会社 オールスタッフ		
代表者職・氏名	代表取締役　土屋　由美		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒111-0051 東京都台東区蔵前2−4−5　K-FRONT ビル 8F (最寄り駅　都営浅草線・大江戸線　蔵前駅)		
電話番号	03-5823-1056	ＦＡＸ番号	03-5823-1054
ふりがな 公演団体名	みゅーじかるかんぱにー いっつふぉーりーず ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ		
代表者職・氏名	代表取締役　土屋　由美		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒111-0051 東京都台東区蔵前2−4−5　K-FRONT ビル 8F (最寄り駅　都営浅草線・大江戸線　蔵前駅)		
制作団体設立年月	1962 年　　5　月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　土屋由美 取締役　　土屋友紀子 取締役　　吉田健二 取締役　　中島康江 監査役　　横山彩	制作部:土屋友紀子・吉田健二・中島康江・松本崚汰 演技部:イッツフォーリーズ 茂木沙月・井上一馬・森隆二・明羽美姫 藤森裕美・米谷美穂　他　約 55 名 文芸部:吉田さとる(作曲家)・坂口阿紀(演出家) 河本章宏(演出家)	

事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	吉田 健二 松本 峻汰
経理処理等の監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	土屋由美
制作団体沿革	1962 年作曲家「いずみたく」が音楽及び舞台制作の集団として発足。同時に多くの歌手（佐良直美、由紀さおり、ピンキーとキラーズ）等を養成。「いずみたく」自身は＜恋の季節＞＜手のひらを太陽に＞＜見上げてごらん夜の星を＞等、数々の楽曲を作曲。その後、日本のオリジナルミュージカルの創作、作曲活動に専念。ミュージカル劇団フォーリーズ(後に改名・イッツフォーリーズ)を旗揚げし、数々のミュージカル作品を世に送り出す。「船長」「洪水の前」「おれたちは天使じゃない」他。「いずみたく」亡き後も、その意志を受け継ぎ、現在は、児童青少年、学校、一般と幅広い年齢層に向けてのミュージカルを全国で公演する。近年の上演作品「ルドルフとイッパイアッテナ」「青空の休暇」「霧のむこうのふしぎな町」「見上げてごらん夜の星を」「小さい“つ”が消えた日」「ゲゲゲの鬼太郎」「死神」「秋に咲く桜のような」「遠ざかるネバーランド」「じいじのふしぎなレストラン」「YOSHIKO～悔いなき命を～」「てだのふあ」他。		
学校等における公演実績	1. 親と子どものミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 府中市教育委員会、新宿区教育委員会、調布市教育委員会、他の小学校芸術鑑賞教室 2. ファンタジーミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 東海村教育委員会、増穂町教育委員会、文京区教育委員会、日立教育委員会 新潟市中学校国語研究会 他の小・中学校芸術鑑賞教室 3.ミュージカル「おれたちは天使じゃない」 山形・長野・浜松・北九州 他高等学校合同芸術鑑賞行事 桐蔭学園など近郊の高校鑑賞 4.ファンタジー「ねこはしる」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、増穂町教育委員会、文京区教育委員会 5.ミュージカル「ファーブル昆虫記」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、袖ヶ浦市教育委員会、他の小学校芸術鑑賞教室 6.文化庁本物の舞台芸術体験事業・（子どものための優れた～・文化芸術による子供の育成事業） H20 年度ミュージカル「ファーブル昆虫記」、H21 年度ミュージカル「野菊の墓」 H22・23 年度ミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 H25・26・27 年度 ミュージカル「ファーブル昆虫記」 H28・29・30 年度 ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」		
特別支援学校における公演実績	1. 親と子どものミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」 府中市教育委員会、新宿区教育委員会、調布市教育委員会、他の小学校芸術鑑賞教室 2. ファンタジーミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 東海村教育委員会、増穂町教育委員会、文京区教育委員会、日立教育委員会 新潟市中学校国語研究会 他の小・中学校芸術鑑賞教室 3.ミュージカル「おれたちは天使じゃない」 山形・長野・浜松・北九州 他高等学校合同芸術鑑賞行事 桐蔭学園など近郊の高校鑑賞 4.ファンタジー「ねこはしる」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、増穂町教育委員会、文京区教育委員会 5.ミュージカル「ファーブル昆虫記」 金沢市小学校演劇鑑賞教室、袖ヶ浦市教育委員会、他の小学校芸術鑑賞教室 6.文化庁本物の舞台芸術体験事業・（子どものための優れた～・文化芸術による子供の育成事業） H20 年度ミュージカル「ファーブル昆虫記」、H21 年度ミュージカル「野菊の墓」 H22・23 年度ミュージカル「霧のむこうのふしぎな町」 H25・26・27 年度 ミュージカル「ファーブル昆虫記」 H28・29・30 年度 ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」		

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	一幕 https://youtu.be/c25pPlVhtEQ 二幕 https://youtu.be/Unf6DSj_CkI
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

A区分・B区分・C区分共通

No.2(実演芸術)

公 演 ・ ワークショップの内 容 **【公演団体名** ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ **】**

対 象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生					
企画名	ミュージカル「小さい“つ“が消えた日」					
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚 本 演 出 ／振 付	ミュージカル「小さい“つ“が消えた日」 原作:ステファノ・フォン・ロー(三修社刊) 脚本・作詞・演出:前嶋のの 音楽:大竹創作 美術:根来美咲(青年座) 人形美術・製作:鹿島佳子、高椋士門(木ぐつの木) 振付:三枝宏次 歌唱指導:坂口阿紀 衣裳:天野桃子 照明:千田実(千田オフィス) 音響:返町吉保(キャンビット) 舞台監督:岩戸堅一(アートシーン) 公演時間・休憩 10 分含む(110 分)					
著作権		制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる	㊒	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	＜作品について＞ 本作品の原作者、ステファノ・フォン・ローは、1976 年ドイツ・クローンベルク生まれ。1987 年に来日し、上智大学比較文学部比較文学科を首席で卒業。その後、ケンブリッジ大学、ハーバード大学、東京大学で、経済学、哲学、社会学などを修めました。日本語・ドイツ語・英語・フランス語・イタリア語を堪能に使いこなし、現在は、フランクフルトの日系証券会社に勤務し、ドイツ・ケーニヒシュタインに在住しています。その語学堪能の彼が、日本語の五十音を登場人物として、日本語で物語を書いたものです。五十音の文字たちが擬人化され、五十音村の登場人物としてお話が展開されます。一つ一つの文字の大切さをユーモアと優しさを込めて描かれた物語は、子どもだけでなく、大人へのメッセージも込められた作品です。この原作を元に、イッツフォーリーズが、劇団企画公演としてミュージカル化、2013 年に初演を迎え、その後、何度かの再演を経て、多くの子ども劇場やファミリー向けの鑑賞行事として、上演してきた作品です。					

	＜あらすじ＞　文字にもたましいが宿っています。五十音村の住人は今日も元気に仕事をしています。自信家の“あ”さん、笑いっぱなしの“は”さん、歌の大好きな“う”さん、頼りがいのある“た”さんに、資産家の“し”さん。それぞれの個性豊かな文字たちが自慢話を始めていると、無口な小さい“つ”の話になり、音がない小さい“つ”は文字ではない、とみんなにばかにされてしまいました。小さい“つ”は、悲しい気持ちになり、家を飛び出してしまいます。そこでひとりぼっちになった小さい“つ”が出会ったものは…。“き・み・が・ひ・つ・よ・う”心が傷ついたとき、そのようなメッセージが届いたら、あなたはどうしますか？
演目選択理由	この作品の中で大きく分けて 2 つの物語の要素が、わかりやすく、見ている子供達に訴えかける要素があること。 一つ目は、五十音村を飛び出した、小さい“つ”が体験する物語。小さい“つ”は自分自身が音を発しない文字であることで、五十音村のみんなから、仲間はずれにされ、自分はどうしたらよいか悩み、そして旅立つ。しかしそこで、もっと広い世界を体験する中で、少しずつ本当の自分を取り戻すこと。 二つ目は、小さい“つ”がいなくなった後の物語。五十音村に残された文字たちの間では、小さい“つ”がいなくなった事でバランスが崩れ、五十音村に危機が訪れる。その危機を乗り越え、なんとか仲間（ちいさい“つ”）に帰ってきてもらおうと必死になること。 つまり、学校生活における「個」と「集団」というテーマに対して、やさしく、暖かく表現している作品だからです。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	1 第 1 幕、開演して 12 分後、五十音村の文字の紹介のシーンで、五十音の一員として出演してもらいます。（参加児童数・約 20 名・歌・ダンス・芝居）これから始まる物語をイメージさせるショーナンバーです。 2 第 2 幕、物語の最後で盛り上がる、五十音の文字全員が温泉に行くシーンに、五十音村の一員として出演してもらいます。（参加児童数・約 30 名・歌・ダンス）明るく楽しいショーナンバーです 3　カーテンコール、劇団出演者と一緒に、2 シーンに出演した全員で、観てくれた仲間に感謝の気持ちを込めてのおじぎと「♪おかえり」というテーマ曲を歌います。
出　演　者	中年ステファノ・おじいさん・“こ”さん・“そ”さん　役　浅川仁志（予定） 少年ステファノ・小さい“つ”役　明羽美姫（予定） “た”さん・“き”さん　役　杉尾優香（予定） “し”さん・“な”さん・“み”さん　役　浅賀めぐみ（予定） “あ”さん・“か”さん・“つ”さん　役　加藤木風舞（予定）

公演出演予定者数（1公演あたり）	出 演 者:　5名 ス タ ッ フ:　9名 合　　計:　14名	機 材 等 運搬方法	積載量　4t 車 長　9m 台 数　1台

【公演団体名　　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(　　6　時間程度)
<table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>7時45分</td><td>8時～14時</td><td>14時～15時50分</td><td>10分</td><td>16時～17時30分</td><td>17時30分</td></tr></table>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。
尚、ツアー初日の学校及び、午前中開演の学校の場合、前日仕込みが必要です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>基本的には本公演参加の約 50 名 (それ以上や 1 学年でも可)</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>鑑賞数　約 500 名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">ミュージカルに必要な歌・ダンス・芝居、もちろん全てに挑戦してもらいますが、何より楽しく演じる事を目標にします。五十音の文字を意識して、参加場面を講師と共に考えながら、文字が連なり言葉を作っていくことをイメージしていきます。歌やダンスという楽しみ方だけでなく、参加する生徒さんが、一つの意味ある場面を作り出していく面白さを伝えます。その学校の生徒たちによるオリジナルの世界感が重要です。
講師は 5 名、1日100分(2時限 プラス休憩時間)で行いますが、できれば、事前に歌詞や音楽を聴いておいてほしいと思っております。
「♫我ら文字だぜ言葉をつくれ」のダンスシーンに参加 20名、「♫きょうはやすみだ温泉だ」のダンスシーンに参加 30 名
最後に 2 つのシーンに参加した全員で、テーマ曲「♫おかえり」を合唱する。
性別、学年は問いません。
ワークショップ当日はゲームを交えて身体を全員で動かす。この中でなりきりゲームと称して様々なキャラクターになりきる(芝居)。その後テーマソングの歌唱指導(歌)。参加するチーム事に分かれて振付の練習(ダンス)。最後に本番に見立て、エリアを区切って場当たり及び実際に音楽に合わせて入退場含め練習を行う。
その後、本番日当日に、本番前、約1時間を使って、本番の舞台セット、照明、音響の中で、生徒参加部分の最終舞台稽古を行います。</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態の意図	ワークショップの一番の目的は、参加者が心を開く事、作品のテーマを考える事です。 講師が子供たちとコミュニケーションを取りながら、彼らが表現をしやすいワークショップ環境を作ります。そして、五十音の文字を演じる事で、自分たちが小さい“つ”に対して、どのような思いを持つか考える事を、作品のテーマに沿うように導きます。 シーン作りでは、一人一人の演じる文字がお互いを意識しながら言葉を作り、お互いの芝居の上での関係を作っていきます。最終的にそれぞれのオリジナルな参加シーンを創り上げることが目的です。 更にはプロのミュージカル俳優と一緒に出演することによって、新しい自分を発見し、また、自分たちが表現する事で、自分たちの考えたメッセージが観客に伝わるという事を、実感してほしいと考えています。
特別支援学校での実施における工夫点	彼らの出来る事、望んでいる事に合わせ、動きを調整し、とにかく表現することを楽しんでもらうようにする。音楽は、子どもたちの感性を刺激するものであることから、彼らがその音楽を楽しんで、何かを表現したいと思うように指導する。（特別支援学校に関しては事前の打ち合わせがかなり必要だと思いますので、子どもたちの情報や、授業の現状を事前に理解できるよう、学校とコミュニケーションを綿密に取ります。） 数少ない観劇の機会を丁寧に作ってあげたいと考えています。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

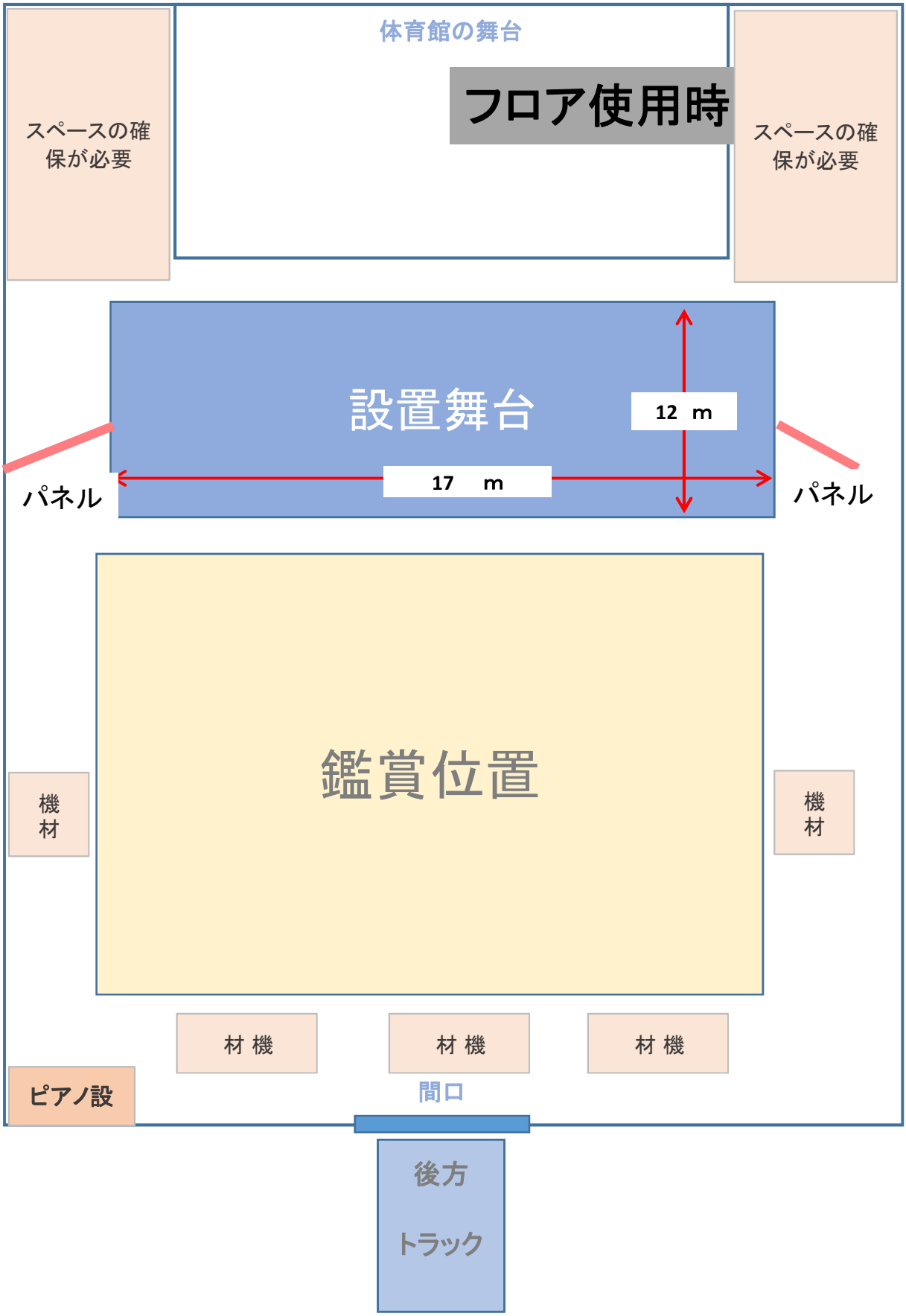
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A7	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	ミュージカルカンパニーイッツフォーリーズ				制作団体名	株式会社　オールスタッフ			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	キャスト及びスタッフの休憩場　1室 その他体育館舞台袖を楽屋として使用希望				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台				
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・体育館が1Fにある場所の搬入が望ましい。				
	／	理由			大道具、照明、音響機材を運ぶため				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可。 出来る限りフラットが好ましい				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		50名程度まで					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		100分					
本公演について	／	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		フロアに舞台を仕込むことを必須条件とし 体育館の広さにもよるが500名程度まで					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	17m	奥行	12m	高さ	特になし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		楽屋として使用できるスペース				
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	演出の都合上出来る限り暗くしたい			
	不可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		220A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

TOKYO

ミュージカル

小さい「つ」が消えた日

～五十音村を飛び出した小さい“つ”の大冒険～

原作…ステファノ・フォン・ロー（三修社刊）
脚本・演出…前嶋のの　　音楽・演奏…大竹創作

イラスト
合同会社第プロ

今回の作品には大きなふたつのラインがある。五十音村を飛び出した小さい「つ」の旅の物語と、残された文字たちの集団としての物語だ。小さい「つ」が心に傷を負った瞬間から、この二つのラインが別れて流れ出す。

「空気を読めない」という言葉がある。幼稚園で、学校で、遊び仲間の中で、職場で、母親たちの間で、劇団で。集団には必ず、その集団の空気が流れている。様々な集団の中で、自分はどうしたら自分らしくいられるのか。子どもだって大人だって、昔からずっとこの事を無意識に思い悩んでいる。そしてこの集団の空気が、ある時強い権力を持ち、誰かをひどく傷つける事がある。

小さい「つ」は旅をすすめる中で、世界は広いという事に気づく。言葉を持たないものたちとの出会いが、少年の心を落ち着かせる。一方五十音村の文字たちは、小さい「つ」がいなくなった事でバランスを崩し、集団として崩壊しかかる。一文字に託された役割の重さを知り、なんとか仲間を取り戻そうと必死になる。そして、少年にメッセージを送る。少年がこのメッセージをどう受け取るのか。そこが二つのラインが合流する瞬間だ。
「この作品を劇団でやりたい。」そう私に熱いボールを投げてくれたのは、プロデューサーの勝部さんだった。イッツフォーリーズという劇団に出会って、私はミュージカルを創作する楽しさを改めて感じた。若手からベテランまで、まるで五十音村の文字たちのように個性豊かな面々が、同じように作品創りに情熱を注いでいる。わっせ、わっせ、わっせ、わっせ、そんな声が聞こえてくるような稽古場だった。あの時、勝部さんから投げられたボールが火の玉のように膨らんで、ひとつのミュージカルとなり、お客様にお届けする日が来た。

ステファノおじさんが子どもの頃に聞いた五十音村のおはなしを、どうぞお楽しみ下さい。

（脚本・演出　前嶋ののの～初演プログラムより～）

原作
ステファノ・フォン・ロー

前嶋ののの

国立音楽大学卒業。大学在学中より舞台の作・演出、作曲を多数手掛ける。2008年「ギィ・フォワシイ演劇コンクール」にて最優秀賞受賞。

ものがたり

文字にもたましいが宿っています。五十音村の住人は今日も元気に仕事をしています。自信家の〝あ〟さん、笑いっぱなしの〝は〟さん、歌の大好きな〝う〟さん、頼りがいある〝た〟さんに、資産家の〝し〟さん。それぞれの個性豊かな文字たちが自慢話を始めていると、無口な小さい〝つ〟の話になりました。音がない小さい〝つ〟は文字ではない、とみんなにばかにされてしまいました。小さい〝つ〟は、かなしい気持ちになって、家を飛び出してしまいます。ひとりぼっちになった小さい〝つ〟が出会ったものは…。
「き・み・が・ひ・つ・よ・う」心が傷ついたとき、そんなメッセージが届いたら…あなたはどうしますか？

ドイツ人作家のステファノ・フォン・ローが日本語で書いた、ひとりひとりの人間にむけた愛の物語。2013年、イッツフォーリーズの俳優が企画し、総勢30名余の劇団メンバーで初演。好評を博した「小さい〝つ〟が消えた日」を、出演者5名でリニューアル再演！ 5人で五十音?! どうなっちゃうの？

ミュージカルナンバー

第１幕

- 人生を楽しむ秘訣
- 文字には魂が宿っている
- 我ら文字だぜ 言葉をつくれ
- 五十音村の仲間たち
  - ① あさんの自慢話
  - ② はひふへほと笑っちゃう
  - ③ たさんはとっても頼もしい
  - ④ しさんの資産はすごいんです
  - ⑤ こさんは最古参
- いつものパーティ
- 孤独
- どこへ向かう
- どうなとんじゃ

第２幕

- 楽しい冒険
- どこにいるの
- 楽しい冒険パートⅡ
  - A 蜂に追われて
  - B 船を漕ぎ出す
- 小さい「つ」への手紙
- きみがひつよう
- おかえり
- いつものパーティ・パートⅡ
- きょうは休みだ温泉だ
- 人生を楽しむ秘訣・パートⅡ

音楽　大竹創作

脚本・演出を担当した前嶋のの氏と同じく国立音楽大学卒業。大竹氏は2003年頃より自身が楽しむためのバンド『乙三．』のリーダーとして活動を開始し、ボーカル、ピアノを担当。ストリートライブなどで注目を浴び、2006年avex traxよりメジャーデビュー。乙三．の「あした会おうね」がNHK「みんなのうた」で取り上げられたほか、SMAP、KinKi Kids、山下智久などへの楽曲提供も多い。イッツフォーリーズでは劇団公演の「牡丹さんの不思議な毎日」「あさはなび」の音楽を担当している。

舞台写真　2016年8月六行会ホールにて（撮影　日高 仁）

「おかえり」

作詞…前嶋のの
作曲…大竹創作

おかえり　おかえり
まっていたよ
おかえり　おかえり
ずっと　きみのこと
大切なきみがいなくて　さびしかった
とてもつらかった
大切なきみがここにいる　それだけで
こんなに嬉しい

消せない過ちを　僕らはずっと忘れない
消える事のない痛みを　ポケットにしまっておくんだ
おかえり　おかえり
まっていたよ
おかえり　おかえり
ここがきみの家

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する**種目**に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　●A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あ り ・ ●な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃまじぇすてぃっく 有限会社マジェスティック		
代表者職・氏名	代表取締役　平 富恵		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒115-0055 東京都北区赤羽西 4-21-22(JR 赤羽駅)		
電話番号	03-3905-7900	ＦＡＸ番号	同左
ふりがな 公演団体名	たいらよしえすぺいんぶようだん 平富恵スペイン舞踊団		
代表者職・氏名	代表　平 富恵		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-2-1-B1F(JR 神田駅)		
制作団体設立年月	1998 年　4 月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 1 名　平 富恵 **取締役 1 名　Jeremy Aaron Eaton** **経理 1 名　藤崎 祥子** **事務職員 1 名　稲葉 由希子** **監査(監査役)1 名　平 妙子** **(前監査役平昭六死亡により代行)**	**(1)団体構成員　個人 5 人** **(2)主な構成員** **平富恵(代表・舞踊家・演出家・振付家)** **秦史乃(常勤講師・舞踊家)** **稲葉由希子(常勤講師・舞踊家)** **(3)加入の条件** **5 年以上の経験者または基礎曲を全て習得したもの。専門的に舞踊活動を行える者。**	
事務体制の担当	専任 ・ ●他の業務と兼任	本事業担当者名	**稲葉由希子**
経理処理等の監査担当の有無	●有 ・ 無	経理責任者名	**藤崎祥子**

制作団体沿革	代表 平富恵は、1988 年小松原庸子スペイン舞踊研究所に入門。以来、国内外公演に、プリンシパルとして多数出演。(2006 年同舞踊団より独立。2011 年までゲストアーティストとして公演に出演) 1977 年スペイ留学。1998 年帰国後、NHK 教育をはじめ、TV、CM、ラジオ出演など多方面で活躍。同年、平富恵スペイン舞踊研究所スタート。より専門的なフラメンコ・スペイン舞踊の教育ができる機関を目指し、2001 年千代田区内神田に研究所専用スタジオ設立。 2002 年第 1 回スペイン舞踊振興マルワ財団主催 CAF フラメンココンクール優勝。2003 年第 43 回カンテ・デ・ラス・ミナス国際フラメンココンクールにおいて日本人初のセミファイナル進出。審査員特別賞受賞。2004 年法人化し、(有)マジェスティック設立。毎年研究所生による劇場定期公演を開催し、本年第 18 回を実施。2009 年から開催している平富恵スペイン舞踊団劇場公演は、「エル・スエニョ」シリーズが 2012 年に 4 回を迎え、このうち、2010 年には第 65 回芸術祭賞を受賞。2013 年「シャンバラ・ムーン」、2014 年「ゾディアック」、2015 年「真夏の夜の夢」、2016 年「梁塵秘抄」、2017 年「Hokusai Flamenco Fantasy」、2018 年「愛の賛歌」を上演。H28-29(第 18 回)河上鈴子スペイン舞踊賞受賞。他、様々な企業やイベントで公演活動を行う。
学校等における公演実績	**平成 22 年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」公演、平成 23・24・25 年度「次代を担う子供の文化体験事業」公演、平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業」公演に、蘭このみスペイン舞踊団依頼で出演。当舞踊団としては、平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて C ブロック(8 校)の公演を実施。** **平成 28 年度同事業にて D ブロック(9 校)の公演を実施。** **平成 29 年度同事業にて F ブロック(14 校)の公演を実施。** **平成 30 年度同事業にて J ブロック(10 校)の公演を実施。** **令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」にて E ブロック(7 校)の公演を実施予定。**
特別支援学校における公演実績	**平成 22 年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」公演、平成 24 年度「次代を担う子供の文化体験事業」公演に、蘭このみスペイン舞踊団依頼で出演。** **平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業」で当舞踊団にて公演を行う C ブロック 8 校のうち、1 校公演を実施。** **平成 28 年度同事業で当舞踊団にて公演を行う D ブロック 9 校のうち、1 校公演を実施。** **平成 29 年度同事業で当舞踊団にて公演を行う F ブロック 14 校のうち、3 校公演を実施。** **令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」で当舞踊団にて公演を行う E ブロック 7 校のうち、1 校公演を実施予定。**

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	●有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	●有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	**DVD を提出いたします。**
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　　平富恵スペイン舞踊団】

対　　象	●小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ ●中 学 生
企画名	わくわく体験！スペイン舞踊・フラメンコの情熱世界
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	スペイン舞踊「夢、フラメンコの粋と情熱」 演出/構成/振付　平富恵 公演時間(　　90分)

著作権	●	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要	前半は導入として壮大なスペイン舞踊(クラシコ・エスパニョール)を変化に富んだ形式(フラメンコ正装、ショール、カスタネットなど)を上演します。 前半に、簡単なフラメンコについての解説をします。フラメンコの成り立ちと現在の舞踊形式について、実演を交えながら説明します。児童生徒の皆さんには実際にパルマ(手拍子)とハレオ(囃子のようなものの発声)、足踏みを体験して頂きます。 後半は更に様々な音楽的要素を網羅したスペイン舞踊をよりクラシカルなものからモダンなものへ、そして最後にフラメンコに移る流れで上演します。フラメンコ部門では、特に重要なナンバーを組曲として選びました。フラメンコギター・歌・舞踊が持つ独特な迫力と醍醐味を実際に味わって頂きます。 全体を通し、スペイン舞踊・フラメンコの過去から現在への時間的・種類的な変遷を感じられるプログラムにし、また各曲にテーマを持たせ(「人の夢」「人の絆」「人生」など)決して飽きることなく、想像力が膨らむ構成を展開いたします。 ■作品構成(予定) [前半 40～45 分] 1、マラゲーニャ:キューバの作曲家エルネスト・レクォーナのスペイン各地をテーマにした組曲「アンダルシア」の中で最も愛されている名曲。風光明媚なマラガの女性を称えたメロディーは世界的に知られポピュラーになっている。 2、サパテアード:サラサーテの名作。題名が示すようにサパテアード(足音)のみで様々なリズムを創り出し、ダイナミックに盛り上げる。 【あいさつ、スペイン舞踊の解説】 ごあいさつ、そして「スペイン舞踊」についての説明をします。また、重要な舞踊アイテムのカスタネットについてデモンストレーションを交えながら解説します。 3、アラゴネサ:作曲家ビゼーの名作「カルメン」組曲の中の 1 曲。情熱的な女性「カルメン」の登場の場面としても親しまれている名曲中の名曲。 【フラメンコの解説】 フラメンコのお話:フラメンコの成り立ちと現在の舞踊形式についてギタリスト、歌手、打楽器奏者のデモンストレーションによる解説をしながら、フラメンコとは何かを理解してもらいます。続いて児童生徒の皆さんには実際にパルマ(手拍子)とハレオ(囃子のようなものの発声)、足踏み(サパテアード)ダンスを体験し、1 曲(ルンバ)を練習します。 休憩

	［後半50～55 分］ 4、ムヘレス：スペインの大作曲家マヌエル・デ・ファリャの名曲「ラ・ビダ・ブレベ（はかなき人生）」にのせて、ムヘレス（女性たち）の様々な生き方を表した作品。 5、タクトゥタ：フラメンコ発祥の起源と言われるインドのタブラにのせ人の矛盾を表す。「君は僕の話を聞こうとせず、僕は君に話をさせない。お互いに絶えず相手の話を遮っていたら・・・本当は、同じ思いを伝えたくて話している事に一生気付かないだろう。」 6、デリリオス・イベリコ：静寂とともに、一人の踊り手が闇から現れ腹鼓を鳴らし消える。突如爆音が響き、スペイン舞踊の形式でカスタネットを持った踊り手たちが、次々颯爽と踊る。続いて、曲はパルマ（手拍子）に導かれ、徐々にフラメンコのリズムに変化する。重なり、止まり、また走る。様々な動きとともにこの世界は繰り広げられる。 7、リトモ・イ・コンパス：フラメンコにとって最も重要な曲の一つであるシギリージャの、カホン（パーカッション）とカスタネットの絶妙な掛け合いに注目！ 8、ファンタシア：扇子を優雅に動かしグアヒーラを舞う女性たち。突然表れたいたずら好きが魔法をかけるとたちまち皆の動きは止まる。しかし、面白がっていた魔法使いの最後の運命は・・・。 9、ヴェラ・デ・サンタ・アナ：帽子を被った粋な曲ガロティン。70 年代アンダルシアのエッセンスの上に、研ぎ澄まされた現代の感覚をちりばめた様々な次代の融合を探った意欲作。 10、アレグリアス：スペイン南端カディス発祥のカンテ・アレグレ（明るい歌）を代表する曲。港町の美しい情景を彷彿させるフラメンコならではの明るく楽しい曲。 11、わくわく・de・フィエスタ：フラメンココンサートの最後は、フィン・デ・フィエスタというお祭りの形式で終ることが多く、ここでは、児童生徒代表の皆さんの情熱的な晴れ舞台「フェリスナビダ（スペイン語版メリークリスマス）」の名曲を鑑賞します。その後、代表者のカホン演奏と踊りのお手本をもとに、パルマと足踏みダンスで、全員で踊り、楽しくフィナーレを飾ります。
演目選択理由	2009 年から継続して開催している公演「エル・スエニョ（夢）」シリーズをこの事業公演版に改良し上演します。この公演は、2010 年文化庁芸術祭賞を頂き、上演実績を多数重ね、観客の高評価を頂く自信作です。児童生徒の皆さんには、分かりやすく、親しみやすく、楽しく参加できるプログラムです。日本ではフラメンコ公演は盛んですが、スペイン舞踊全般を配した公演は数少なく、この公演により、フラメンコを含むスペイン舞踊本来の素晴らしさと可能性を追求し、普及・発展に貢献できると考えています。私どもの公演を通じ、今後更にユニバーサル芸術となるこれらスペイン舞踊に触れ、関心を深め、児童生徒の皆さんたちにとって忘れ難い体験の一つとなることを願っております。そして「夢」の続きを将来担っていただける芸術家・芸術に携わる人が現れる事を期待しております。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	前半で、パルマ（手拍子）、ハレオ（囃子）、足踏みの練習に全員参加していただき、これを活かし後半 1 曲「わくわく・de・フィエスタ」で、代表の生徒さんには、舞台上で伴奏とダンスによる舞踊団メンバーと共演して頂きます。その後、生徒の皆さん・出演者の全員で、生演奏を背景に足踏み＆手拍子ダンスでフィナーレを飾ります。
出　演　者	平富恵、永田健、秦史乃、佐渡靖子、稲葉由希子、菊池和緒子、平尾華子、遊佐しのぶ、高橋里子、小松美保、長谷川暖、容昌

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者:　12名 スタッフ:　18名 合　計:　30名	機材等 運搬方法	積載量　4t 車 長　8.64m 台 数　2台

【公演団体名　　平富恵スペイン舞踊団】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td colspan="2">前日仕込み(有 ・(無))会場設営の所要時間(3 時間程度)
<table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>8 時</td><td>8 時～11 時</td><td>14 時～15 時 45 分</td><td>15 分</td><td>16 時～18 時</td><td>18 時半</td></tr></table>→仕込み終了後から公演まではリハーサルを行います。

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>20 名～80 名程度</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>会場の大きさにもよりますが、300～400 名程度</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">【ごあいさつ・文化の違い】 まず、自己紹介・舞踊団メンバーを紹介した後、スペインについての簡単な Q&A （生徒の皆さんと）を実施し、ワークショップ内容を説明します。また文化の違いとして、スペインの挨拶の仕方「左右の頬と頬をくっつけて挨拶」を紹介し、場合によっては生徒さん同士、または先生と挨拶体験をしてもらう。

【スペイン舞踊とフラメンコの解説】導入として、踊りのデモンストレーションをご覧頂いた後、各舞踊の音楽やアイテム、衣装の違いを紹介を行いながら、「スペイン舞踊」と「フラメンコ」についての説明をします。
・「スペイン舞踊」とは何か？どんな種類があるのか？
・「フラメンコ」とは何か？踊り？ギター音楽？歌？（音楽試聴＆クイズ形式で全員で楽しく探ります。）
・「スペイン舞踊」と「フラメンコ」の違いを説明し、特に「フラメンコの起源と歴史」を中心に解説します。
＊フラメンコの曲は、リズムとメロディーによって区別され、曲の形式や意味があること等。
＊フラメンコはどのようにして起こったのか？（最重要ポイント）

【体験コーナー】 ＊全て解説とデモンストレーション有り
参加人数や学校様側の希望にもよりますが、全員でやれるもの以外は、主に生徒さんを 3～4 グループに分け、順番に全ての項目を体験してもらう形式をとります。
・パルマ（手拍子）/表・裏拍、アクセントの取り方の体験。（フラメンコ特有）
・サパテアード（足踏み）/足の打ち方主な 4 種類を実際に体験。代表生徒は専用シューズを履き舞台上で、他の生徒も全員立って実際に体験。
・ルンバ（足踏みダンス）/サパテアードやパルマ、回転、腕の動き、リズム等による簡単な振付ダンスに挑戦。
・カスタネット/音楽の時間に使うカスタネットと踊り用のものの違いを説明。実際に両手に</td></tr>
</table>

	持ってもらい体験。 ・カホン/四角い木製のリズム楽器を実施に体験。リズムリレーに挑戦。 ・ハレオ/フラメンコにはハレオという掛け声があり、どういうタイミングでどのように掛け声をかけたらよいのか、一緒に声出しを体験。
ワークショップ実施形態の意図	・ダンス経験がない、あるいは経験が浅い児童生徒に舞踊（音楽）を理解し、楽しんでもらえるように、また、本公演の舞台鑑賞時に少しでも興味を持てるように、始めは日常的な動きから、どのようにダンスの動きに変わっていくかを体験してもらいます。 ・バラエティ豊かなメニューで多角的にスペイン舞踊・フラメンコを捉えてもらいたいと考え、カスタネットやカホンなどの楽器も全員が実際に触れられるようにグループ分けを導入しております。 ・ワークショップで覚えたパルマ（手拍子）やカホン、ダンスなどが１曲として完成し、学んだことが形になる達成感や共演者・仲間との一体感を感じられるよう、代表の生徒さんに本公演の出演プログラムを練習してもらいます。 ・スペイン語圏の文化は、全世界的には、多様性が求められるいま、圧倒的な数・量の存在感を示しているものの、日本では、その言葉や文化に直に触れる機会が少なく馴染みがないのが現状です。スペイン語文化は、世界では大勢力として中心に位置し、特に欧米では第二外国語としての理解度も高く、一般教養としての標準定着度における日本との格差は大きいです。インバウンド、2020 年 および その後の未来に向けて世界は、益々多様性を必須とする中、日本の児童の皆さんにこのスペイン文化である舞台芸術の素晴らしさに触れてもらいたいという狙いを根底に持ちプログラムを進行いたします。
特別支援学校での実施における工夫点	・生徒さんによって個人差があると思われますが、原則的には全ワークショッププログラムを実施できればと考えております。生徒さんの体調や集中力など様々なことをあらかじめ先生方と綿密に打ち合わせし、項目を選んだり、カスタマイズしたりしながら、当日は様子を見て進めます。 ・着席したままでも体験できる音楽リスニングや Q&A、手拍子やカスタネット、そして掛け声（ハレオ）で、どのような方でも様々な形で参加し、楽しむことができるようにします。 ・カホンなどの大きな楽器は、車椅子の児童の方には先生と協力しながら、メンバーがカホンを持ち上げ手の届くところまで持っていき、実際に叩いてもらい本物の音や振動を感じてもらうなどの対応をさせて頂きます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

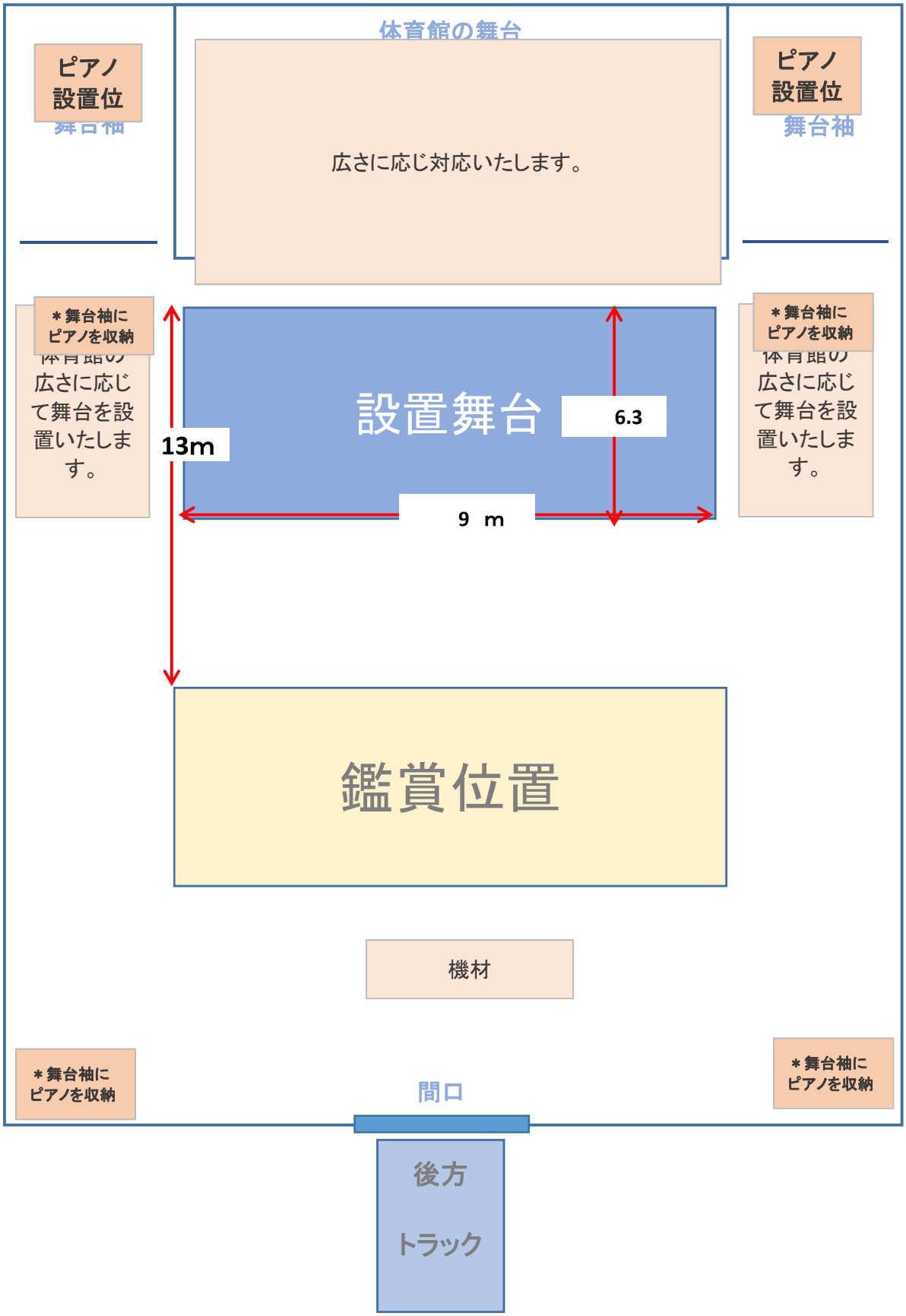
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A8	分野	舞踊	種目	現代舞踊	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	平富恵スペイン舞踊団				制作団体名	有限会社　マジェスティック			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男性用・女性用の着替用でもあるためカーテン等のある部屋又はつい立てや模造紙などで目隠し可能な部屋を希望します。できるだけ会場に近い部屋を希望しますが、女性用については衣装準備でアイロンを多数使用しますので、家庭科室など電圧に問題のない部屋を希望します。机またはテーブル、床の掃除を事前にお願いします。（床をひきずる裾の長い衣装を使用するため、汚れないように。）				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　2台	電源車　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			大型バス1台				
	不可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	不可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			不可				
	可	搬入経路の最低条件			コンクリートの、できるだけ階段のない経路				
		理由			多数のコンパネ板、舞台美術などの大道具と照明・音響機材を搬入するため。				
	不可	設置階の制限＊			2階以上不可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	約2m	高さ	約2m			
WSについて	可	参加可能人数		20～80名程					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		300～400名程（体育館の大きさにもよる。合同開催等または劇場等の施設利用が可能な場合は鑑賞人数を増やすことも可能です。）					
	不可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	9m	奥行	13m	高さ	－	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態					
	可		緞帳＊	要	バトン＊	要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	劇場同様の空間を作り、演出をするため			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	－		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	－	公演に必要な電源容量		－	当方の電源車にて対応				
	その他特記事項								
		会場の規模と鑑賞可能人数は、条件前後で対応可能ですのでご相談ください。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	約2m	高さ	約2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		不可		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

開催日程

開催日程	実施校名	地元主催者
2019年11月11日(月)	京都市立嵐山東小学校	京都市教育委員会
2019年11月12日(火)	綾部市立東綾小学校	京都府教育委員会、綾部市教育委員会
2019年11月13日(水)	京丹後市立弥栄中学校	京都府教育委員会、京丹後市教育委員会
2019年11月14日(木)	京丹波町立蒲生野中学校	京都府教育委員会、京丹波町教育委員会
2019年11月15日(金)	氷見市立十三中学校、氷見市立湖南小学校	富山県教育委員会、氷見市教育委員会
2019年12月10日(火)	福井県立南越特別支援学校	福井県
2019年12月11日(水)	富山市立西部中学校	富山県教育委員会、富山市教育委員会
2019年12月12日(木)	富山市立神通碧小学校	富山市教育委員会

知ってますか? ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

フラメンコが世界遺産に。

フラメンコは2010年、ユネスコの世界無形文化遺産に認定されました。スペインの芸術文化だったフラメンコが、世界の文化として知られるようになるでしょう。

スタッフ

〈構成・演出・振付〉平 富恵　〈舞台監督〉伊藤 郷生　〈照明〉木山 正隆　〈音響〉須藤 洋
〈製作〉有限会社マジェスティック

令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

平富恵スペイン舞踊団
〈現代舞踊公演〉

スペイン舞踊
「夢、フラメンコの粋と情熱」

文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

Flamenco's Passion and Spirit

昔から、人々は辛いことや悲しいことがあると、歌ったり、踊ったりして、
自分や仲間を励ましてきました。
また、嬉しい時にも歌や踊りで暮らしを豊かにしてきました。スペイン南部で
生まれたフラメンコには、人々を元気にする力がいっぱい詰まっています。
フラメンコの持つエネルギーや緊張感、不思議な力を体験しましょう。

■スペイン舞踊とは?

スペインには各地にたくさんの民族舞踊があり、有名なものに
アンダルシアが生んだ民族音楽舞踊のフラメンコがあります。
また、アラゴン地方のホタ、古くはバレエの流れから独自に発達
したエスクエラボレラ、さらに洗練されオーケストラ曲などで踊
るスペイン古典舞踊(クラシコエスパニョール)などがあり、大き
く分けてこの4つをスペイン舞踊といいます。

■フラメンコはどんな風に生まれたの?

アンダルシアは15世紀までの約800年間アラブに占領されてい
ました。その後北部インドを追われた流浪の民ロマ(ジプシー)
が、気候の良いアンダルシア地方に住み、彼らの音楽と、アラブ、
アンダルシア固有の音楽などが混ざり合いフラメンコの始まりと
なりました。ロマ達は、迫害を受け、安定した仕事を持てず、過
酷な生活の中での嘆き、悲しみ、夢、はかなき希望などを歌にた
くし感情を表しました。きっとその想いがフラメンコに他の民族
音楽舞踊に見られない哀愁や奥深さを与えたのでしょう。

■フラメンコは踊りなの?

日本ではフラメンコは、「踊り」と思われていますが、本場スペイ
ンでは「うた」が主流と考えられています。前の部分で説明しまし
たが、ヒトの苦しみや嘆きを歌ったのがフラメンコの始まりです。
そこに、指鳴らしや手拍子、踊りが加わり現在のフラメンコの形
ができました。フラメンコは、うた・ギター・踊りの三つで一つな
のです。
フラメンコには、「ハレオ」というかけ声をかける習慣があります。
演奏や踊りの盛上りに達すると観客側から「オーレ」などと声がか
かります。「オーレ」にはいいぞ、その調子だという意味があり、
その声がかかると演者は、一層盛り上がるのです。見る側、行う
側が一体となって創り上げていくのもフラメンコの醍醐味です。

スペイン舞踊家　平　富恵

平富恵スペイン舞踊団主宰。国内外の公演多数出演。NHK教育番組をはじめTVやCMに出演・振付など多方面で活躍。02年第一回CAFフラメンココンクール優勝。03年スペインの第43回カンテ・デ・ラス・ミナス国際フラメンココンクールにて日本人初のセミファイナル進出。審査委員長特別賞受賞。H22芸術祭賞、「RyojinHisho」「Hokusai Flamenco Fantasy」等意欲作にてH28−29河上鈴子スペイン舞踊賞受賞。

平富恵スペイン舞踊団

平富恵作品発表を軸に、スペイン舞踊公演活動をしている。2009年より文化庁芸術祭に連続出品を果たし、また文化庁事業、芸術団体公演に多数参加。「エル・スエニョ」「シャンバラムーン」「ゾディアック」「真夏の夜の夢」「愛の賛歌」などの代表作がある。

◆プログラム

第1部

1　マラゲーニャ　作曲:レクォーナ

組曲「アンダルシア」の中で最も愛されている名曲。
マンティージャ(レースの布)とカスタネットを使ったクラシコエスパニョールです。

2　サパテアード　作曲:サラサーテ

曲名の通りサパテアード(足音)の軽快な足さばきが目に浮かびます。

3　アラゴネサ　作曲:ビゼー

名作「カルメン」組曲の中の1曲。情熱的な女性"カルメン"の登場の場面として親しまれています。

スペイン舞踊とフラメンコのお話し

スペイン舞踊とフラメンコ、またフラメンコのリズムなどについて。
手拍子(パルマ)と足踏みダンス(サパテアード)、かけ声(ハレオ)に挑戦してみましょう!

休　憩

第2部

4　ムヘレス　作曲:ファリャ「ラ・ビダ・ブレベ(はかなき人生)」

ムヘレス(女性たち)の様々な生き方を情熱的に表すクラシコエスパニョール作品。

5　タクトゥタ

人の矛盾を表した作品。「君は僕の話を聞こうとしない。僕は君に話をさせない。
そうやっておたがいに相手の話をさえぎっていたら
本当は同じことを伝えたいと思っていることに、一生気づかないだろう」

6　デリリオス・イベリコ

カスタネットを鳴らすクラシコエスパニョールから、だんだんとパルマと共にフラメンコの世界に変化していく曲。

7　リトモ イ コンパス[シギリージャ]

人の悲しみや苦しみを唄った、フラメンコにとって最も重要な曲。変則的な5拍子。
カホン(木箱)とカスタネットがリズムを刻みます。

8　ファンタシア[グァヒーラ]

せんすを持ち優雅に踊る女性たち。突然現れたいたずら青年が魔法をかけるとたちまち皆の動きは止まる。
しかし、面白がっていた魔法使いの運命は・・・。

9　ヴェラ・デ・サンタ・アナ[ガロティン]

70年代アンダルシアと現代のモダン感覚をちりばめた帽子の粋な曲。

10　アレグリアス

フラメンコの代表曲。港町カディスで生まれたカンテ・アレグレ(明るい歌)を代表する曲。

11　わくわく・de・フィエスタ

民衆に愛されている愛嬌のある踊りルンバを生徒代表の皆さんのカホンリズムとともに楽しく踊ります。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あ り ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに○を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ まんさくのかい 株式会社 万作の会		
代表者職・氏名	取締役社長 野村 二朗		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒112－0014 東京都文京区関口 2－2－7 （東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅）		
電話番号	03－5981－9777	ＦＡＸ番号	03－5981－9789
ふりがな 公演団体名	まんさくのかい 万作の会		
代表者職・氏名	代表者 野村 万作		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒112－0014 東京都文京区関口 2－2－7 （東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅）		
制作団体設立年月	1992年 3月		
制作団体組織	役職員 **取締役社長 野村二朗** **取締役 野村武司・野村若葉子・三藤葉子**	団体構成員及び加入条件等 **(1) 団体構成員…狂言師、または修業中の者** **(2)加入条件…野村万作が各分野で必要と認めた者**	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	**小俣 美登里** **小山田 智美**
経理処理等の監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	**黒澤 理英**

制作団体沿革	1992 年株式会社として設立。 人間国宝・文化功労者の狂言師、野村万作と、その長男・野村萬斎を中心に、年 10 回程の主催公演を始め、劇場主催公演の企画制作など、国内外で公演を行い、狂言の普及に努める。 主催公演:「万作を観る会」(東京公演 1992 以前～、名古屋公演 1998～) 「狂言ござる乃座」(東京 1987～年 2 回、名古屋 1998～、京都 2006～) 「野村狂言座」(東京 1998～年 4 回) よこはま「万作・萬斎の会」(横浜 2000～) 「狂言ざゞん座」(東京 2006～) 「狂言このあたり乃会」(東京 2018～)など
学校等における公演実績	**令和元年度実績・予定** **・文京区立青柳保育園　狂言ワークショップ** **・世田谷区内小学校対象公演(狂言ワークショップ、狂言「附子」上演)　12 回** **・練馬区内小学校公演(狂言ワークショップ、袴狂言「盆山」)　8 回** **・大森第三小学校　狂言ワークショップ(狂言ワークショップ、狂言「柿山伏」上演)** **・開成中学校　狂言鑑賞会(解説と狂言 2 番上演予定)** **・芝浦工業大学附属柏中学校　狂言鑑賞会(解説と狂言 2 番上演予定)** **・東京都教育庁主催　中学・高校生対象狂言鑑賞会(解説と狂言 2 番上演予定)** **・大泉学園中学校　狂言鑑賞会(狂言ワークショップ、狂言「盆山」「附子」上演予定)** **・富士見市立本郷中学校　狂言ワークショップ　など**
特別支援学校における公演実績	**平成 26 年度本事業で、山梨県立ろう学校にてワークショップ・公演を実施。** **平成 25・27・29 年　大阪府の国際障害者交流センター　ビッグアイ主催「バリアフリー狂言会」に出演。解説と狂言 2 番をあらゆるハンディに対する鑑賞サポート付きで上演。** **令和元年度本事業で、栃木県立盲学校にてワークショップ・公演を実施予定。**

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	㊒　・　無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	㊒　・　無
		※公開資料有の場合 URL	**DVD を提出します。**
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有　・　無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　　万作の会　　】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生					
企画名	日本の伝統芸能「狂言」を楽しもう ～体験と鑑賞～					
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	【解説】　「狂言を楽しもう」(約 20 分) 【鑑賞】　狂言「盆山」(約 15 分)・狂言「附子」(約 20 分) 【共演体験】 狂言「蝸牛」より…囃子言葉の掛け合いの場面(約 20 分) ※古典狂言の作品のため、いずれも作者未詳 公演時間(休憩等の時間を含め、約 90 分)					
著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	解説「狂言を楽しもう」 日本の伝統芸能「狂言」について、その歴史や題材・内容の特徴、洗練された豊かな表現技法、舞台や装束、演目の見どころや楽しみ方を解説します。 ・狂言「盆山(ぼんさん)」 ある男が、知人の家に盆山(盆の上に風景を作った置物)を盗みに入るが、さっそく見つけられてしまう。家主は物陰に隠れた男を、盗人かと思えば猿だ、犬だとからかう。必死の物真似でごまかそうとする男だが、最後に難問を出され…。 ・狂言「附子(ぶす)」 主人に留守番を言いつけられた太郎冠者と次郎冠者。猛毒の附子が入っているので決して近づくな、といわれた桶の中身を怖々探ると、何と正体は砂糖！二人は夢中で食べてしまう。さて言い訳をどうしようと、相談を始める二人だが…。 ・狂言「蝸牛(かぎゅう)」 主人の命で、長寿の薬になる蝸牛(かたつむり)を取りにきた太郎冠者。かたつむりと間違えられた山伏は、太郎冠者をからかってかたつむりのふりをし、かたつむりの囃子言葉にのって浮かれながら家に行こうと言い…。					
演目選択理由	いずれも鑑賞を通じて狂言や日本文化の特徴が感じられ、表現する楽しみを理解しやすい演目です。「盆山」には様々な動物の物真似、パントマイム的な動きや見立て等、想像力を働かせて楽しむ、狂言の「型」による表現が多く登場します。「附子」は狂言の代表的な作品で、日常を舞台に人物の喜怒哀楽が豊かに表現される、親しみやすい演目です。「蝸牛」では謡と舞の掛け合いで、日本古来の間やリズムを楽しく体験することができます。					
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	本公演の「蝸牛」では、児童・生徒はじめ参加者全員に太郎冠者役を受け持ってもらい、その囃子言葉と浮きの所作との掛け合いで山伏役の演者が舞うかたちで共演します。事前ワークショップでは全員で囃子言葉と浮きの所作を稽古し、本公演までの期間も、出来る範囲での復習と、本公演のみ参加する児童・生徒への指導をお願いしております。本公演では最後の復習をしてから本番に臨みます。先生方にもワークショップへ積極的に参加していただき、授業の盛り上げと、復習時の指導に御協力をお願いしております。					
出　　演　　者	監修:野村　万作(重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者) 出演:石田　幸雄(重要無形文化財総合認定) 深田　博治・高野　和憲・月崎　晴夫・竹山　悠樹・野村太一郎・ 岡　聡史・中村　修一・内藤　連・飯田　豪・石田淡朗					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者:　5～6　名 スタッフ:　1　名(兼任の場合有) 合　　計:　5～7　名			機 材 等 運搬方法	積載量　２ｔ 車 長　５ｍ 台 数　１台	

【公演団体名　　万作の会　　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(40 分～1時間程度)
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>11:00</td><td>11:00～12:00</td><td>13:00～14:30</td><td>10 分</td><td>14:30～15:00</td><td>15:30</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ：20 名～200 名ほどが最も効果的です。
本公演：100 名(未満でも可)～400 名程度</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>・体育館のフロアを広く使います。見本を見せるためステージを使う時もあります。平均台や三角コーンがお借りできれば、フロアに能舞台の形を作り説明に使います。
・児童・生徒さんは、運動しやすい服装(体操服)に靴下の格好で参加をお願いします。
・狂言の歴史や特徴について説明した後、狂言のセリフ・動きの基礎を体験します。狂言の稽古にならい、挨拶から始め、指導者の真似を繰り返す形ですすめます。
・本公演で共演する狂言「蝸牛」の実演(袴狂言、部分)を鑑賞した後、囃子言葉と浮きの型を稽古します。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>・本公演と内容的につながりを持たせ、事前に狂言への理解を体験的に深めて頂くことで、本公演への興味と教育効果をいっそう高めます。
・挨拶・正座など、日本の伝統的な礼儀作法への理解を深めます。
・狂言の「型」による表現と稽古を通して、基本の大切さを感じて頂きます。
・大きな声ではっきりとセリフをいい、大きく体を動かして所作をすることで、表現することの本質的な楽しさを体感して頂ければと存じます。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>演目は変えず、解説が理解の助けとなるよう工夫します。効果的な機材、方法があればぜひ使用させて頂きたく、事前の打合せを入念にできればと存じます(ろう学校での開催の際は、結末を伏せた台本を用意し、必要な生徒さんにだけ学校側から配布していただきました)。ワークショップも、開催校の先生方と相談の上、無理なく児童・生徒の皆さんが楽しんで参加できるような形をとらせて頂きます。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

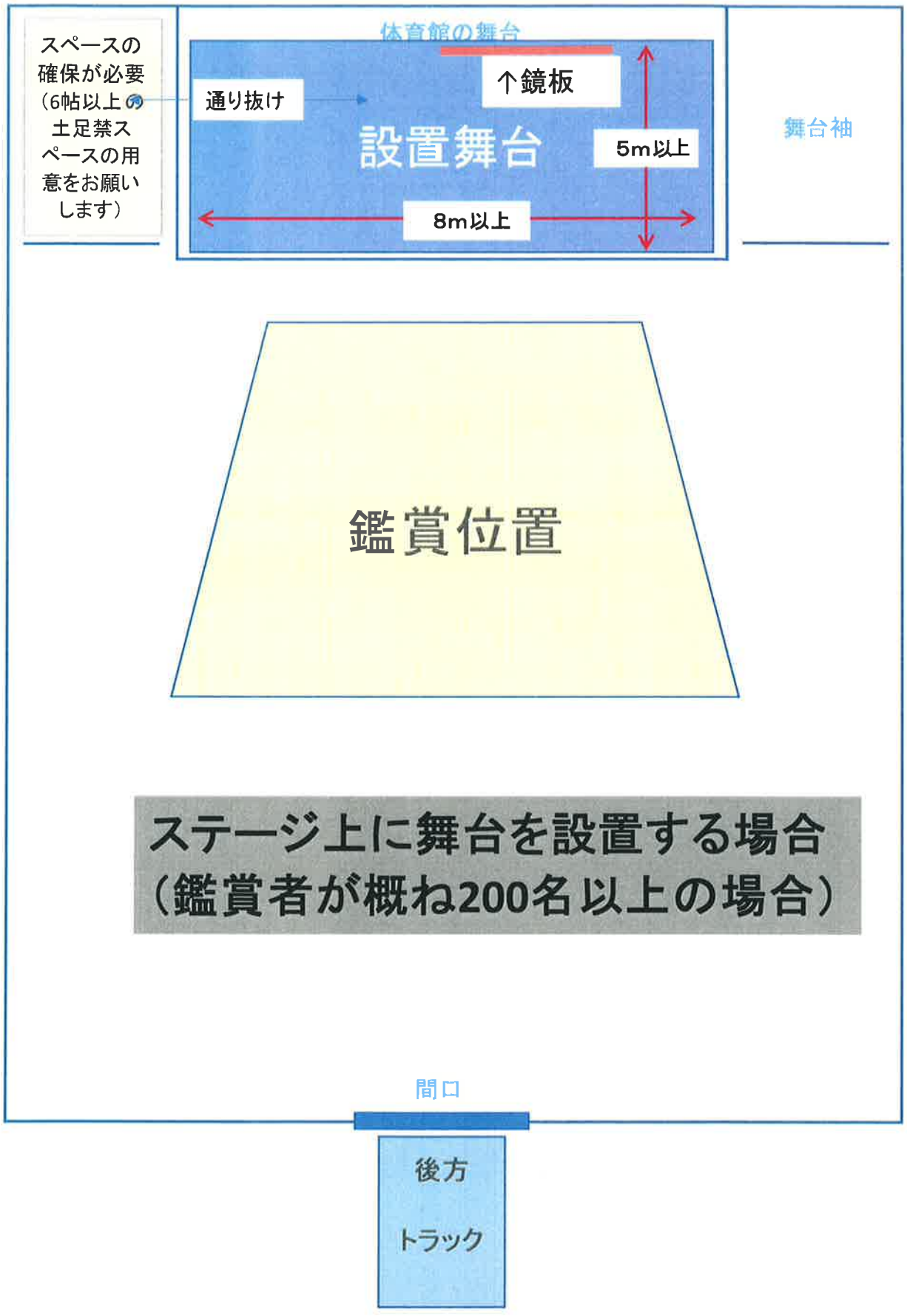
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A9	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	万作の会				制作団体名	株式会社　万作の会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	舞台の下手袖に、衣装の着付けをする「装束部屋」を設置します（6帖以上の土足禁スペース）。場所は応相談				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	乗用車　1～2台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
	／	理由			鏡板等、舞台大道具の搬入をするため				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.5m	高さ	1.8m			
WSについて	可	参加可能人数			20名～200名程度が最も効果的です。				
	可	学年の指定の有無＊			なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分			基本的に90分				
本公演について	／	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			400名程度まで				
	可	舞台設置場所＊			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	5m	高さ	指定なし	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	不可		舞台袖スペースの条件＊		舞台下手（向かって左側）袖に、装束部屋として6畳以上のスペースの確保が必要				
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可				
	―	公演に必要な電源容量		不要	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
		舞台をステージ上に設置する場合、ピアノを含めステージ上にはできるだけ物がないことが望ましいですが、演技・鑑賞の妨げにならなければ置いたままでも結構です。							

会場図面(表記単位:メートル)

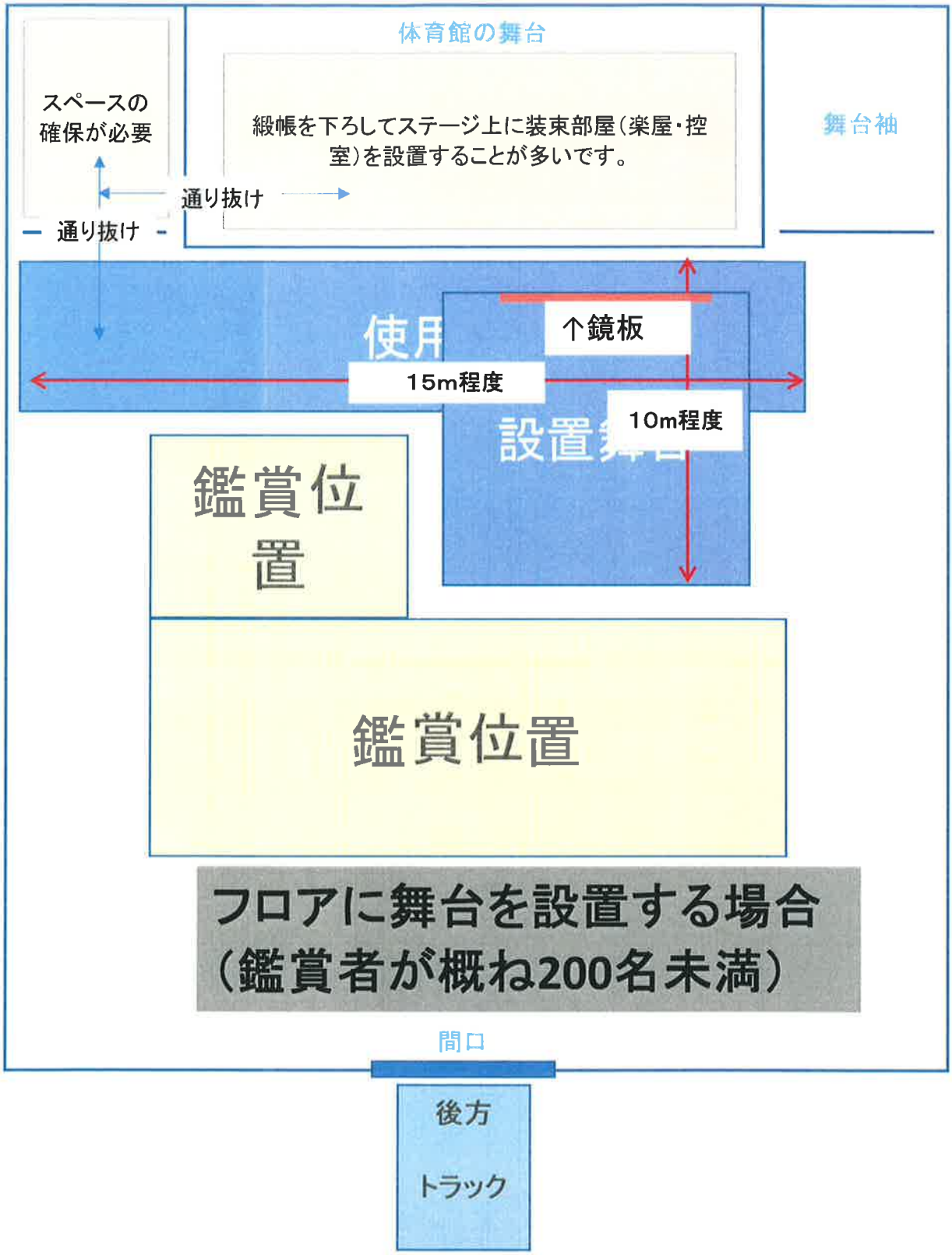


ステージ上に舞台を設置する場合（鑑賞者が概ね200名以上の場合）

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

上演内容

【解説】「狂言を楽しもう」（約20分）

【鑑賞】狂言「盆山」（約15分）

【鑑賞】狂言「附子」（約20分）

【共演】狂言「蝸牛」（約20分）―大きな声で囃子言葉を唱えて一緒に浮かれよう！

狂言「盆山」　…登場人物：2人（男，何某）

ある男が、流行りの盆山（お盆の上に風景を作った置物）を盗もうと知りあい（何某）の家に忍び込むが、すぐに見つかってしまい物陰に隠れる。家主は隠れている男に、あれは盗人ではない、猿だ、犬だと言ってからかう。男は必死に動物の物真似をしてごまかそうとするが、最後に難問を出され…。

動物の物真似や、パントマイム的な動き、見立てなど、狂言の特徴的な「型」がたくさん登場する演目です。想像力を膨らませてご覧ください。

言葉の説明

ぼんさん[盆山]…箱庭のように、盆や浅い鉢の上に石や砂で山の形などを作ったもの。

あんない[案内]…あいさつすること。

しわいひと[吝い人]…けちな人。

よしがき[葭垣]…葦を結んで作った垣。

つぼ[坪]…中庭。

ひとおと[人音]…人のいる音、気配。

なむさんぼう[南無三宝]…驚いたり、失敗にきづいた時に発する語。大変だ。

なぶる[嬲る]…からかう。

みぜせり[身ぜせり]…身体を細かく動かすこと。

狂言「附子」　…登場人物：3人（太郎冠者，主，次郎冠者）

太郎冠者と次郎冠者は主人（主）から留守番を言いつけられる。二人は主人から、猛毒の附子が入っているので決して近づくな、といわれた桶の中身が気になって仕方がなく、何とか桶の中を見ようと知恵を絞る。ようやく中を見ることに成功すると、今度はそれを食べてみたいと太郎冠者が言い出して…。

とんち話でも有名な、狂言の代表的な演目です。太郎冠者と次郎冠者の活躍とともに、「型」を使って豊かに表現される登場人物たちの喜怒哀楽にご注目下さい。

言葉の説明

ぶす[附子]…トリカブトという草の根を乾かして作った毒薬。

めっきゃく[滅却]…死ぬこと。

じゅもん[誦文]…まじない。

きのどく[気の毒]…心配事。

どうしんでない[同心でない]…賛成しない。

わざをするものはかならずだまる［業をする物は必ず黙る］…ことわざ。祟りをするような者は決して騒ぎ立てたりせず、黙ってしずかに物事をするという意味。

りょうぜられる…魅了される。とりこにされる。

さとう[砂糖]…当時は黒砂糖。水あめの状態で保存されており、貴重品であった。

よいことめされた…実は良くないことを、わざと反対に言うことば。

きこえぬ[聞こえぬ]…道理のない。わからない。

ざれごと[戯れ事]…冗談。

もっけいおしょう[牧谿和尚]…中国の絵描きの僧。その絵は日本でも好まれた。

ひそう[秘蔵]‥大切にしまってある物。
だいてんもく[台天目]‥台にのせた大きな天目茶碗。
てどり[手取]‥相撲が上手な人。
なんぼう‥どれだけ。いかほど。
かしらかたの[頭固の]‥丈夫な。頑丈な。
がっきめ‥こいつめ。
おうちゃくもの[横着者]‥ずるい奴。

狂言「蝸牛」 ―共演体験―

主人の祖父のため、長寿の薬になるというかたつむり（蝸牛）を取りにきた太郎冠者に、かたつむりと間違われた山伏（山で修行して超能力を身につけた僧）が、かたつむりのふりをして、太郎冠者と一緒に囃子言葉で浮かれる場面を演じます。

★児童・生徒の皆さんは、太郎冠者になって、大きな声で山伏を囃してください。

山伏：さあさあ、囃せ囃せ
太郎冠者：心得ました。雨も風も吹かぬに　でざかまうちわろ　でざかまうちわろ
山伏：でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし
太郎冠者：雨も風も吹かぬに　でざかまうちわろ　でざかまうちわろ
山伏：でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし。でんでんむしむし
〈後、演技が終わるまでくりかえし〉

※でざかまうちわろ…「でざ」は「出ずば」の縮まったもの。「かま」は「殻」のこと。
「出てこないなら、殻を打ち割るぞ」という意味。

鑑賞の手引き―「狂言を楽しもう」

狂言は、650年ほど前、室町時代に能とともに成立した、日本特有の伝統芸能です。能と狂言を合わせて「能楽」といいますが、能が伝説や歴史物語を謡（歌）と舞で表現する幻想的な劇であるのに対し、狂言はセリフとしぐさで写実的に話が進む、喜劇的な対話劇です。題材も私たちの身の回りで実際に起こるような小さな事件であることが多く、能と違って歴史上の人物はほとんど登場しません。

おろかな大名、たくましい家来、口うるさい妻、こけおどしの山伏、気弱な鬼、はては猿、狐、狸、蚊の精までが登場し、日常生活の中で人間誰もが感じたことがありそうな心の動きを、洗練された笑いに表現しています。この狂言の笑いこそ真に人間らしい感情の表出であり、人間への賛歌であると言えるでしょう。

また、狂言は非常に優れた演技術を「型」として持っています。声を使うにも、しゃべる・語る・謡うという技があります。身体技術でもアクロバティックな技もあれば、様式的な舞もあり、またパントマイムのような写実的な所作もあります。

狂言は「素手の芸」と言われます。道具をほとんど使わず、声と身体だけで空間や時間を埋め、ないものをあるように見せるのです。想像力を働かせて自由にご覧下さい。

能舞台での上演のようす

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する**種目**に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, (邦楽), 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　(A区分のみ)・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ こてんくうかん 有限会社 古典空間		
代表者職・氏名	代表取締役 小野木豊昭		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒151－0062 東京都渋谷区元代々木町 10-2 西俣ビル 1F (小田急線及び東京メトロ千代田線・代々木上原駅徒歩 5 分)		
電話番号	03−5478−8255	FAX 番号	03−5478−8267
ふりがな 公演団体名	ほうがくはやしかたしゅうだん わかじしかい 邦楽囃子方集団 若獅子会		
代表者職・氏名	代表 福原百之助		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒168-0081 東京都杉並区宮前 4-22-5 (京王井の頭線・久我山駅 徒歩 10 分)		
制作団体設立年月	平成 10 年 5 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 小野木豊昭	制作スタッフ 3 名、舞台スタッフ 3 名 伝統芸能の普及・振興に寄与することを志す 23 歳以上の男女	
事務体制の担当	(専任)・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	**佐藤拓矢**
経理処理等の監査担当の有無	(有)・ 無	経理責任者名	**大貫信子**

制作団体沿革	1990 年、伝統芸能企画制作オフィス＜古典空間＞を設立。 1998 年、法人化。 各種邦楽、日本舞踊など伝統芸能を専門に、全国各地における自治体の文化事業、公共ホール自主事業公演の企画・制作、学校公演や外務省等の海外公演コーディネート、各種イベントのプロデュース・企画・制作を行う。主な業務実績として、茨城県小美玉市における学校アクティビティ(アウトリーチ)事業(2003～2017)。東京都他主催＜東京発・伝統 WA 感動＞より『三弦 海を越えて』『邦楽ワンダーBOX』等の企画・制作。東京スカイツリーオープニングイベントの制作(2012)。アーツカウンシル東京主催『神楽坂まち舞台・大江戸めぐり』の制作(2013～)、徳島県文化振興財団主催『徳島邦楽ルネッサンス』諸公演の制作(2015～)など。2018 年 3 月、文化庁委託事業として(公社)全国公立文化施設協会より『劇場・音楽堂等 伝統芸能事業企画制作ハンドブック』刊行(代表・小野木豊昭ら編集委員)。
学校等における公演実績	平成 25 年～27 年、29 年～30 年度 文化庁・巡回公演事業 (文化芸術による子供の育成事業)。 現在、平成 31 年度、同事業実施中。 平成 17 年～26 年 茨城県小美玉市学校アクティビティ事業:市内の幼稚園、小・中学校 毎年巡演。 平成 18 年度～現在 新潟県十日町市立南中学校邦楽観賞教室。 平成 22 年度～現在 東京都北区スクールコンサート。 他、全国各地の幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校、大学での鑑賞教室、ワークショップなど多数実施。
特別支援学校における公演実績	平成 29 年度 文化庁・巡回公演事業(文化芸術による子供の育成事業)にて実施。 平成 30 年度 文化庁・巡回公演事業(文化芸術による子供の育成事業)にて実施。 平成 31 年度 文化庁・巡回公演事業(文化芸術による子供の育成事業)にて実施予定。

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　　邦楽囃子方集団 若獅子会】

対象 象	小学生（低学年・中学年・高学年）　・　中 学 生
企画名	打てや、囃(はや)せや、邦楽囃子(ほうがくばやし)！ ～ようこそ！お囃子(はやし)の世界へ～
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	①「邦楽囃子を聴いてみよう！」 『一番太鼓』『着到(ちゃくとう)』『若獅子三番叟(わかじしさんばそう)』 ★多くの伝統芸能を支えてきた邦楽囃子！ ★カッコイイ！日本の〈打楽器〉〈かけ声〉そして〈笛〉 ②「邦楽囃子って？ その一」 ★日本の〈打楽器＆笛〉今日からキミも“お囃子博士！” ・・・・・・・・・楽器解説 ③「邦楽囃子って？ その二」 ★黒御簾(くろみす)ってなに？ 普段見ることができない御簾の中を大公開！ 舞台を支えるBGM、効果音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・情景描写 ★お囃子が描く日本の昔話、その名も「若獅子桃太郎」！ スライドで映す紙芝居を、打楽器と笛で彩ります！・・・・・・・・心情・情景描写 ④「ワークショップ体験発表コーナー」 ★締太鼓メドレー！ がんばった友だちを応援しよう！ ⑤「みんなでチャレンジ！」（児童・生徒全員体験） ★譜面がなくても、すぐに演奏できる！・・・・・・・・・・・・・・・「（口）唱歌(くちしょうが)」のヒミツ体験 ★指揮者がいなくても、演奏がピッタリ揃う！・・・・・・・・・・・・「かけ声」のヒミツ体験 ⑥「ここだけの！・・・邦楽囃子のみによる〈囃子組曲〉」 『勧進帳(かんじんちょう)』『鏡獅子(かがみじし)』等 ★ほとばしる迫力とスピード感・・・火花散る演奏を体感！　公演時間 80 分 監修：茂手木潔子（上越教育大学名誉教授／日本音楽研究者）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演目概要	**①「邦楽囃子を聴いてみよう！」　『一番太鼓』　『着到（ちゃくとう）』　『若獅子三番叟（わかじしさんばそう）』** ★多くの伝統芸能を支えてきた邦楽囃子！ ★カッコイイ！日本の〈打楽器〉〈かけ声〉そして〈笛〉 ・邦楽囃子は、音楽のリズム部門を担当するだけではなく、歌舞伎などのお芝居で、儀式音楽、役者の心情や情景を表現するなど大切な役割を受け持っています。 ・公演の始まりを告げる演奏『一番太鼓』。威勢よく打つその音は「(お客さま)ドンドンドント来い！」と聞こえるような縁起を担ぐ意味も含まれています。 また看板役者が到着する合図の『着到』などもわかりやすく解説します。 ・五穀豊穣を祝う「三番叟」を若獅子会がアレンジした、邦楽囃子のエッセンスがたっぷりつまった曲 『若獅子三番叟』で、邦楽囃子のカッコよさをまず体感していただきます。 **②「邦楽囃子って？　その一」** ★日本の打楽器と笛！今日からキミも“お囃子博士！” ・「四拍子（しびょうし）」と言われ、能のお囃子より派生し、歌舞伎を支える三味線音楽と共に発展してきた邦楽囃子。そんなお囃子チームを構成する「太鼓（たいこ）」「大鼓（おおつづみ）」「小鼓（こつづみ）」「笛（ふえ）」。 「雛祭り」の五人囃子。上記イラストは舞台下手からの並び方。 日本の文化とも関連づけて解説します 4種類の楽器の「どんな歴史？何からできている？どうやって音を出す？」など、わかり易く楽しく解説します。楽器は工芸品！先人たちが生み出した「隠された秘密」などをスクリーンを用いてお伝えします。 *映像で舞台の模様を映します*

③「邦楽囃子って？　その二」

★黒御簾（くろみす） ってなに？　普段見ることができない御簾の中を大公開！
　舞台を支える BGM、効果音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・情景描写

★お囃子が描く日本の昔話、その名も「若獅子桃太郎」！
　スライドで映す紙芝居を、打楽器と笛で彩ります！・・・・・・・・心情・情景描写

・歌舞伎、文楽など日本のお芝居では、舞台に出ず、芝居を支える演奏があります。それは効果音、BGM で舞台を彩る「黒御簾音楽」。**普段は絶対見られない御簾の中を特別に**お見せします。
さらに紙芝居とお囃子のコラボレーション！登場人物の心を描き出します。
紙芝居と連動させながら お囃子で風景や季節などさまざまな情景を演奏で表現します。
邦楽囃子の魅力を体感するコーナーです。

④「ワークショップ体験発表コーナー」

★締太鼓メドレー！　がんばった友だちを応援しよう！

・「四拍子」の中でも、“打てば響く”締太鼓！事前に実施したワークショップでお稽古をした児童・生徒の皆さんが、歌舞伎や邦楽演奏会の **一線で活躍する先生たちと競演** を果
　たします。

―本物の衣裳をつけてハレの舞台！―

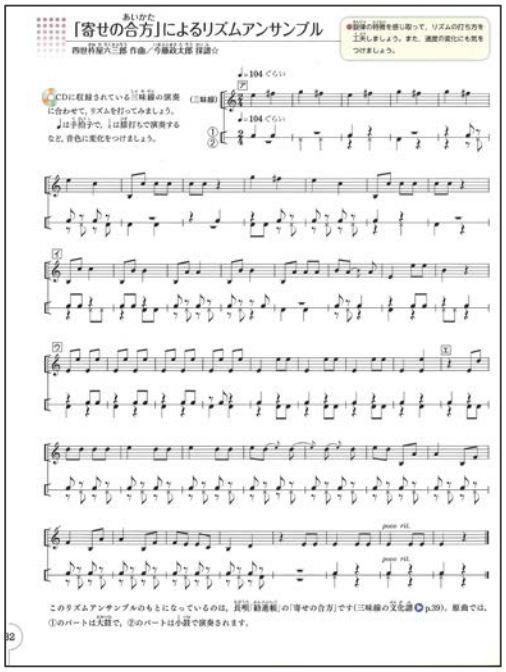
⑤「みんなでチャレンジ！」　（児童・生徒全員体験）

★譜面がなくても、すぐに演奏できる！・・・・・・・・・・・・・・・・・・「唱歌（しょうが）」のヒミツ体験

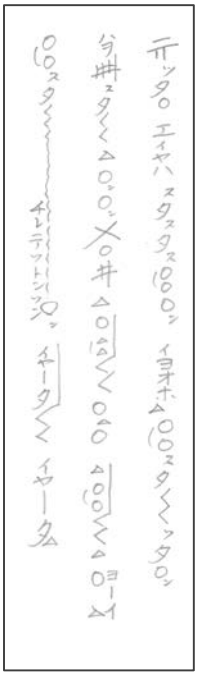
★指揮者がいなくても、演奏がピッタリ揃う！・・・・・・・・・・・・・「かけ声」のヒミツ体験

・日本の楽器を習得する上で欠かせないのが「唱歌(しょうが)」。鼓は「ポンポンスポポン」笛は「ヲヒャーラーイヒウヤー」・・・唱歌が言えれば、楽器がなくてもお稽古ができたり、楽譜がなくても曲を覚えられるスーパーシステムなのです！
・唱歌を譜面に表したものをツケと言います。学校で教わる譜面は五線譜ですが、日本独自の譜面の読み方もお伝えします。覚えたツケを活用しながら児童・生徒の皆さん全員に、長年受け継がれてきた口伝を体験していただきます。
・また演奏中に発する大迫力の「かけ声」も一斉にお稽古します。日本の音楽における演奏とかけ声の切っても切れない関係を体感していただきます。思い切り声を出し、元気いっぱいの賑やかな時間と空間を共有できるコーナーです。

ちなみに、以下左は中学音楽の教科書に記載してある『勧進帳』「寄せの合方」の五線譜の譜面です。対して右側は邦楽囃子の譜面であるツケです。『中学校・学習指導要領』（文部科学省）の音楽においては「我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の多様性を理解して、鑑賞すること」とあります。
日本と西洋の譜面を対比させながら、古典の名曲に理解を深めることも考えております。



← 同じ箇所 →



	～教育芸術社より～　　～『勧進帳』「寄せの合方」のツケ（譜面）～ **⑥「ここだけの！…邦楽囃子のみによる囃子組曲」　『勧進帳』＆『鏡獅子』** ★ほとばしる迫力とスピード感・・・火花散る演奏を体感！ ・日本の伝統音楽を代表する名曲『勧進帳』と『鏡獅子』をメドレーで演奏します。普段「唄・三味線」と一緒に演奏される演目ですが、今回は特別に囃子のみでの演奏です。ドラムやパーカッションとはまた違った、邦楽囃子のカッコよさを理屈抜きで感じていただけると確信しています。 『勧進帳』『鏡獅子』の演奏終了後は、お芝居の世界の約束事にしたがって、公演の終了をお知らせする『打ち出し』を演奏します。
演目選択理由	●分かり易いプログラムで伝統芸能に対する先入観を払拭できる。 ●邦楽囃子が、歌舞伎や三味線音楽の中で果たす役割を多角的に知っていただける。 ●邦楽囃子「四拍子」の構造を、楽しみながら理解できる。 ●現代の日常生活との関わりから導入ができる。 ●『勧進帳』は、中学校の音楽の教科書にも採り上げられている楽曲であり、生徒には馴染み深い演目と考えられる。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	●児童・生徒にとって馴染みやすいと考えられる＜締太鼓＞を選択。本番の「体験発表コーナー」では、児童・生徒の太鼓に、プロ演奏家の小鼓、大鼓、笛が参入して、四拍子の一員として共演していただきます。 ●全員体験では、邦楽囃子の各楽器のみならず邦楽全般の稽古に必須の「唱歌（しょうが）」、そして、各楽器の演奏を支える「かけ声」の体験をしていただき、日本の伝統音楽における伝承の方法と構造の一端をお伝えします。とくに「唱歌」においては、児童・生徒の声に合わせて、実際に邦楽囃子の演奏をかぶせるなど、唱歌の意味と価値を体感できます。 **出演者と児童・生徒とが常に一体となって** 80 分間を過ごせる演出で展開します。
出　演　者	邦楽囃子方集団＜若獅子会＞　※五十音順 堅田　喜三郎／藤舎　呂凰／福原　貴三郎／福原　鶴之助／福原　百貴 福原　百之助／鳳聲　晴久／望月　左太寿郎／望月　正浩　他

公演出演予定者数（1公演あたり）	出　演　者:　10 名 スタッフ:　8 名 合　　計:　18 名	機材等運搬方法	積載量　1.5tハイエース 車　長　　5m 台　数　　3 台

【公演団体名　　邦楽囃子方集団　若獅子会】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。

会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安

前日仕込み(有 ・(無)) 会場設営の所要時間(2 時間半程度)

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
9 時 過ぎ	9 時半～12 時	13 時～14 時半	5～10 分	14 時半～16 時	16 時

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。

児童・生徒の参加可能人数

ワークショップ	300 人
本公演	1000 人

ワークショップ実施形態及び内容

●前半は、本番の導入としてのデモンストレーション演奏、楽器の種類と扱い方などの解説、「唱歌」「かけ声」の実演と解説、選抜された児童・生徒に担当してもらう「締太鼓」。実演などを中心に構成します。(前半は全学年などの大人数でも可能)

●後半は、選抜された児童・生徒に、太鼓の演奏(構え方、バチの扱い方、打ち方)を指導。さらに本番で共演する楽曲の稽古をします。
本番までの期間、稽古用の太鼓と参考 DVD を貸与して稽古を積んでいただきます。

ワークショップ実施形態の意図

●邦楽囃子の各楽器＜小鼓、大鼓、太鼓、笛＞に、児童・生徒が初めて接することを前提に、できるだけ近距離で「観る」「聴く」、さらに実際に「触れて」いただくことを旨とし、興味の醸成に努めます。

●楽器や演奏に触れるだけではなく、紋付袴姿の若手演奏家の姿勢や挨拶などの身のこなし、言葉遣いなどに身近に接していただくことで、伝統文化の奥深さや日本文化に対するアイデンティティーを感じていただきます。

特別支援学校での実施における工夫点

●楽器に触れていただく他、手拍子や足拍子などわかり易い基本動作を中心に児童・生徒全員が参加して一体感を感じる雰囲気をつくり進行します。

●説明的要素を省き「感じる、楽しむ」をコンセプトに、対象児童・生徒の状況を鑑み、学校の希望をできる限り尊重し、綿密なコミュニケーションを図りながら構成します。

実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

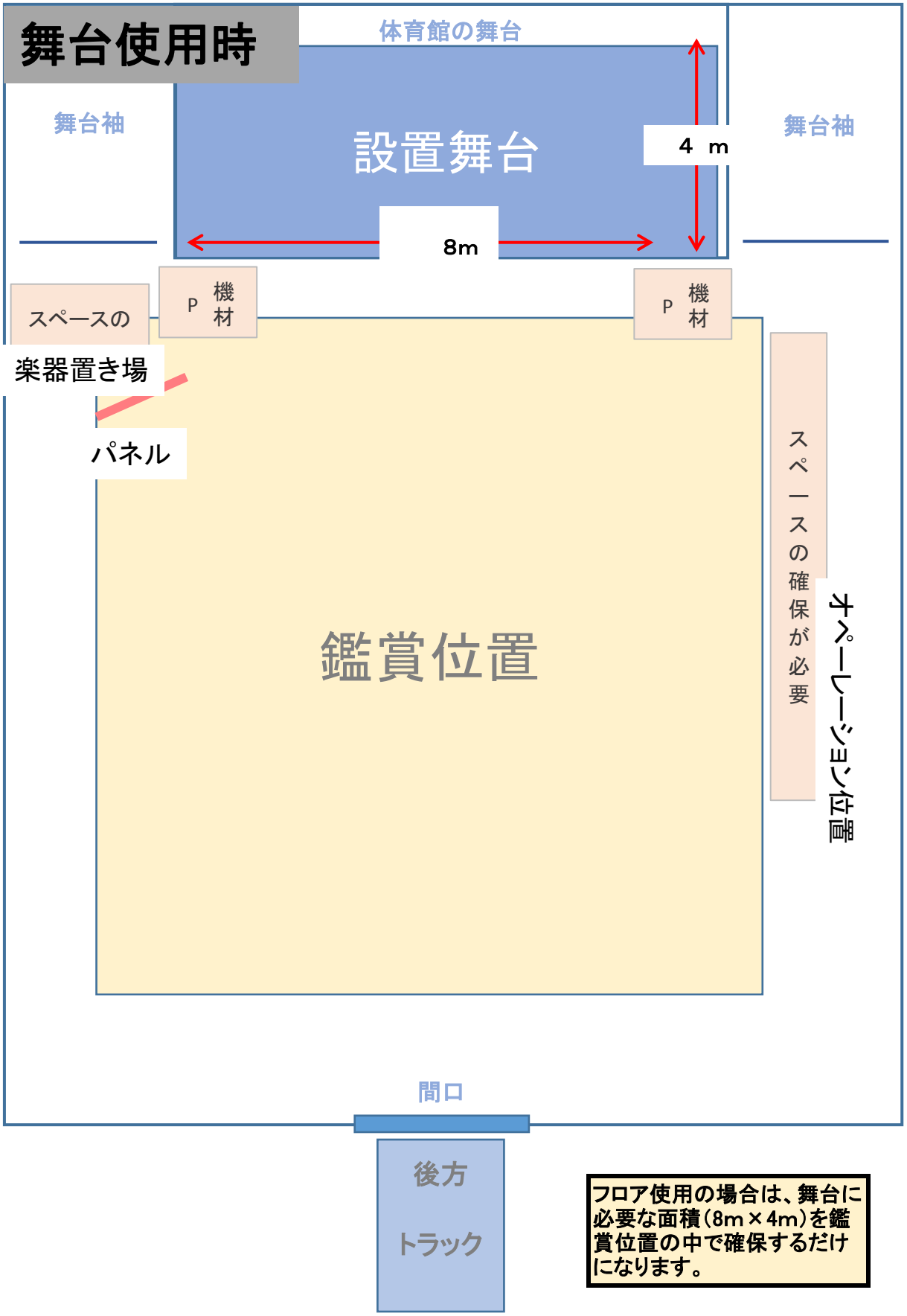
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A10	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	邦楽囃子方集団　若獅子会				制作団体名	有限会社　古典空間			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	着替えを兼ねるので、カーテンがあると有り難いです。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　3台		小型バス　1台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			バン3台				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
		理由			楽器や重い備品があるため				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m		高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		100人程度まで					
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊		高学年		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		1000人程度まで					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	4m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	できるだけ荷物がない状態					
	可		緞帳＊	不要		バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	照明効果を使用するため			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	可		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		100a	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



フロア使用の場合は、舞台に必要な面積(8m×4m)を鑑賞位置の中で確保するだけになります。

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

邦楽囃子方集団 若獅子会

堅田喜三郎、藤舎呂凰、福原貴三郎、福原鶴之助、福原百貴
福原百之助、望月左太寿郎、望月正浩、鳳聲晴久　（五十音順）

日本舞踊や長唄などの三味線音楽で打楽器や笛を担当する者を邦楽囃子方と称します。
同世代の囃子方が集まる事で、切磋琢磨しそれぞれの芸を高め合い古典芸能である邦楽を学び、次代に伝統を伝える事を使命としながらも、今の時代、これからの時代に向けて新しい表現をしていきたい，そしてこの素晴らしい日本の文化を子どもたちをはじめとして少しでも多くの方に感じて頂きたい・・・そんな思いを持つ若手邦楽囃子方が流派を超えて集まり結成したのが「若獅子会」です。2016 年 オリジナル楽曲『若獅子Ⅰ』が、公益財団法人 日本伝統文化振興財団より「中島勝祐創作賞」を受賞。2018 年公益財団法人 日本文化藝術財団より「想像する伝統賞」を受賞。

巡回順	日付	実施校	都道府県・政令指定都市	市区町村名	実施校以外の地元主催者
1	6月12日(火)	白子町立白潟小学校	千葉県	白子町	千葉県教育委員会/白子町教育委員会
2	6月13日(水)	袖ケ浦市立蔵波小学校	千葉県	袖ケ浦市	千葉県教育委員会
3	6月14日(木)	千葉市立院内小学校	千葉市	中央区祐光	千葉市教育委員会
4	6月18日(月)	板橋区立板橋第七小学校	東京都	板橋区	東京都/板橋区
5	6月19日(火)	鎌ケ谷市立五本松小学校	千葉県	鎌ケ谷市	千葉県教育委員会/鎌ケ谷市教育委員会
6	11月21日(水)	つくば市立竹園西小学校	茨城県	つくば市	茨城県教育委員会
7	11月22日(木)	笠間市立岩間第三小学校	茨城県	笠間市	茨城県教育委員会/笠間市教育委員会
8	11月26日(月)	東京都立青峰学園	東京都	青梅市	東京都
9	11月27日(火)	山梨県立ふじざくら支援学校	山梨県	富士河口湖町	山梨県/山梨県教育委員会
10	11月28日(水)	北杜市立甲陵中学校	山梨県	北杜市	山梨県/山梨県教育委員会
11	12月3日(月)	古河市立上大野小学校	茨城県	古河市	茨城県教育委員会/古河市教育委員会
12	12月4日(火)	古河市立三和東中学校	茨城県	古河市	茨城県教育委員会/古河市教育委員会
13	12月5日(水)	下妻市立下妻中学校	茨城県	下妻市	茨城県教育委員会
14	12月6日(木)	江東区立第五大島小学校	東京都	江東区	東京都/江東区

知ってますか？～ 10 月 1 日は「国際音楽の日」です～
1977 年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の 1978 年から毎年 10 月 1 日を世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994 年から毎年 10 月 1 日を「国際音楽の日」と定めています。

文化庁

文化芸術による子供育成総合事業
じゅんかいこうえんじぎょう
―巡回公演事業―

打てや、囃せや、邦楽囃子！
～ようこそ！お囃子の世界へ～

「文化芸術による子供育成総合事業 － 巡回公演事業 －」
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。又、実演では、できるだけ子供たちに参加してもらいます。

■企画／構成	小野木豊昭（古典空間） 若獅子会
■舞台監督／大道具／音響／照明	Whoopee Connection
■楽器協力	㈱岡田屋布施
■イラストデザイン	須賀竜太
■制作	㈲古典空間

邦楽囃子ってなに？

皆さん、「邦楽囃子」をご存知ですか？
一般に、外国の音楽のことは「洋楽」、日本の音楽のことは「邦楽」といわれています。
また「囃す」という言葉がありますが、これは唄や踊りを盛り上げるために、演奏やかけ声などでその場を賑やかすという意味です。お祭りにいった時、笛や太鼓による賑やかな演奏を聞いたことがありませんか？これは「祭囃子」といいます。
日本には昔からいろいろな音楽や演劇が伝承されています。その中でも三味線を使った音楽や歌舞伎、日本舞踊などの芸能で、太鼓などの打楽器や笛を用いて盛り上げる役割のことを「邦楽囃子」と言います。

役割① オーケストラの打楽器やロックバンドのドラムのように、三味線音楽に乗せて打楽器を演奏し、曲の盛り上がりや雰囲気を作る

役割② 効果音として雨や風などの自然の音や風景、登場人物の気持ちを表現する

役割③ お芝居の始まりを告げるなど、学校のチャイムのように、物事の合図をする

本公演メニュー

① 邦楽囃子を聴いてみよう！
★カッコイイ！日本の打楽器、かけ声、そして笛

② 邦楽囃子って？～楽器について～
★日本の〈打楽器＆笛〉今日からキミも“お囃子博士！”

③ 日常の音や自然を音で表現すると…
★邦楽囃子の得意ワザ！打って吹けば“絵が見える！”
★お囃子が描く日本の昔話！登場人物の表情がイキイキと！

④ ワークショップ体験発表コーナー
★締太鼓メドレー！がんばった友だちを応援しよう！

⑤ みんなでチャレンジ！かけ声と唱歌体験
★お囃子マスターになれる魔法の言葉！

⑥ 邦楽囃子のみによる〈囃子組曲〉！
★日本の〈打楽器＆笛〉スーパーセッション！

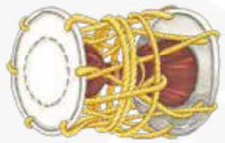
どんな楽器？

「邦楽囃子」は〈太鼓〉〈大鼓〉〈小鼓〉〈笛〉を中心に構成されています。
これらは「四拍子」と言います。

太鼓

桶型の胴を二枚の牛革で挟み、麻の紐で締め上げます。
打面中央バチの当る部分に鹿の革を貼ります。太バチ、細バチの二種類があります。

大鼓



小鼓と同じ構造ですが、少し大きく作られていて高音が特徴。左の太ももの上に置き指革をつけた右手で水平に打ちます。

小鼓

砂時計のような形をした胴（中は空洞）を二枚の馬革で挟み、麻の紐で締めます。左手で右肩にのせて右手で下から打ち上げます。

笛

邦楽囃子では能のお囃子で使う硬く鋭い音色の＜能管＞と祭囃子などに使い柔らかい音色で細かい旋律を吹ける＜篠笛＞が使われます。

Ⅵ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する**種目**に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, [演芸]

申請する区分に, ○を付してください。　　A区分のみ ・ [A区分とB区分の両方] ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　[あ り] ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

[(1)] 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ ようごうしゃ 株式会社 影向舎		
代表者職・氏名	代表取締役　小池岳士		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒243-0005 神奈川県 厚木市 松枝1丁目4番7号 (小田急線・本厚木駅より徒歩 10 分)		
電話番号	046-297-0255	ＦＡＸ番号	046-297-0256
ふりがな 公演団体名	めばえよせ　　まるまるてい めばえ寄席 「○○亭」 ＊○○は生徒さんの公募により決定。		
代表者職・氏名	代表取締役　小池岳士		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒243-0005 神奈川県 厚木市 松枝1丁目4番7号 (小田急線・本厚木駅より徒歩 10 分)		
制作団体設立年月	昭和60年　3月		
制作団体組織	役職員 代表取締役　小池岳士 取締役　　小池将直 他	団体構成員及び加入条件等 制作スタッフ:11名 舞台スタッフ:12名	
事務体制の担当	[専任] ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	吉川啓介
経理処理等の監査担当の有無	[有] ・ 無	経理責任者名	小池弘美

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td>《社是:「人と芸をつなぐ」 社訓:誠意・信念・正義》

学校公演において全国一位の公演数を有する製作者集団。昭和60年の創立以来、日々社是、社訓を見つめ直し“初めて鑑賞する人にどのように芸の魅力を伝えるか” このテーマを34年間に亘り追究、実施を繰り返し、今後も追い続ける。
創立当初は落語、狂言の公演活動から始まり、その後お客様のニーズに応えるべく日本の芸能である講談、能、邦楽、また演劇、京劇、オーケストラなどジャンルを増やしてきた。どの芸能にしても単に出演者を右から左に動かすのではなく、企画制作から公演が終了するまでのトータルプランニングを行う。それぞれの舞台を充実させるため、社内では営業部・制作部・デザイン部・舞台部を機能的に編成。各部がひとつひとつの公演を成功させるべく、万全の状態でお客様をバックアップする体制を整えている。
現在では、年間公演数が600を超え、学校公演では業界随一の実績を更新し続けつつ、他に教育委員会、公文協、老人ホーム、TV、ラジオ、ホテル、国際交流基金や大使館主催などによる海外公演(平成27年 6 月・イタリアローマのパラディウム劇場に、影向舎の能舞台を輸出し、舞台設営・監督業務を兼ねて、狂言公演を実施)など多方面で公演活動を行っている。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td>平成23年度＝220公演、平成24年度＝240公演、平成25年度＝240公演、
平成26年度＝250公演、平成27年度＝250公演、平成28年度＝250公演、
平成29年度＝250公演、平成30年度＝250公演、令和元年度＝230公演
上記は弊社、学校公演の寄席(落語)鑑賞会の実績となります。
※寄席(落語)分野(学校公演)では、NO.1。業界随一の実績を誇ります。
※平成21年度～令和元年度「北海道巡回小劇場」に11年度連続で参加。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td>【めばえ寄席・公演実績】
平成 29 年 10 月 10 日(火) 熊本県立天草支援学校にて公演。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="6">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公　演　・　ワークショップの内　容　　【公演団体名　めばえ寄席「〇〇亭」】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中　学　生
企画名	めばえ寄席「〇〇亭」＊〇〇は生徒さんの公募により決定。
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	

公演の前／後／休憩中

Point!

④ 展示・体験コーナーで公演時間外もお楽しみ

体育館に展示・体験コーナーを設けます。会場を賑やかし、雰囲気を盛り上げながら、ワークショップで学んだことを楽しみ、体験しながら思い出してもらうことができます。

【 寄席体験市 】実際に体験して分かる、楽しさ、難しさ

手ぬぐい、扇子を用意します。見本のパネルを見ながらチャレンジ。

◎ミニ高座、落語体験ブース

誰でも体験できるよう、ミニ高座と手ぬぐい・扇子を設置。
自由に高座に上がって、ワークショップで教わった落語の仕草にチャレンジ。
仕草の見本として、噺家のお手本動画を再生いたします。
また併設するパネルには数種類の代表的な仕草のイラストを展示。
扇子を箸に見立ててそばを食べたり、手ぬぐいを本に見立てて、本を読んだりしてみよう。
若手落語家が立ち会いますので、仕草のアドバイスをいたします。

◎下座音楽ブース

下座音楽で仕様する楽器を用意します。自由に触れて、弾いて、叩いて、吹いてみてください。思ったよりも難しいことが分かります。

三味線３丁、太鼓３張、笛５本を用意します。

【 寄席展示コーナー 】普段見ることができない寄席の裏側・手ぬぐいの展示

◎寄席（新宿末広亭）の紹介写真展

現存するなかでは最も古い木造建築の寄席「新宿末広亭」。
新宿末広亭ご協力のもと、
めばえ寄席の為に撮りおろした写真を展示。
その入り口から楽屋まで解説文を交えてご紹介します。
通常見ることのできない、舞台の裏側や楽屋を覗いてみよう。

◎噺家手ぬぐい展

落語家さんの手ぬぐいを展示。
個人によって、様々な趣向（柄や絵）が凝らされていて観ているだけでも面白いものです。

Point!

⑤ 雰囲気たっぷりの本格的な寄席舞台を設営

子供達を見る気に、出演者をやる気にさせる、本格的な寄席舞台を体育館に設営。
音響は落語用に特別チューニングされたマイク、スピーカ等を使用。
また、持ち込みの照明で舞台を照らします。

Point! ⑥「めばえ寄席」プログラムの3つの要素

一.【江戸落語と上方落語】

落語には江戸（東京）落語と上方（大阪）落語が有ります。言い回し、雰囲気など、特色が異なる落語を組み合わせることにより、プログラムに変化を与え、楽しんでいただくことができます。

二.【色物が２題】

子供達に人気の色物２題を構成。それぞれ違うタイプの演目で構成し、最後まで飽きずに鑑賞していただくことができます。

※色物とは寄席において落語と講談以外の芸を指します。寄席の看板で、落語、講談の演目は黒文字で書かれていたのに対して、それ以外は色文字（主として朱色）で書かれていたのが、この言葉の起源といわれています。

三.【スピーディーなプログラム展開】

プログラムの一つ一つの時間を短く設定してありますので、内容が次から次へと変わっていき、最後まで飽きずに鑑賞することができます。

四.【体験要素 ～大喜利（おおぎり）コーナー～】

休憩の後に子供達に参加していただく余興を構成。「大喜利」方式の“こばなしグランプリ”
ワークショップで作成のコツを伝授いたしますので、本公演までの間に作品を作り、お送りください。
春風亭柳橋を委員長とした審査委員が5作品を選出いたします。エントリー（選出）されたお子さんは羽織を着て、落語家さながらに舞台上で作成をした こばなし の発表をしてもらいます。

Point! ⑦ 経験や実施校からのご意見に基づく改善ポイント

我々影向舎は、寄席関係の青少年向け公演事業において業界No.1の実績を誇ります。年間250ステージを超える高等学校向けの「学校寄席」や、平成26年より述べ129回実施をしてきた小中学校対象の「めばえ寄席」で培ってきた経験や知識に基づき、実施校のご希望や状況に合わせて、1公演毎できる限りの改善に努め、プログラム内容を充実させてまいりました。
令和２年度においては、実施校からのフィードバックシート（公演後アンケート結果）の内容と、現場での経験を加味し、下記４つのポイントの改善を行っていきます。

❶ 体験・参加要素は割愛することができます。（事前アンケートを実施いたします）

「めばえ寄席」はより効果的な芸術体験を目的に、様々な体験・参加要素を盛り込んでおりますが、学校毎に時間的余裕の有無や、鑑賞会への取り組みの温度差がありました。

そこで・・・ → それぞれの事情を考慮し、体験・参加要素は割愛することが可能です。
ご希望を反映する為、事前に参加の有無についてのアンケートを実施いたします。

- ポスターやこばなしなどの事前の作成物や、本公演当日の班参加などは割愛可能です。
- 本公演当日の展示・体験コーナーの観覧タイミングはいつでも可能です。
  その為、開演前の入場開始時間や、プログラム途中の休憩時間、終演後の時間は通常設定時間より長くすることが可能です。
  逆に展示や体験などを全く行わずに割愛することも可能です。

❷ 各校に合わせた柔軟な番組構成をいたします。

ワークショップ・本公演共に、基本的な進行内容が有りますが、人数が２０名と５００名の学校で舞台設定や参加人数などを全く同じ内容で行うと、無理が生じることが分かりました。

そこで・・・ → 実施校の希望を取り入れつつも、プログラムの趣旨を崩さずに柔軟な番組構成をいたします。

❸ 小・中学校でアプローチを変えました。

参加いただく班の仕事内容について、小学生と中学生ではできることや、やっていて楽しく感じる内容が違うことが分かりました。

そこで・・・ → より意義の有る参加内容とする為、その経験を踏まえ、小・中学校でアプローチを変えました。

【会場班】小学生：にぎやかに大きな声でお出迎え など ／ 中学生：お客様の席への誘導 など
【舞台班】小学生：高座の座布団の配置 など ／ 中学生：より本格的なお手伝い

❹ 公演までの道しるべ「手引書」を充実させていきます。

学校側で行う準備、打合せや公演までの段取りが事前に分かるようにして欲しいという声を受け、実施校へ公演までの手引書をお配りしております。フィードバックシートでは＂分かりやすかった＂などの評価をいただいておりますが、今後もご担当の先生にとっての道しるべとして、より充実したものになるよう、内容をブラッシュアップし続けていきます。

Point! ⑧ 企画内容について

平成30年度から令和元年度にかけて、新たに『おはやし班』という参加要素を加え、実施をいたしました。普段触る機会の無い三味線や太鼓に臆することなく、また邦楽器経験者の子供たちは殊更堂々と、演奏を行うことができました。参加した児童・生徒はもちろん、学校の先生方からの反応も好評で、次年度も継続をしていきたいと思います。
平成26年度の初参加より早6年。「めばえ寄席」は希望調書に記載している通り、参加内容や鑑賞内容の密度の濃さ、また事前の準備から当日の運営にかけてのスムーズさなど、学校向けの寄席プログラムとして理想的な形に仕上がってきました。
そこで令和2年度にかけては、前年度内容を踏襲し、一つ一つの精度を上げることに努めます。

公演時間(95 分)

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要	

めばえ寄席

本公演

プログラム

出演者：８～９名［落語家５名（江戸・上方・若手・前座2名）、色物２～３名※、三味線１名］
※色物出演者、内容により変動

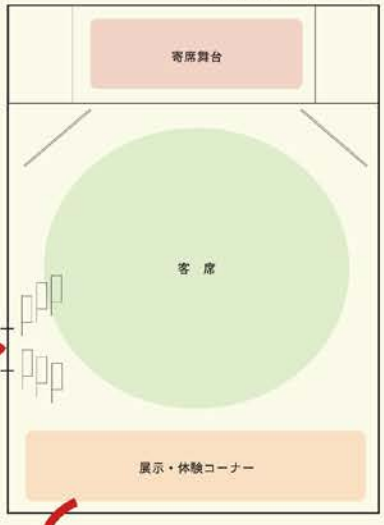
時　間：９５分《公演時間は児童・生徒さんの状況を見て調整します》

【開場前】

「○○亭」劇場作り

みんなで体育館を“寄席”にしよう！
高座を作ったり、ポスターを貼ったり、
のぼりを飾ったり・・・
見慣れた体育館がどんどん、どんどん、
劇場になるワクワク感。
さぁ、寄席の出来上がり！

▼体育館内配置の一例



開演までのにぎやかし

展示・体験コーナーで寄席の世界を１２０％
楽しもう！
体育館に寄席の展示・体験ができるエリアを
設置いたします。

【展示】
- 老舗寄席「新宿末広亭」の写真を展示
- 手ぬぐいを展示

【体験】
- ミニ高座を設置、児童・生徒さんのなりきり落語家体験
- 下座楽器（三味線、太鼓、笛）を自由に触れる楽器体験コーナー

いつもの体育館が別世界。ワクワクドキドキの寄席空間が出現

【開場】

お客様を元気一杯お出迎え！

さあ寄席の開場です。

入口には寄席の番組表を模った看板がお出迎え。
係のみんなでハッピを着て、にぎやかにお客様を
ご案内しましょう。
舞台上では入場の合図「一番太鼓」を叩いてもらいます。

みんなが入場をしたらいよいよ開演！
まずは○○亭の席亭である校長先生よりご挨拶を
いただきましょう。

本物の寄席のように
看板がお迎えします

○○亭の席亭は、校長先生。開演に先立ち、席亭よりご挨拶をいただきます。

会場班のお出迎え

前座班の一番太鼓

開演前の席亭（校長先生）のごあいさつと、
おはやし班のスタンバイ

【開　演】「○○亭」
いよいよ開演です！

おはやし班の演奏にのって開演です。

開口一番

1．落語（若手落語家） 春風亭 柏枝 など〈１０分〉

ようこそ寄席へ。まずはごくごく短い噺を

聞いたことの有る、わかりやすい落語をひとつ。

おはやし班の児童・生徒さんには、
公演開始のこのタイミングの出囃子演奏に参加してもいただきます

2．色物 林家 二楽《紙切り》 など〈１５分〉

**リクエストを受けてその場で切り上げる、
紙の芸術品**

生徒さんの感想文で「感心した」「すごい」との声が一番多いのが
この紙切り。

仲トリ

3．上方落語 桂 文三 など〈１５分〉

**起源が辻噺（大道芸）、江戸落語と
ひと味違う賑やかな上方落語でお楽しみ**

演目「刻うどん」「動物園」など。

お仲入り（休憩）〈１０分〉

【休憩中】

休憩中も体験・参加！

休憩中も展示や下座楽器をお楽しみください。

舞台班の児童・生徒さんには、
その後の大喜利コーナーの
ステージ準備をお手伝いいただきます。

【後半スタート】 児童・生徒 参加 体験

4. 大喜利 ～こばなしグランプリ（or しぐさ体験コーナー）～ 〈１５分〉

お友達が落語家に！？大喜利スタイルで
ずらりと並び発表会

それぞれの感性で創作してもらった作品の中から優秀作を６つ厳選。
優秀作に選ばれた児童、生徒さんが発表します。果たして結果はいかに？

※時間などの関係で事前の小噺作成が難しい場合、しぐさ体験コーナーに変更することが可能です。

色とりどりの羽織をつけてステージに出演！

5. 色物 三増 紋之助《曲ごま》 など〈１５分〉

刀の刃や、長い棒の上で廻るこま。
ハラハラ、楽しい

こまを縦横無尽に操る江戸曲ごま。見ていると幸せになる、
底抜けに明るい芸風が魅力。

トリ 6. 落語 春風亭 柳橋 など〈１５分〉

いよいよトリです。看板真打ちによる
江戸古典落語でお楽しみ

演目「転失気」「牛ほめ」など。

※1　出演者は色物の種類やご当地落語などのご希望や日程の関係で変更可能です。
※2　出演者はすべて、弊社の学校公演において十分経験を重ねた芸人で構成されています。

演目選択理由	*「芸人に上手も、下手も無かりけり。ただ行く先々の水に合わねば」* 落語の演目はその当日、マクラ※1を演じながらお客様の様子を見て、その場で決めます。 そこで学校公演レギュラーメンバーたちが、豊富な経験と持ちネタを生かして、初めて落語に触れる生徒さんに最適な演目を選択します。 ※1 マクラとは、本題への導入部で、自己紹介をしたり、本題に入るための流れを作ったり、また本題でわかりにくい言葉の説明をさりげなく入れたりします。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	＜ワークショップ＞ ※「ワークショップ項目」をご参照ください。 ＜公演までの間＞ ○作り方教室で学んだ「小噺」の作成。落語の元となる「小噺」を作ってみよう。 ☆作成していただいた小噺は公演前に送付していただき、優秀作品を選考します。こばなしグランプリで、代表生徒さん5、6名に小噺の発表をしていただきます。 ○「寄席文字」でビラ(ポスター)を作ってみよう。 ☆ワークショップ時に寄席文字書家が書き方のコツを伝授。実演を交えて書き方を教えます。その後本公演までに寄席文字チラシを生徒さんに作成していただきます。作成枚数は限定しません。学年・クラス毎などでまとめていただき、本公演当日に会場に貼りだします。 ＜本公演＞ ※「演目」「演目概要」をご参照ください。
出演者	出演者:8～9名(真打ち落語家2名、色物2～3名、若手落語家1名、前座2名、三味線1名) 【東京】落語協会／落語芸術協会 所属　【大阪】上方落語協会 所属 ＊学校公演で過去に成功実績を多く持つレギュラーメンバーで構成。 ＊出演者は、色物の種類やご当地落語などのご希望や日程の関係で変更可能です。 ＊コンビの色物が出演する場合、出演者の合計人数が9名となります。 春風亭柳橋 →桂小文治、桂小南、春風亭柳好、春風亭柳之助 など 桂文三 →笑福亭生喬、林家染雀、林家染左、笑福亭喬若、笑福亭たま など 三増紋之助 →鏡味正二郎＜太神楽曲芸＞、柳貴家雪之介＜大神楽曲芸＞、宮田陽・昇＜漫才＞、鏡味味千代＜太神楽曲芸＞ など 林家二楽 →上口龍生＜マジック＞、江戸家まねき猫＜動物物まね＞ など 春風亭柏枝 →柳家小太郎、春風亭柳若、柳家やなぎ、雷門音助 など

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者:　8～9名 スタッフ:　4名 合　計:12名～13名	機材等 運搬方法	積載量　1t 車長　5.31m 台数　1台

【公演団体名　めばえ寄席「〇〇亭」】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td colspan="2">前日仕込み(下記のような通常の予定であれば、基本的に無し)
会場設営の所要時間(4時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>8 時 30 分</td><td>8 時 30 分～
12 時 30 分</td><td>13 時 30 分～
15 時 05 分</td><td>10 分</td><td>15 時 05 分～
17 時</td><td>17 時</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>制限無し</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>制限無し</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態及び内容	

めばえ寄席
ワークショップ

プログラム

出演者４名［落語家２名（二ツ目・前座）、三味線奏者１名、寄席文字書家（橘流）１名］
時間：４５～６０分《授業時間、児童・生徒さんの状況により調整いたします》

ワークショップの構成要素

知って、感じて、やってみる

「解説（知って）」、「体験（感じて）」、「創作（やってみる）」をキーワードに構成。
全ては寄席をより楽しんでもらうために。

○解説：寄席や落語から始まり、江戸の暮らしまで
○体験：落語のしぐさや、寄席文字の書き方
○創作：小ばなしや寄席文字を用いたポスター作成のコツを伝授

※プロジェクター（映像）を使用いたしますので、視覚的にも分かりやすい

“みんなで作る「めばえ寄席」”

1．公演タイトル（○○亭）を決めよう

公演タイトルは、３～５個の候補の中からみなさんの拍手の大きさで決定。
御校だけの特別な落語会タイトルを決定いたします。

【ワークショップ】 ワークショップの様子。
タイトルは地名や名産品、学校の特徴などを基に、予め候補を出していただきます。

⇩

決定したタイトルの下で準備を進めていき、本公演当日に反映されていきます。

Point（工夫）

プロの寄席文字書家が書いたタイトルののぼりを影向舎が作成し、公演当日に持参いたします。

【本公演】 本公演当日、決定したタイトルが実際に形になった様子。
ポスターは見本の寄席文字を基にして、本公演までの間に生徒さんが作成。

まずは落語の世界を覗いてみよう

2．落語を一席『寿限無 じゅげむ 』など

分かり易い落語でお笑いを一つ。

落語を聞いた後は、落語の楽しみ方を知る

3．落語鑑賞ポイント ～落語のあれこれ～

一人で何役も演じ、扇子と手ぬぐいを様々なものに見立てて、演じる側とお客さん（児童・生徒）それぞれが、想像しながら作り出す芸能"落語"。ここでは落語の特徴的なポイントについて解説します。ここを押さえれば落語がぐっと近づく。

鑑賞ポイント 1

落語の原点『小噺（落とし噺）』実演 と 作り方教室

小噺（こばなし）
- 一人で何人もの登場人物を演じ分ける。
- 必ず噺の最後にオチが有る。

⇨ 長くなったのが落語

Point（創作）

本公演に向けての宿題、小ばなしを作ってみよう。その為の小ばなし作成のコツを伝授する、小ばなし作り方教室を開催。
⇒本公演当日の「大喜利コーナー」で優秀作品５作の作者には舞台上で発表してもらいます。

小ばなしの作り方のコツ
小ばなし創り方教室
本公演 **大喜利コーナー**に向けて

結果の部分であるオチを先に考えると作りやすいでしょう。
【オチの作り方】1つの言葉に複数の意味をもたせる。
例「このおかしやさん、繁盛しているんだって」
「けいき（景気／ケーキ）が良いもんね」

過去の子供たちの作品の一部ご紹介します ※実際に応募いただいた作品から抜粋

- 「ミミズとヘビどっちが好き？」「ミミズ！ミミズにはめがないんだ。」
- 「大人だけでボートにのると、どうなるの？」「きっと子がない（漕がない）から、進まないね。」
- 親「明日、台風だって。」 子「台風はいいなあ、進路が決まっていて。」
- 「まだ５月だというのに各地で夏日並みの暑さだね。梅雨をこえて一気に夏って感じだよ。」「まるで置きっぱなしで忘れたカップラーメンのようだね。」「どういうこと？」「ツユがみあたらない。」

鑑賞ポイント 2

落語のしぐさ『扇子・手ぬぐいの使い方』実演・体験

扇子と手ぬぐいという限られた小道具を「お箸」や「筆」、「帳面（ノート）」や「おいも」など様々なものに見立てて表現します。

手ぬぐい ×1,000セット
扇子
を利用して

全員体験

Point（体験）

扇子、手ぬぐいを各1,000セット用意。
持ち込みます。
⇒全員一緒に落語の仕草（そばを食べる仕草など）体験。
体育館中に響き渡る「そばをすする音」は圧巻。

全員一緒に体験できる！

落語のホーム、寄席。老舗の寄席を覗いてみよう

4．動画『ようこそ寄席へ　老舗寄席・末広亭きご案内』

影向舎が新宿末広亭ご協力のもと、オリジナルで作成した特別動画

工夫point

古き良き寄席の雰囲気を残す末広亭で
オリジナル動画を作成いたしました。

寄席って何？どんなところで何をしている？
普段見ることのできない裏側をナビゲート。

- 客席、舞台（高座）、楽屋の様子
- 前座さんのお仕事
- 下座音楽（太鼓、三味線）　など

寄席を構成する上で大事な要素。プログラムの箸休め的存在

5．色物のおはなし

色物（いろもの）＝寄席でおこなわれる落語以外の演芸のこと。

動きや見た目で楽しい芸。色物の解説。本公演出演者のご紹介。

寄席を盛り上げるBGM、下座音楽をご紹介

6．下座音楽のあれこれ【解説・実演】

下座（げざ）＝
寄席で演奏されるBGMの総称。大太鼓、締太鼓、三味線で構成される。お囃子とも言う。

寄席ではかかすことのできない下座音楽の解説。

・太鼓が物を言う？入場時 一番太鼓は“ドン、ドン、ドントコイ”
終演の追い出し太鼓は“デテケ、デテケ、デテケ”

・出囃子＝出演者のテーマソング。

・落語の効果音も太鼓で表現。「風」「川」「海」ってどんな音？

前座班、おはやし班になった代表の児童・生徒さんには公演終了後、本公演に向けて、太鼓や三味線のレクチャーをいたします。

クイズを楽しみながら、江戸時代を知ってもらう

7．お江戸クイズコーナー ～江戸時代へタイムスリップ～

プロジェクターを使用（影向舎オリジナルイラスト）

工夫point

1両は今のお金でいくら？

江戸時代の時間の感覚について

当時の職業（商い）について

落語の噺の主な舞台である江戸時代。その時代の人はどんな暮らしをしていたのか？
また、江戸時代では、どんな職業があったのか？
お金や時間の噺をクイズを交え、お話いたします。

よせもじ
読みづらい？寄席の世界の独特な“寄席文字”の秘密

8．寄席文字を書いてみよう！【解説&実演】

解説・実演
橘紅樂（寄席文字書家）

寄席の世界で使われている寄席文字の書き方、お教えします。
文字の特徴や込められた意味を、書いているところをライブカメラで投影しながら説明します。

Point（工夫）

寄席文字を書いているところがよく見えるよう、手元を映したライブカメラでプロジェクター投影いたします。

寄席文字（よせもじ）＝
寄席の看板やポスター（ビラ）などで使用される文字。寄席文字の独特な形は、紙を客席に見立て、お客様が一杯入場し、会場が頭で黒々となるようにとの願いを込めて、余白が無いように書く。
デザイン的要素が強い為、一般的な書道では禁止されている“二度書き”も自由。

Point（体験）

ワークショップの時間の関係により、全員参加（パターン①）、代表者が参加（パターン②）を選択できます。

《パターン①》全員参加 ※ワークショップ公演時間＋２０分
全児童・生徒さんにご参加いただく、寄席文字教室。
普通の書道と異なる、特徴の有る書き方に挑戦してみよう。
○準備するもの：半紙、書道セット

《パターン②》代表児童・生徒 ※ワークショップ公演時間内
５名程度の代表の児童・生徒さんに寄席文字の書き方にチャレンジしていただきます。
○書道セットなどはこちらでご用意いたします。

Point（創作）

本公演に向けての宿題、寄席文字でポスターを作ってみよう。
寄席文字の書き方のコツを伝授。
⇒本公演当日、皆さんに書いてもらったポスターは会場を飾り、体育館中を華やかに彩ります。

【ワークショップから本公演までの間】

ワークショップで覚えたことをふまえて

本公演までの間の宿題

※ご参加は自由です。授業などの関係でご参加が困難な場合はご相談ください。全てに参加されなくても、一つだけの参加も可能です。

Point（創作）

○小ばなしの作成
作成いただいた作品の中から、優秀作を選定いたします。優秀作に選ばれた６名の方には、本公演プログラム「大喜利コーナー」で発表をしてもらいます。

○ポスターの作成
作成いただいたポスターは、公演当日、会場班の児童・生徒さんに、飾り付けてもらいます。

Point（体験）

○一番太鼓・お囃子の練習【前座班・おはやし班】
前座班・おはやし班に参加の児童・生徒さんにはワークショップ終了後に、一番太鼓の叩き方やお囃子の演奏のレクチャーをいたします。本公演までの間に練習をして、公演当日は元気よく演奏をしましょう。

ワークショップ実施形態の意図	**工夫 ワークショップと本公演の意図（性質）を変えました** **「ワークショップ（体験）」→「公演日まで（創作）」→「本公演（鑑賞）」** と徐々に、多角度から『知る』工夫をしています。 **ワークショップ**（体験） 目的＝『とことん学ぶ』→『知る（学び触れる）』 効果＝①寄席芸能を知る ②寄席芸能の楽しさを知る ③寄席芸能のなるほどを知る ④寄席芸能の楽しみ方を知る 動画やイラストを多用し、実演を交えながら。ショーとして楽しみながらも学ぶ工夫がなされています。もちろん落語体験・寄席文字体験・クイズに参加など参加体験も豊富に盛り込まれています。 ワークショップを経て“寄席”への興味が芽生えます ↓ **ワークショップから本公演まで**（創作） 目的＝『考える・作成する』→『知る（向き合う）』 効果＝ より理解を深める ワークショップで学んだことを、じっくりと向き合い体験することで、より理解を深める。また本公演に期待がふくらみます。 ↓ **本公演**（鑑賞） 目的＝『とにかく楽しむ（鑑賞、体験）』→『知る（体感する）』 効果＝①寄席芸能は楽しい！面白い！を知る ②子供たちの心に種を蒔く。こんなに楽しい（笑える） 芸能が日本にあったんだ！ ③体験をすることにより、面白さを重ねて実感する ④みんなで何かを準備（共同作業）をすることを経験する。 第一線の出演者による熱演！本格的な寄席舞台。 「本物」をとことんお楽しみいただきます。 寄席芸能の笑い・迫力・凄み、その魅力を存分に体験していただきます！
特別支援学校での実施における工夫点	実施校との事前の打合せの際に、実施上の注意点についてヒアリングを行います。 その上で、出演者との内容調整、児童・生徒さんの体験参加内容の調整をします。 実施校からのご希望に臨機応変に対応します。

実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

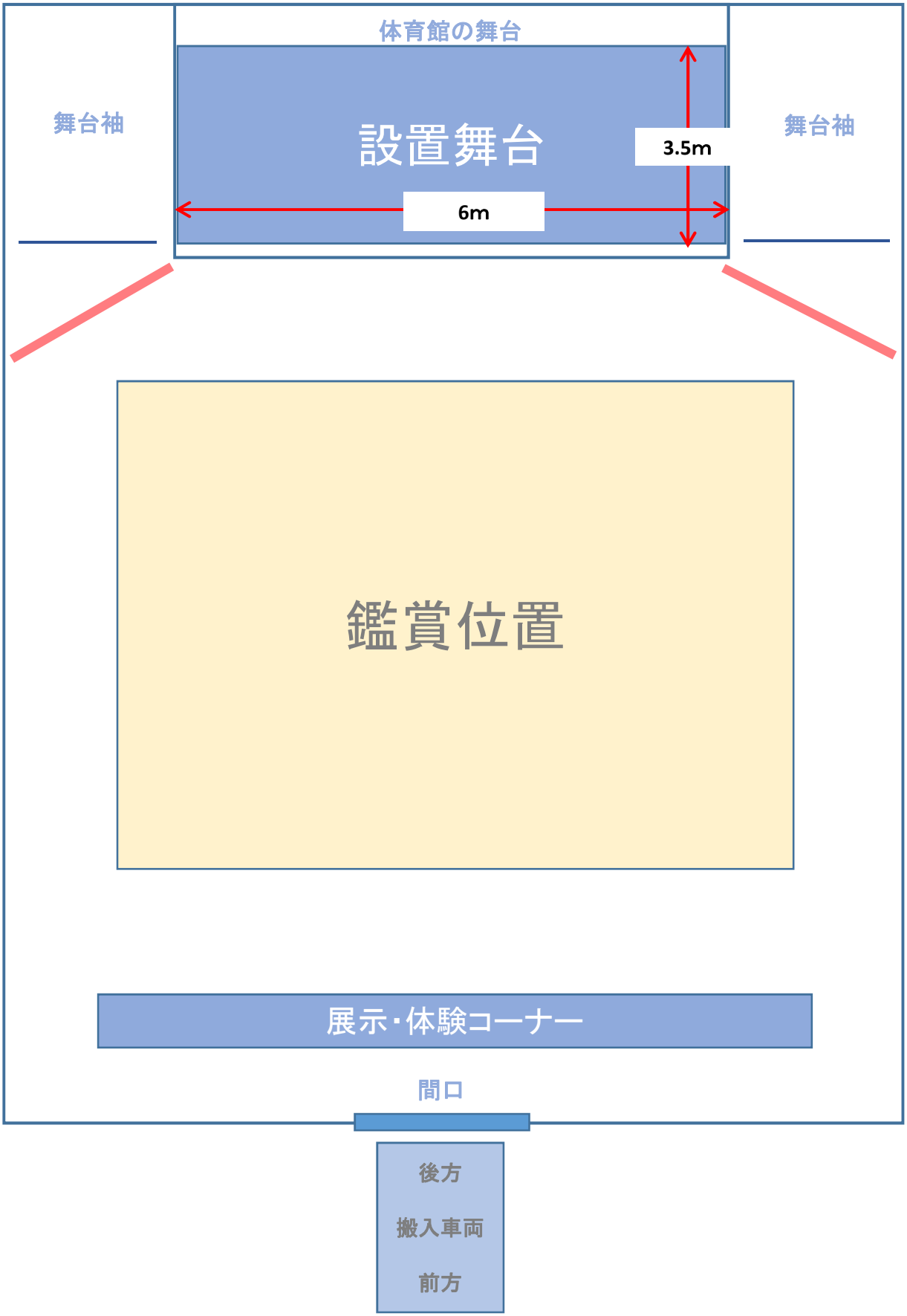
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	A11	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	A	区分	A区分
公演団体名	めばえ寄席 「〇〇亭」 ＊〇〇は生徒さんの公募により決定				制作団体名	株式会社　影向舎			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	1室の場合は、女性の着替え用の仕切り（衝立）があると望ましいですが、無くても対応可能です				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　2台				
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			バン2台				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要　※但し横づけが難しい場合、正面からの搬入でも可能です。				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			なるべく短いことが望ましいですが、距離が長くても対応可能です				
	可	搬入経路の最低条件			雨に濡れないこと、階段が無いことが望ましいですが、それらの条件を満たさなくても対応は可能です				
		理由			寄席舞台等を搬入するため				
		設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.3m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			700名程度まで				
	―	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分			60分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			700名程度まで				
	可	舞台設置場所＊			体育館のステージ上				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	6m	奥行	3.5m	高さ	指定無し	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		着物を着た状態で通り抜けられる程度に、荷物が無い状態				
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	―	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊						
	可	公演に必要な電源容量		30A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
		舞台に必要な広さは目安であり、上記より狭くても実施可能です							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.3m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		なるべく短いことが望ましいですが、距離が長くても対応可能で		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

落語の鑑賞

落語は決して難しい芸能ではありません。今までの“落語は分かりにくい、古臭い”という先入観を全て捨て、十分にお楽しみください。
また落語は落語家一人が様々な登場人物を演じ、様々な場面をお客様に想像していただく、いわばお客様とのコミュニケーションで
作り上げる「笑い」の芸です。肩を張らずに、世界最高の話芸「落語」をたっぷりとご堪能ください。

開催月日	開催地	開催校	開催校以外の地元の主催者
6月10日 (月)	京都府	福知山市立大江中学校	京都府教育委員会/福知山市教育委員会
6月11日 (火)	京都府	宇治市立三室戸小学校	京都府教育委員会/宇治市教育委員会
6月12日 (水)	京都市	京都市立梅津小学校	京都市教育委員会
6月13日 (木)	京都市	京都市立朱雀第六小学校	京都市教育委員会
6月14日 (金)	京都市	京都市立朱雀第二小学校	京都市教育委員会
6月17日 (月)	福井県	美浜町立美浜中央小学校	福井県/美浜町教育委員会
6月18日 (火)	福井県	勝山市立成器南小学校	福井県/勝山市教育委員会
6月19日 (水)	福井県	坂井市立兵庫小学校	福井県/坂井市教育委員会
6月24日 (月)	京都府	綾部市立志賀小学校	京都府教育委員会/綾部市教育委員会
6月25日 (火)	京都府	綾部市立何北中学校	京都府教育委員会/綾部市教育委員会
6月26日 (水)	京都府	舞鶴市立三笠小学校	京都府教育委員会/舞鶴市教育委員会
6月27日 (木)	京都府	舞鶴市立志楽小学校	京都府教育委員会/舞鶴市教育委員会
7月1日 (月)	石川県	川北町立川北中学校	石川県/川北町教育委員会
7月2日 (火)	石川県	小松市立中海小学校	石川県/小松市教育委員会
7月3日 (水)	石川県	小松市立苗代小学校	石川県/小松市教育委員会
7月4日 (木)	新潟県	上越市立牧小学校	新潟県教育委員会
9月10日 (火)	富山県	上市町立宮川小学校	富山県教育委員会/上市町教育委員会
9月11日 (水)	富山県	氷見市立湖南小学校	富山県教育委員会/氷見市教育委員会
9月12日 (木)	富山県	魚津市立西部中学校	富山県教育委員会/魚津市教育委員会
9月13日 (金)	富山県	高岡市立木津小学校	富山県教育委員会/高岡市教育委員会
11月26日 (火)	新潟県	三条市立大面小学校	新潟県教育委員会
11月28日 (木)	京都府	木津川市立相楽小学校	京都府教育委員会/木津川市教育委員会

知っていますか？　～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和元年度

文化芸術による子供育成総合事業

― 巡回公演事業 ―

制作：影向舎

文化芸術による子供育成総合事業　－巡回公演事業－

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

落語とは

オチのある噺「落とし噺」から生まれた。

落語とは、庶民の生活や、お伽話などを滑稽な内容として語るもので、噺の結末にオチがつくのが特徴です。東京(江戸)で生まれた江戸落語と、大阪・京都の関西圏(上方)を中心に生まれた上方落語があります。

寄席とは

演芸が専門に行なわれている劇場。

落語に興味があったら、ぜひ寄席に落語を聴きに行きましょう。でも、寄席で演じられるのは落語だけではありません。講談、漫才、漫談、音曲、手品、曲芸など、バラエティーに富んだ番組(プログラム)になっているのです。前座(若手)の落語から始まり、漫才や手品などの色物と呼ばれる演芸と、二ツ目(中堅)の落語がテンポよく進んでいき、最後に真打ち(ベテラン)が登場します。寄席という小さな演芸場の中では、お客様の笑い声やかけ声が絶えず聞こえ、どことなく非日常的な、江戸時代にタイムスリップしたかのような時間が流れています。

「落語の小道具」
・落語で使われる小道具は扇子と手拭いだけ。
・扇子と手拭いを色々なものに見立てて、落語の演出効果として利用します。扇子がお箸になったり、手拭いがサツマイモになったり、、、。
落語は見ているお客さんも一緒に想像する芸です。落語家が使っている小道具が、今何になっているかをイメージしながら聞いてみましょう。

東西(江戸・上方)の落語を楽しもう!

東西の落語!! 笑いに違い!?

上方落語はお家の外で行われる大道芸から生まれたので、みんなの注意をひきつける為にとても賑やかに演じられます。対して江戸落語はお家の中のお座敷で演じられてきたので、じっくりと聞かせる、粋な雰囲気。違いを楽しみましょう。

※プログラム内「3.上方落語」「6.落語」では上記出演者の中から各1名ずつ出演します。

めばえ寄席

プログラム

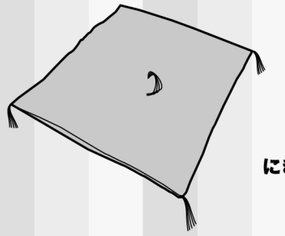
めばえ寄席

1、落　語

まずは若手のイキイキとした落語を!

2、色　物

色物とは寄席で行なわれる、落語以外の演芸!



3、上方落語

にぎやかな関西圏中心に発達した上方落語でお楽しみ!!

-お仲入り(休憩)-

4、大喜利

～こばなしグランプリ(体験コーナー)～
それぞれの感性で考えた作品の中から優秀作を厳選。
作った生徒さんが発表します。結果はいかに?

まえ

5、色　物

寄席の看板は落語は黒、その他は赤文字で出演者を書いていたため色物と呼ばれる。さてどんな芸人が登場するかお楽しみ!!

6、落　語

いよいよトリです。看板真打ちによる古典落語を披露!!

※プログラムは変更の可能性があります。